

平成29年度

岩手県農業研究センター 年報

平成30年9月



# 目 次

## I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数	I - 1
2 会議、委員会、部会等の運営	I - 2
(1) 農業試験研究推進会議等の開催	I - 2
ア 新規試験研究課題の評価と選定	
イ 試験研究成果の採択	
ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価	
エ 岩手県農業技術開発会議	
オ 試験研究推進アドバイザー	
(2) 機関評価委員会	I - 6
(3) 企画運営会議、全体会議	I - 6
(4) 委員会等の運営	I - 9
ア ほ場管理委員会	
イ 研究報告等企画編集委員会	
ウ 参観デー等企画運営委員会	
エ 特許審査委員会	
オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会	
カ 環境美化委員会	
キ 職員衛生委員会	
ク 原種等生産管理委員会	
ケ 飼料生産委員会	
(5) その他会議	I - 12
ア 全国農業関係試験研究場所長会議	
イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議	
ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議	
エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議	
オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議	
カ 東北農業試験研究推進会議	
キ 東北地域研究・普及連絡会議	
ク 県内で開催された関係学会	
ケ 北東北3県農業試験研究センター企画室長等会議	

## II 試験研究の推進

1 研究活動の概要	II - 1
2 トピックス	II - 2
(1) 特許・品種登録出願状況	II - 2
(2) 表彰等受賞状況	II - 2
(3) 連携プロジェクトによる研究推進	II - 2

<b>3 研究室・課の動き</b> .....	II- 4
(1) プロジェクト推進室 .....	II- 4
(2) 企画管理部 .....	II- 4
(3) 技術部 .....	II- 6
(4) 環境部 .....	II- 8
(5) 病虫害防除部 .....	II- 9
(6) 畜産研究所 .....	II- 10
(7) 県北農業研究所 .....	II- 12
<b>4 平成29年度試験研究課題</b> .....	II- 14
(1) 細目課題分類 .....	II- 14
(2) 試験研究課題一覧 .....	II- 15
(3) 平成30年度試験研究を要望された課題とその措置一覧 .....	II- 22
<b>5 共同研究等の推進</b> .....	II- 23
(1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業 .....	II- 23
(2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業 .....	II- 23
(3) 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業 .....	II- 24
(4) 革新的技術開発・緊急展開事業 .....	II- 24
(5) 研究成果最適展開支援事業 .....	II- 25
(6) その他独法等からの委託 .....	II- 25
(7) 民間委託試験 .....	II- 25
(8) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究 .....	II- 26
(9) 他の公設試との共同研究 .....	II- 26
(10) AFR(岩手農林研究協議会)研究会 .....	II- 26
(11) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター) .....	II- 26
(12) その他共同研究 .....	II- 27
(13) 産学官連携 .....	II- 27
<b>6 現地試験の実施</b> .....	II- 28
<b>III 試験研究の成果</b>	
<b>1 試験研究成果</b> .....	III- 1
(1) 平成29年度成果数 .....	III- 1
(2) 平成29年度成果名一覧 .....	III- 2
<b>2 追跡評価</b> .....	III- 6
(1) 評価視点 .....	III- 6
(2) 追跡評価の調査方法 .....	III- 6
(3) 追跡評価の結果 .....	III- 6
<b>3 東北農業試験研究成果</b> .....	III- 9
(1) 研究成果数 .....	III- 9
(2) 研究成果名 .....	III- 9
<b>IV 試験研究成果の発表</b>	
<b>1 試験成績書等刊行物</b> .....	IV- 1
<b>2 研究レポート</b> .....	IV- 2
<b>3 岩手県農業研究センター研究報告</b> .....	IV- 4
<b>4 学会等研究報告</b> .....	IV- 6
(1) 学術論文 .....	IV- 6
(2) 学会発表 .....	IV- 8

<b>5 雑誌等掲載</b> .....	IV- 13
(1) 専門雑誌等 .....	IV- 13
(2) 月刊農業普及 .....	IV- 13
(3) 岩手の畜産 .....	IV- 14
(4) 岩手りんごタイムス .....	IV- 14
(5) その他の雑誌等 .....	IV- 15
<b>6 新聞等掲載</b> .....	IV- 16
<b>7 テレビ・ラジオ放送</b> .....	IV- 18
(1) テレビ .....	IV- 18
(2) ラジオ .....	IV- 18
<b>8 指導資料等掲載</b> .....	IV- 19
<b>9 図書資料収集・提供</b> .....	IV- 21
<b>10 ホームページ</b> .....	IV- 21
<b>V 指導・啓発活動</b>	
<b>1 技術伝達研修等への対応</b> .....	V- 1
<b>2 現地指導・研修会等への講師派遣</b> .....	V- 4
<b>3 視察者、見学者の受け入れ状況</b> .....	V- 14
<b>4 春季一般公開及び参観デー</b> .....	V- 14
<b>5 技術セミナー等の開催</b> .....	V- 14
<b>6 一日子供農業研究員</b> .....	V- 14
<b>7 農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者</b> .....	V- 15
<b>8 研修生の受け入れ</b> .....	V- 16
(1) 海外研修 .....	V- 16
(2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修) .....	V- 16
(3) 短期研修生 .....	V- 16
(4) 体験学習の受け入れ .....	V- 16
ア 小中学校の「総合的な学習の時間」等に対応したもの	
イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの	
ウ インターンシップ等に対応したもの	
<b>9 協議会、委員会等委員</b> .....	V- 19
<b>VI 職員研修</b>	
<b>1 大学院派遣</b> .....	VI- 1
<b>2 海外派遣・研修</b> .....	VI- 1
<b>3 国内研修への派遣</b> .....	VI- 1
(1) 依頼研究員 .....	VI- 1
(2) 北東北3県研究職員交流(職員派遣) .....	VI- 1
(3) 農林水産関係研究リーダー研修 .....	VI- 1
(4) 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修 .....	VI- 1
(5) 農林水産関係研究者研修 .....	VI- 2
(6) その他 .....	VI- 2
<b>4 所内研修等</b> .....	VI- 13
(1) 岩手県総務部人事課主催研修 .....	VI- 13
(2) 岩手県農林水産部主催研修 .....	VI- 14
(3) 所内研修 .....	VI- 15
<b>5 所内セミナー等</b> .....	VI- 16

## VII 試験研究以外の業務概要

1 作物の原々種の採種	VII- 1
(1) 主要農作物種子法に基づく原々種種子の生産	VII- 1
(2) その他原々種種子の生産	VII- 1
2 作物の原種の採種	VII- 2
(1) 主要農作物種子法に基づく原種種子の生産	VII- 2
(2) その他原種種子の生産	VII- 2
3 種苗等の配布	VII- 3
(1) 主要農作物種子法に基づく種苗の配布	VII- 3
(2) その他種苗の配布	VII- 4
4 県有種雄牛の精液の供給	VII- 5
(1) 黒毛和種	VII- 5
(2) 日本短角種	VII- 5
5 種豚、種鶏等の配布	VII- 6
(1) 豚の配布	VII- 6
(2) 種鶏等の配布	VII- 6
6 寄託放牧	VII- 6
(1) 牛	VII- 6
(2) 馬	VII- 6

## VIII 人事、予算、財産

1 岩手県農業研究センター予算	VIII- 1
2 建物、用地の面積及び飼養家畜数	VIII- 2
(1) 建物・用地の面積	VIII- 2
(2) 飼養家畜頭数	VIII- 2
3 種苗登録、特許等	VIII- 3
(1) 種苗登録	VIII- 3
(2) 特許、実用新案	VIII- 5
(3) 一般に公開しているプログラム等	VIII- 6
4 表彰	VIII- 7
5 職員名簿	VIII- 10

## IX 東日本大震災津波への対応

1 農業研究センター復興加速プロジェクトチームの活動	IX- 1
(1) チーム会議の開催	IX- 1
(2) 研修会、セミナーの開催	IX- 1
(3) 復興支援業務の実施	IX- 2
2 農畜産物の放射性物質測定に係る活動	IX- 2

X 沿革	X- 1
------	------

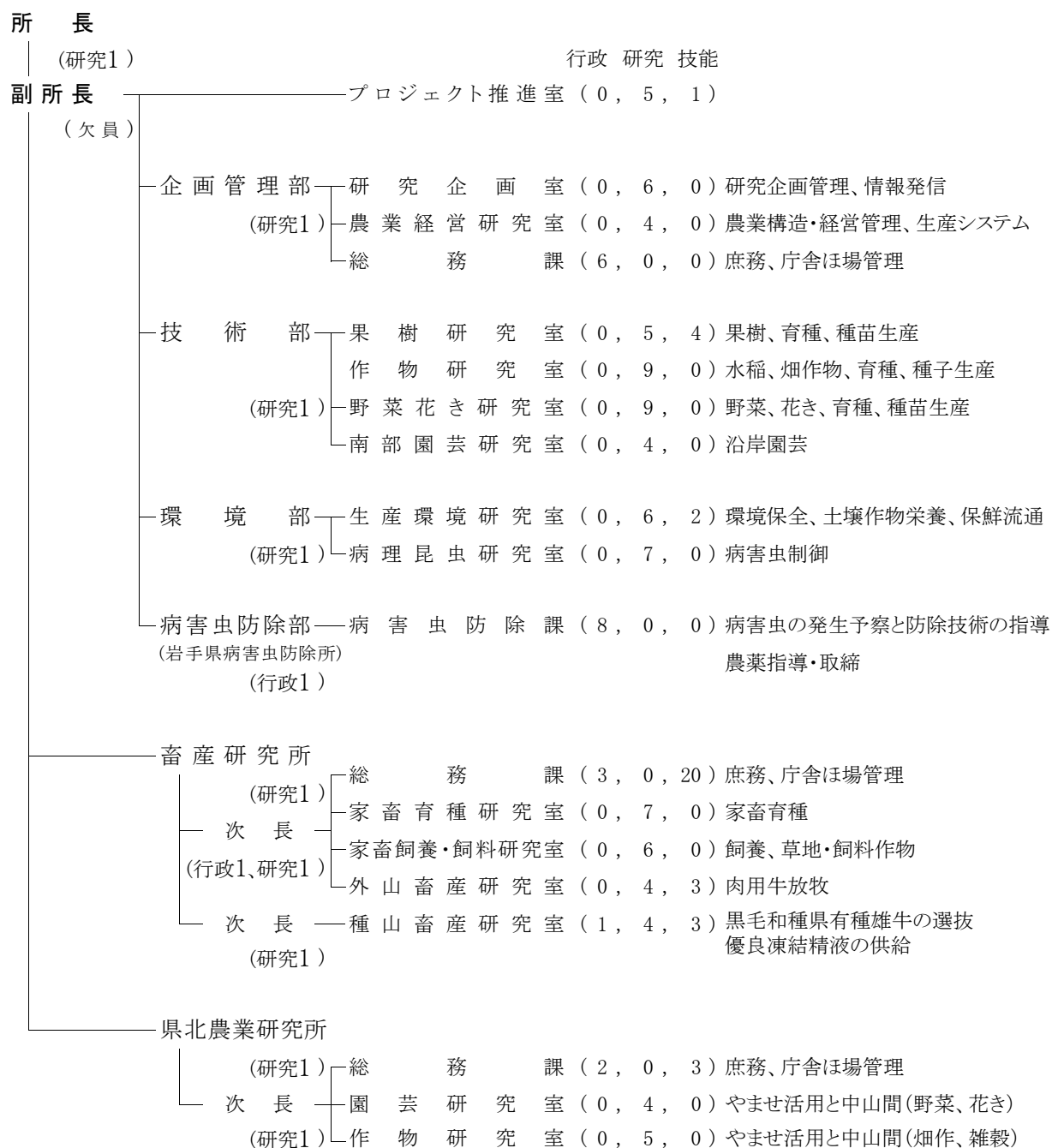
# I 農業研究センターの概要





# I 農業研究センターの概要

## 1 組織機構・職員数 ※実数



〈職員数〉 ※定数

	本 部		畜産研究所			県北農業研究所	合 計
	(北上市)	南部園芸研究室 (陸前高田市)	(滝沢村)	外山畜産研究室 (盛岡市玉山区)	種山畜産研究室 (住田町)	(軽米町)	
行政	15	0	4	0	1	2	22
研究	55	4	15	4	4	11	93
技能	7	0	20	3	3	3	36
合計	77	4	39	7	8	16	151

※1 欠員1名(副所長 1)

※2 任期付き研究員1名を企画管理部管理定数として配置(定数に含む。南部園芸研究室 1)

## 2 会議、委員会、部会等の運営

### (1) 農業試験研究推進会議等の開催

#### ア 新規試験研究課題の評価と選定

##### (ア) 第1回内部検討会議

###### a 開催日及び参集範囲

部会名等		農産部会	園芸部会 (果樹)	園芸部会 (野菜花き)	畜産部会
開催日		H29.8.1(火)	H29.8.2(水)	H29.8.2(水)	H29.8.3(木)
参集 範囲	(公財)岩手生物学研究センター	○	○	○	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	○	○	○	○
	各家畜保健衛生所	-	-	-	○
	農業大学校	-	-	-	○
	各農業改良普及センター	○	○	○	○

###### b 協議事項

(a) 平成30年度試験研究を要望された課題とその措置(案)について

(b) 平成30年度新規試験研究課題について

(c) 平成29年度試験研究成果(案)について

##### (イ) 第1回外部検討会議

###### a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会 (果樹)	園芸部会 (野菜花き)	畜産部会
開催日		H29.9.12(火)	H29.9.15(金)	H29.9.15(金)	H29.9.14(木)
参集 範囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○	○
	東北農政局岩手支局	○	○	○	○
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○	○	○
	岩手県農業共済組合	○	○	○	○
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○	○	○
	岩手県植物防疫協会	○	○	○	○
	岩手県農薬卸商業協同組合	○	○	○	○
	岩手県農業公社	○	○	○	○
	岩手県農業機械協会	○	○	○	○
	岩手県畜産協会	-	-	-	○

###### b 協議事項等

(a) 平成29年度新規試験研究課題(案)について

##### (ア) 第1回評価調整会議

a 開催日 平成29年9月25日(月) 13:00～

###### b 協議事項等

(a) 平成30年度試験研究を要望された課題とその措置(案)について

(b) 平成29年度新規試験研究課題(案)について

###### c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

イ 試験研究成果の採択  
(ア)第2回内部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会 (果樹花き)	園芸部会 (野菜)	畜産部会
開催日		H29.12.7(木)	H29.12.4(月)	H29.12.5(火)	H29.12.6(水)
参集 範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	○	○	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	○	○	○	○
	各家畜保健衛生所	-	-	-	○
	農業大学校	-	-	-	○
	各農業改良普及センター	○	○	○	○

b 協議事項

- (a)平成29年度試験研究成果(案)について  
(b)その他

(イ)第2回外部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会 (野菜)	園芸部会 (果樹花き)	畜産部会
開催日		H30.1.15(月)	H30.1.17(水)	H30.1.16(火)	H30.1.10(水)
参集 範囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○	○
	東北農政局岩手支局	○	○	○	○
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○	○	○
	岩手県農業共済組合	○	○	○	○
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○	○	○
	岩手県植物防疫協会	○	○	○	○
	岩手県農薬卸商業協同組合	○	○	○	○
	岩手県農業公社	○	○	○	○
	岩手県農業機械協会	○	○	○	○
	岩手県畜産協会	-	-	-	○

b 協議事項

- (a)平成29年度試験研究成果(案)について  
(b)その他

(ウ)第2回評価調整会議

a 開催日 平成30年1月29日(月) 13:00～

b 協議事項

- (a)平成29年度試験研究成果(案)について  
(b)その他

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

## ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価

### (ア) 第3回内部検討会議

#### a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	県北研究所分	畜産部会
開催日		H30.2.27(火)	H30.2.28(水)	H30.3.1(木)	H30.3.5(月)
参集 範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	○	○	—
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	○	○	○	○
	各家畜保健衛生所	-	-	-	○
	農業大学校	-	-	-	○
	各農業改良普及センター	○	○	○	○

#### b 協議事項

- (a) 平成30年度試験研究課題(新規、変更課題)の試験設計について
- (b) 平成29年度終了課題の報告について

### (イ) 第3回評価調整会議

a 開催日 平成30年3月19日(月) 11:00～

#### b 協議事項

- (a) 試験研究評価について
- (b) 平成30年度新規試験研究課題(案)について
- (c) 平成29年度追跡調査の結果について

#### c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

## エ 岩手県農業技術開発会議

### (ア) 第1回

a 開催日 平成30年2月7日(水) 15:00～

#### b 報告・協議事項

- (a) 農業研究センターにおける技術開発について
- (b) 生工研センターにおける技術開発について
- (c) 農業研究センターにおける試験研究推進計画の進捗状況について
- (d) その他

#### c 参集範囲

(公財)岩手生物工学研究センター  
 農政担当技監、農政関係各室課、生物工学研究所、農業大学校、中央農業改良普及センター  
 農業研究センター所長、各部長、各研究所長、各研究所次長、プロジェクト推進室長

オ 試験研究推進アドバイザー

所属部会	氏名	役職名	出席	
			第1回	第2回
農産 (水稲)	新田 義修	岩手県立大学総合政策学部・准教授	○	-
	大谷 隆二	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 生産基盤研究領域 研究領域長	○	○
	高橋 章朗	岩手県農業農村指導士(花巻市) 有限会社アグリスト 社長	○	○
	菅原 久耕	有限会社ファーム菅原・代表(雫石町)	-	○
	佐竹 雅之	全農岩手県本部米穀部・次長	○	-
農産 (畑作)	西田 瑞彦	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 水田作研究領域(大仙研究拠点) 水田環境グループ グループ長	-	○
	熊谷 匡章	有限会社下館農産・代表取締役	○	○
園芸 (果樹)	小森 貞男	岩手大学農学部農学生命課程・教授	○	○
	阿部 和幸	農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 リンゴ育種ユニット ユニット長	○	○
	宇都宮 邦明	岩手県果樹協会	○	○
	富山 司	岩手県農業農村指導士	○	○
	高野 寛子	岩手県農業農村指導士	○	○
園芸 (野菜)	由比 進	岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育センター・教授	○	○
	永坂 厚	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 生産環境研究領域 病害虫グループ 主任研究員	○	○
	高橋 光朗	岩手県農業農村指導士(奥州市江刺区)	○	○
	高村 亮一	岩手県農業農村指導士(岩手町)	○	-
	川村 千伸	全農岩手県本部園芸部・次長	-	○
園芸 (花き)	稲本 勝彦	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構野菜花き研究部門 栽培生理ユニット長	○	○
	高橋 俊一	(株)T&Gバイオナーサリー・会長兼CEO	○	○
	阿部 潤	八幡平市花き研究開発センター・主任技師	○	○
	千葉 欣哉	岩手県農業農村指導士	○	○
畜産	山田 明央	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 畜産飼料作研究領域 領域長	○	○
	吉田 勝栄	(一社)岩手県畜産協会 経営支援部 部長	○	○
	築城 幹典	岩手大学農学部農学生命課程・教授	○	○
	小原 克也	全農岩手県本部畜産酪農部・次長	○	-
	分部 喜久男	(独)家畜改良センター岩手牧場・場長	○	○
	菊池 忠孝	地域戦略プロジェクト研究実証農家	○	-
	保科 俊穂	岩手県農業農村指導士	○	○
	寺地 輝美	岩手県FSFB研究会会長	○	○
			26 名	24 名

## (2) 機関評価委員会

- ア 開催日・場所 平成29年11月9日(木) 岩手県農業研究センター 本部(北上市)
- イ 議題 (ア) 視察調査(センター本部施設)  
 (イ) 平成28年度までの機関評価への対応状況説明、意見交換  
 (ウ) 委員講評
- ウ 機関評価委員  
 (ア) 外部評価(6人) 白川 隆 氏(東北農業研究センター企画部長)  
 高畑 義人 氏(岩手大学農学部教授)  
 新田 義修 氏(岩手県立大学地域連携本部副本部長)  
 高橋 明 氏(県農業農村指導士協会会長)  
 照井 勝也 氏(全農県本部副本部長)  
 鎌田 公一 氏(岩手県工業技術センター理事)
- (イ) 所員 所長、各部長、各研究所長、事務局等

## (3) 企画運営会議、全体会議

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
29.4.7(金)	特別会議室	(第1回企画運営会議) 1 協議事項 (1)連携プロジェクトによる研究推進について 2 連絡・報告事項 (1)平成29年度業務方針(案)について (2)平成29年度当初予算(試験研究費)について (3)平成29年度競争的研究資金応募課題等について (4)報道機関等への情報提供について (5)各部長・研究所長からの情報提供 等 (6)4～5月の行事予定
29.4.7(木)	大会議室	(全体会議) ○第1部 次長、室課長、室課員(実務担当者) (1) 試験研究推進に係る留意事項 ・諸規定Q&A、外部資金研究(応募手続き、経理、不正防止、研究倫理)等 (2) 経理事務等に係る留意事項 ・物品購入、旅費、契約事務、物品管理、事務ミスが多い事項 等 (3) その他の留意事項 ・情報セキュリティ、苦情対応、労働安全 等 ○第2部 全職員 (1) 機関評価について (2) 平成28年度機関評価結果及び対応方針 (3) 平成29年度業務方針について ア 組織のプロフィール、基本方針、職員の資質向上、組織運営課題 イ 各部・研究所の取り組み基本方針及び重点事項について (ア) 企画管理部 (イ) 技術部 (ウ) 環境部 (エ) 病害虫防除部 (オ) 畜産研究所 (カ) 県北農業研究所 (キ) プロジェクト推進室 (4) その他

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
29.5.29(月)	特別会議室	(第2回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成29年度機関評価の進め方について (2)科研費の機関指定について 2 連絡・報告事項 (1)知事への業務報告について (2)平成29年度競争的資金方簿課題採否状況について (3)「第60回東北農業試験研究発表会」発表課題応募状況について (4)いわてスマート農業祭、スマート農業推進研究会について (5)政策提言型調査研究コンテスト「Wild Cup 2017」について (6)いわてサイエンスシンポジウムについて (7)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (8)各部長・研究所長からの情報提供 等 (9)6～7月の行事予定
29.7.31(月)	特別会議室	(第3回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成29年度追跡評価の実施について (2)平成29年度職員表彰について (3)研究報告第17号の編集について 2 連絡・報告事項 (1)平成29年度機関評価の実施について (2)平成29年度第1回内部検討会議について (3)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (4)いわてスマート農業祭 等 (5)各部長・研究所長からの情報提供 等 (6)8～9月の行事予定
29.9.25(月)	特別会議室	(第4回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価(内部評価結果)について (2)機関評価(外部評価委員会)について 2 連絡・報告事項 (1)参観デーの実績について (2)外部資金への応募状況について (3)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (4)各部長・研究所長からの情報提供 等 (5)10～11月の行事予定
29.11.27(月)	特別会議室	(第5回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価の実施状況について (2)平成30年度当初予算要求の概要について (3)先端プロ成果発表会の開催について (4)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (5)各部長・研究所長からの情報提供 等 (6)12～1月の行事予定

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
30.1.29(月)	特別会議室	(第6回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価(総括評価)案について (2)農林水産部長表彰について 2 連絡・報告事項 (1)農業技術開発会議(2/7)への対応について (2)第3回内部検討会議(設計等)の開催について (3)年報及び研究報告の作成について (4)外部資金研究の実施に向けた動向について (5)平成30年度依頼研究員の候補者の推薦について (5)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (6)各部長・研究所長からの情報提供 等 (7)2～3月の行事予定
30.3.19(月)	特別会議室	(第7回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成30年度業務方針(案)について (2)平成30年度農業研究センター全体会議の開催について (3)平成30年度参観デー(本部)の開催方針(案)について 2 連絡・報告事項 (1)平成30年度競争的研究資金への応募状況等について (2)平成30年度依頼研究員の候補者の推薦について (3)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)実績について (4)各部長・研究所長からの情報提供 等 (5)3～4月の行事予定



#### (4) 委員会等の運営

##### ア ほ場管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
29.4.26	技術部ほ場管理委員会	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わるほ場の管理について
29.5.10	本部ほ場管理委員会	○ほ場利用調整、作業機械の点検・整備について ○その他センター全体に関わるほ場の管理について

##### イ 研究報告等企画編集委員会

###### (ア)委員会

開催月日	場所	内 容
29.7.31	特別会議室	研究報告第17号の編集について

###### (イ)幹事会

開催月日	場所	内 容
(開催なし)		

##### ウ 参観デー等企画運営委員会

###### (ア)委員会

開催月日	場所	内 容
29.3.27	本部所長室	平成29年度参観デーの開催方針について
29.9.25	本部特別会議室	平成29年度参観デーの開催実績について
30.3.19	本部特別会議室	平成30年度参観デーの開催方針について

###### (イ)幹事会等

###### (本部関係)

開催月日	場所	内 容
29.5.25	本部1階中会議室	(1) 平成29年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター合同参観デー開催計画について ア 平成28年度の開催状況・反省点について イ 平成29年度の参観デー開催計画について ウ 今後のスケジュール(予定)について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他
29.6.20	本部2階中会議室	(1) 平成29年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター合同参観デー開催計画について ア イベント実施計画について イ 開催打診を受けているイベント等について ウ 協賛会等について エ 今後のスケジュール(予定)について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他
29.7.12	本部1階小会議室	(1) 平成29年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター合同参観デー開催計画について ア イベント実施計画について イ 今後のスケジュール及び依頼事項について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他

開催月日	場所	内 容
29.8.28	本部1階小会議室	(1) 平成29年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター 合同参観デー開催計画(マニュアル等)について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他
29.10.4	本部1階中会議室	(1) 平成29年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター 合同参観デーの実施結果と反省点について (2) 平成30年度の開催について (3) その他

(畜産研究所関係)

開催月日	場所	内 容
29.8.3	セミナー室	(1) 展示内容について (2) 準備、当日の対応者について

#### エ 特許審査委員会

開催月日	場所	内 容
29.11.7	(書面協議)	(1) 水稻品種「岩手122号」の勤務発明審査について

#### オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会

開催月日	場 所	内 容
29.5.17	農業科学博物館	(1) 農業科学博物館入館者の状況について (2) 平成28年度事業報告について (3) 平成29年度事業計画について (4) 農業ふれあい公園のあり方の基本方向について

#### カ 環境美化委員会

開催月日	場 所	内 容
29.4.14	1階小会議室	(1) 平成28年度環境美化事業報告について (2) 平成29年度環境美化事業計画(案)について (3) その他

#### キ 職員衛生委員会

開催月日	場 所	内 容
29.6.27	特別会議室	(1) 平成28年度事業実績について (2) 平成29年度事業計画について (3) その他
30.2.2	特別会議室	(1) 平成29年度定期健康診断結果について (2) 事業実施状況について (3) その他

#### ク 原種等生産管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
29.7.27～28	岩手県農業研究センター(北上市)、紫波町(水稻委託原種現地)、赤石種子センター乾燥調製施設(紫波町)	平成29年度東北六県・新潟県主要農作物原種・原々種生産に係わる情報交換会開催(当センター8名出席、全参加者28名) (1)各県生産状況・意見交換 (2)現地視察
29.8.7,17	E地区水田圃場及び紫波町	第1期外部審査 (1)水稻原種・原々種外部審査(出穂期)
29.9.6,12,19	E地区水田圃場及び紫波町	第2期外部審査 (1)水稻原種・原々種外部審査(糊熟期)
30.3.7	2階第2小会議室	第3期外部審査 (1)水稻および大豆原種・原々種外部審査(生産物)
30.3.27	E地区原種乾燥調製施設	(1)生産・出荷実績および生産計画・課題について (2)原種乾燥調製施設整備について

#### ケ 飼料生産委員会

開催月日	場所	内 容
29.5.2	畜産研究所中会議室	(1)平成28年度粗飼料供給実績について (2)平成29年度粗飼料需要量と供給予定について (3)粗飼料生産の収穫時作業協力体制について

## (5) その他会議

### ア 全国農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
29.6.23	東京都港区 (三会堂ビル 9階 石垣記念ホール)	全国農業関係試験研究場所長会総会 1 平成29年度全国農業関係試験研究場所長会通常総会 2 平成29年度研究功労者表彰式

### イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
29.7.5 ～7.6	青森県弘前市 (弘前市文化センター 他)	1 協議・検討事項(7/6) (1) スマート農業に関する試験研究について (2) 研究課題の設定方法と成果の普及について 2 現地調査(7/5) (1) おうとう「ジュノハート」栽培園地(青森市) (2) 青森県産業技術センター農林総合研究所、V溝乾田直播(黒石市) (3) ICT活用リンゴ園(弘前市)

### ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
29.6.16	東京都文京区 (全国家電会館)	1 協議 (1)平成28年度事業報告及び収支決算について (2)平成29年度事業計画及び収支予算について (3)平成29年度会費の額及び徴収方法について 2 畜産研究功労者表彰

### エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議

開催月日	場 所	内 容
29.9.21～22	青森県畜研研修センター	1 重点研究課題について 2 連携(共同)研究について 3 国・独立行政法人に対する提案について 4 畜産研究功労者表彰候補者の推薦について 5 優秀畜産技術者表彰候補者の推薦について 6 意見交換の内容についての企画案について 7 その他(次期開催地について)

### オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議

開催月日	場 所	内 容
29.9.4	盛岡市 (県庁)	防除指針作成会議(農業普及技術課主催): 作成に係る基本方針の周知等
29.11.6～7	北上市 (農業研究センター)	分科会(農業普及技術課主催): 防除機指針の原案及び要望事項の検討
28.12.21,25	北上市 (農業研究センター)	平成30年度県防除指針の改正内容について(病害虫防除所主催): チェック結果の検討
30.2.5	盛岡市 (県庁)	防除指針作成会議(農業普及技術課主催): 防除指針(案)の決定

カ 東北農業試験研究推進会議

開催月日	場 所	内 容
<b>【作物生産推進部会】</b>		
29.8.31～9.1	宮城県大崎市ほか (宮城県古川農業試験場)	○東北地域水稲品種・系統立毛検討会 1 現地見学 2 立毛調査 3 室内検討
30.1.30～31	盛岡市 (アイーナ)	○稲栽培研究会 1 研究会「密播苗等の省力・低コスト移植栽培技術」 2 研究成果情報候補課題の検討 3 技術適課題の検討
30.1.30～31	盛岡市 (アイーナ)	○稲品種検討会 1 新品種候補系統の概要 2 品種の作付動向と要望される品種 3 奨励品種決定基本調査関係の検討 4 成果情報(稲品種)の検討 5 特性比較連絡試験の検討 6 育種関係情報交換
30.1.30	盛岡市 (アイーナ)	○直播研究会 研究会「直播水稲栽培における最近の雑草防除技術」 1 湛水直播栽培における一発処理型除草剤の開発 2 アーカンソーの水稲乾直栽培における雑草防除 3 最近の雑草問題とその対策 4 総合討論
30.1.31	盛岡市 (アイーナ)	○稲課題検討会
30.1.31	盛岡市 (アイーナ)	○作物生産推進部会 本会議 1 検討会・研究会報告 2 「最新農業技術・品種2019」候補の選定 3 技術的課題の検討 4 重点検討事項「高収益営農のための作物生産分野の研究の現状と課題」 5 次年度重点検討事項および 共同研究課題の提案
29.8.22～23	北上市 (岩手県農業研究センター) (現地:北上市、紫波町)	○畑作物栽培研究会 研究会「岩手県における大豆栽培の限界に挑戦」 ・ダイズ黒根腐病について ・ダイズの摘心技術導入について ・東北農政局情勢報告、生育状況及び試験概要報告 ・総合討議 現地検討会(摘心技術導入圃場、黒根腐特性検定圃場)
29.8.31	盛岡市 (東北農業研究センター)	○東北地域麦・なたね品種・系統検討会 1 各県の麦・なたね作概況 2 各県における品種の改廃ほか 3 各県における有望品種・系統の成績検討 4 育成地の試験経過及び配付計画 5 冬作に関する情報交換
29.9.4	青森市 (現地は場) (青森国際ホテル)	○そば研究会(東北ソバフォーラム) 1 現地検討会 2 ソバを巡る情勢報告 3 話題提供および意見交換

開催月日	場 所	内 容
30.1.30	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物栽培研究会 1 行政部局からの情報提供 2 検討会「干ばつに打ち勝つ～ 要因と対策に関する研究の取り組み」 3 話題提供 「大豆における干ばつ発生とその回避技術」 「水田転換畑における干ばつ耐性大豆品種の育成を目指して」 4 栽培状況と研究実施状況 5 総合討議 6 成果情報候補課題の検討 7 畑作物の雑草防除に関する情報交換会
30.1.31	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物品種検討会 1 研究成果情報(畑作物品種関係)の検討 2 畑作物品種・系統の検討 (1)奨励品種改廃・採用予定及び有望品種・系統(各県) (2)大豆の有望品種・系統(育成地)、配付計画
30.1.31	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物課題検討会
30.2.8	仙台市 (仙台合庁)	○東北ソバ研究会 1 基調報告「農業に役立つ気象情報の紹介」、「そばの近年の研究成果と春まき・夏まきの基本」 2 情勢報告 3 各県のそば振興の現状と課題等について 4 意見交換
<b>【農業生産基盤推進部会】</b>		
29.7.27	盛岡市 (東北農業研究センター)	○農業経営研究会(夏期) 東北地域における労働力不足の現状と園芸産地の対応方向
30.1.30～31	盛岡市 (東北農業研究センター)	○作業技術研究会 重点検討事項「東北地域における人工知能(AI)活用の可能性と適用可能な現場の課題」 1 山形大学でのAI 利用研究 2 AI(人工知能)利用の潮流と農業分野での可能性 3 農水省プロでのICT・AI研究と実証 ○作業技術研究会検討会 ・ 平成29年度研究成果情報の検討
30.1.30～31	盛岡市 (東北農業研究センター)	○農業経営研究会 1 平成29年度研究成果情報の紹介 2 平成29年度重点検討事項「東北地域における水田への野菜作導入の意義と評価方法」 3 「最新農業技術・品種2019」候補の選定 4 現場段階での重要な技術的課題 5 各県の主要研究課題の検討 6 夏期研究会の次年度開催計画
30.1.30	盛岡市 (東北農業研究センター)	○流通加工研究会 1 情勢報告 2 重点検討事項「東北地域における高収益営農に寄与する6次産業化の現状と今後の研究展開」 3 試験研究「研究成果情報」の検討ほか

開催月日	場 所	内 容
<b>【生産環境推進部会】</b>		
29.7.12～13	岩手県盛岡市 他 (ホテル東日本盛岡 他)	○ <b>土壌肥料研究会(夏期)</b> 検討課題：低コスト化・省力化および東日本大震災に対応した新たな課題解決へ 向けての土壌肥料研究の展開方向 特別講演：土壌蓄積養分と地域資源の利用による施肥コスト削減  現地検討会：岩手県における水稲直播用肥料の開発及び今後の土壌肥料研究 における新たな方向性(花巻市)
29.8.24～25	青森県八戸市 (八戸地域地場産業振興センター)	○ <b>病害虫研究会(夏期)</b> 1 現地検討会 2 研究会 検討課題:大規模水田輪作における病害虫の発生とその対策
30.1.25～26	盛岡市 (アイーナ)	○ <b>土壌肥料研究会</b> 1「近年の温暖化・異常気象発生状況を踏まえた土壌肥料研究の展開方向」の議 論 2 成果情報候補の検討 3 各県の研究課題・研究成果に関する情報交換
30.1.25～26	盛岡市 (アイーナ)	○ <b>病害虫分科会 病害研究会</b> 1 研究成果情報の検討 2 平成29年度試験研究成績の検討 3 重要検討事項「近年の気象の特徴を踏まえた病害虫研究の展開方向」につい て
		○ <b>病害虫分科会 虫害研究会</b> 1 研究成果情報の検討 2 平成28年度試験研究成績の検討 3 重要検討事項「近年の気象の特徴を踏まえた病害虫研究の展開方向」につい て
30.1.26	盛岡市 (アイーナ)	○ <b>農業気象研究会</b> 1 重要検討事項 「近年の温暖化・異常気象発生状況を踏まえた作物生産環境の変化と対応」 2 研究成果情報候補の検討 3 試験研究成績の検討
30.1.26	盛岡市 (アイーナ)	○ <b>生産環境推進部会 本会議</b> 1 重点検討事項 ・高収益営農体系の確立に向けた生産環境研究分野の展開方向 ・近年の気象の特徴を踏まえた生産環境研究分野の展開方向 2 研究成果情報の検討

開催月日	場 所	内 容
<b>【畜産飼料作推進部会】</b>		
29.8.17～18	青森市 (会議:青森県水産ビル) (シンポジウム :県民福祉プラザ)	○夏期研究会 1 分科会 大家畜分科会、中小家畜分科会、飼料作分科会共通 各分科会で現在重要であるテーマについて情報交換を行い、連携協力の可能性を検討する。 2 全体会議 ①分科会の報告 ②共同連携方策、競争的資金および共同研究課題について ③その他 3 シンポジウム 「地域創生に向けた地域ブランディング戦略～畜産の巻～」
30.1.29～30	盛岡市 (アイーナ会議室)	<b>畜産飼料作推進部会 本会議</b> 1 重点検討事項 子実用トウモロコシ栽培・利用研究の現状と今後の展開方向 2 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 3 主要成果の紹介および最新農業技術・品種2017候補の選定 4 平成29年度主要新規試験計画の検討 5 今後の推進会議の運営について 6 外部委員による講評
30.1.30	盛岡市 (アイーナ会議室)	<b>東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会 大家畜分科会</b> 1 乳牛の能力を最大限に活かす技術的取り組みと求められる技術開発 <b>東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会 中小家畜分科会</b> 1 青森県における卵用鶏の開発と差別化鶏卵の採算販売の事例紹介 <b>東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会 飼料作分科会</b> 1 宮城県における飼料作物の施肥基準について 2 飼料作物における肥料の低減化 3 国産濃厚飼料の評価手法～穀実のでんぷん分について
<b>【野菜花き推進部会】</b>		
29.7.26～27	青森県十和田市、六戸町	○野菜研究会(夏期) 1 検討課題 地域特産野菜の品種開発と種苗供給 2 話題提供 青森県における特産野菜の品種開発と種苗供給について ニンニク「白玉王」の育成と種苗供給 3 現地研修 JA全農あおもりナガイモ優良種苗原種圃(十和田市芋久保) 青森県産業技術センター野菜研究所原々種圃等(六戸町犬落瀬) ※小集会「東北イチゴ共同育種検討会」
29.9.20～21	岩手県北上市、花巻市	○花き研究会(夏期) 1 検討課題 「花き日持ち性向上対策実証事業」の研究成果について 2 研究紹介 寒冷地における冬季のEOD-heating処理がスプレーカーネーションの開花、収量および切り花品質に及ぼす影響 岩手県農研センターにおける近年の lindow 品種開発状況について EOD-heating処理がトルコギキョウの開花に及ぼす影響と燃油削減効果 3 現地見学会 (有)及川フラググリーン(クレマチス、花巻市東和町) (株)T&Gバイオナーサリー(lindow、花巻市石鳥谷町)
30.2.1～2	盛岡市 (東北農業研究センター)	○野菜花き推進部会 本会議 1 重点検討事項(野菜花き共通) 東北地域における野菜花きの高収益営農について 2 研究成果情報候補課題の検討・採択 3 「最新農業技術・品種2019」候補の選定 4 技術的課題(現場ニーズ)の検討 ※小集会「東北イチゴ共同育種検討会」



開催月日	場 所	内 容
<b>【果樹推進部会】</b>		
29.8.22～23	山形県寒河江市	<b>○果樹研究会(夏期)</b> 1 話題提供 1) 温暖化に対応したカンキツの選抜 2) 「北限のユズ」ブランド化に向けた取り組み 3) 山形県のアウトウ試験研究の最前線 4) リンゴ栽培における気候温暖化の影響と対策技術 5) 林地等急傾斜地における獣害対策 6) 和歌山県の果樹園における獣害対策 2 鳥獣害対策研究方向に関する検討
30.1.23～24	盛岡市 (いわて県民情報交流センター(アイーナ))	<b>○果樹推進部会</b> 1 重点検討事項: 東北果樹における高収益営農に関する研究の現状と展望 リンゴ作における経営の動向と高収益営農の成立条件 特別講演: ドローンを用いた鳥獣追い払いの試み 2 平成29年度成果情報 3 最新農業技術・品種2018候補選出 4 現場段階での重要な技術的課題 5 主要新規試験研究計画の概要 6 その他
30.1.30～31	つくば市	<b>○落葉果樹研究会</b> 1 <b>全体会議</b> 東日本大震災被災地の早期復興を目指した果樹生産技術開発 1) 東日本大震災及び原子力災害からの営農再開について 2) ブランド化を促進する果実等の生産・加工技術の実証研究 - 東日本大震災からの果樹農業の早期復興 - 3) 果樹産地形成に向けた実証研究が牽引する震災からの早期復興 4) ナシ・カキの早期成園化技術やあんぼ柿の短期加工法活用による産地再生 4) 総合討議 2 <b>樹種別分科会</b> ナシ、カキ、クリ、核果類、ブドウ、土壌肥料、流通利用
30.2.6～7	盛岡市 (サンセール盛岡)	<b>寒冷地果樹研究会</b> 1 <b>全体会議</b> シードルによる収益性向上の可能性を探る 2 <b>分科会</b> 栽培) リンゴのみつ入りを考える - 障害としてのみつ、高品質の指標としてのみつ - 病害) 最近発生動向が気になるリンゴ病害と防除対策 虫害) 寒冷地果樹害虫研究の現状と今後の研究方向 土壌・肥料) 温暖化に対応したリンゴでの窒素施肥管理
<b>【研究戦略会議】</b>		
29.10.26	仙台市 (仙台合同庁舎)	出席者: 企画管理部長 1 平成30年度予算概算要求の概要説明 2 戦略目標(重点検討事項)に係る検討 3 「国の施策で対応すべき技術的課題」の候補選定 4 研究成果の普及・実用化に係る検討 5 「最新農業技術・品種2018」の候補選定 6 東北農業研究センターと各県普及組織等との連携強化に係る検討
<b>【本会議】</b>		
30.2.13	盛岡市 (東北農業研究センター)	1 推進部会報告 2 重点検討事項の検討 テーマ: 東北地域における高収益営農について 3 その他

キ 東北地域研究・普及連絡会議

開催月日	場 所	内 容
		※平成29年度より、研究戦略会議と合同開催

ク 県内で開催された関係学会

開催月日	場 所	学 会 名 ・ 内 容
29.7.1～2	盛岡市(岩手大学)	日本農業市場学会2017年度大会
29.7.11～12	盛岡市(アイーナ)	平成29年度日本土壌肥料学会東北支部大会及び公開シンポジウム「大震災後の農業被害復興のその後と今後の課題」
29.9.21～22	盛岡市 アイーナ	第22回農林害虫研究会
29.10.7～9	盛岡市(岩手大学)	日本育種学会第132回講演会 シンポジウム「途上国を救う日本の育種学研究～その課題と展望～」 1 この実験材料がアフリカのコムギ生産に貢献できるの？～その不安と喜び～ 2 国際農業研究所を知っていますか？その活動と日本の貢献 3 先進のゲノミクスとフェノミクスは発展途上国の育種を変えるか？ ～ラテンアメリカ向けの省資源型イネ品種開発をめざして～ 4 途上国のイネ育種をゲノム育種技術で迅速化できるか？ 5 一般企業から見た日本の育種技術の可能性と課題 ～国際競争の最前線に立って見えた事 6 フィールド研究のわくわく～アフリカの作物生産改善を目指して～ 市民公開シンポジウム「東北から全国へ、そして世界へ―品種改良物語―」 1 東北地方におけるイネブランド品種の育種 ～地域活性化と国際化に向けて～ 2 日本のリンゴ育種のこれまでとこれから 3 リンドウ育種の過去・現在・未来 ―世界を見据えた育種へ 4 日本で開発された新しい小麦が世界へ普及
29.12.9～10	盛岡市(岩手大学)	東北植物学会第7回大会 公開講演会「岩手の花:リンドウを取り巻く最新の話題」 「野生リンドウ地域集団の形態的および遺伝的多様性」 「ウイルスベクターを利用した植物の早期開花と世代促進技術」

ケ 北東北3県農業試験研究センター企画室長等会議

開催月日	場 所	内 容
		(活動なし)

## Ⅱ 試験研究の推進



## II 試験研究の推進

### 1 研究活動の概要

岩手県では、平成 21 年度から平成 30 年度までの 10 年間の計画となる「いわて県民計画」を平成 21 年 12 月に策定した。この「いわて県民計画」に基づき、農林水産部では、農林水産分野の長期的な技術開発の方針として『農林水産技術立県いわて』技術開発基本方針（以下「技術開発基本方針」という。）を策定した（平成 22 年 3 月）。

農業研究センターでは、技術開発基本方針に基づき、平成 30 年度までに取り組む具体的なアクションプラン「岩手県農業研究センター試験研究推進計画」を策定した（平成 22 年 3 月、研究期間を平成 26 年度までとして策定。平成 24 年 3 月、期間を 30 年度まで延長し改訂）。

技術開発基本方針の 6 つの農業技術開発の方向に即し、17 分野 50 の取組により、安全・安心で高品質な農畜産物を効率的・安定的に生産するための高度な技術の開発を進め、「農林水産技術立県いわて」の確立に取り組んでいる。

平成 29 年度の試験研究にあたっては、以下の 3 つの基本方針に沿って、新規 8、継続 99、合計 107（小課題数ベースで、分野を重複する小課題はカウントしている）の研究課題に取り組んだ。

#### 1 顧客の視点に立った試験研究等業務の着実な推進

- ・所得向上につながる普及性の高い技術開発
- ・産地づくりをリードする革新的な技術開発など

#### 2 プロジェクト研究の推進によるスピーディーな課題解決

- ・課題設定から普及定着まで、研究、行政、普及、地域が一体的に推進
- ・連携軸強化による効率的・効果的かつ戦略的な技術開発

#### 3 情報発信の強化による県民への業務の「見える化」の推進

- ・知的財産の実用化促進
- ・研究成果活用・PR 強化

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災等への対応として設置した「震災復旧・復興支援プロジェクトチーム」を「震災復興加速プロジェクトチーム」に改組し（平成 25 年 7 月 1 日）、沿岸地域における復興に向けた技術的、経営的ニーズへの積極的対応、実証試験を通じた技術の導入・開発に取り組んだ。

県独自予算の研究に加え、競争的資金等の活用や産学官連携による共同研究を推進し、農産部門で 32 課題（うち新規 7 課題）、畜産部門で 7 課題（うち新規 1 課題）、合計 39 課題の共同研究に取り組んだ。中でも、農林水産技術会議の「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の「中山間地域における施設園芸技術の実証研究」並びに「ブランド化を促進する農産物の生産・加工技術の実証研究（果樹類及び野菜類）」の 3 課題については代表機関として、また、共同研究機関として「中小区画土地利用型営農技術の実証研究」に取り組んだ。

畜産分野では、黒毛和種及び短角種の産肉能力検定、SNP情報を利用した黒毛和種の牛ゲノム育種価に関する研究や飼料用トウモロコシ不耕起栽培によるアレチウリ防除技術の確立などに取り組んだ。

知的財産では、水稲「岩手 122 号（＝たわわっこ）」を品種登録出願した。

本年度の試験研究から得られた成果は、内部及び外部（試験研究推進アドバイザー・生産者等）の評価を経て、69 の研究成果（普及区分 6、指導区分 45、行政区分 10、研究区分 8）にとりまとめ公表した。

機関評価委員会（外部評価）については、11 月 9 日に本部を会場として開催し、前年度までの評価委員会における意見に対応した本年度の取組状況や試験研究の進捗状況等を報告するとともに、試験研究全般に関し意見交換を行った。

## 2 トピックス

### (1) 特許・品種登録出願状況

区分	出願・登録内容	担当
特許	(該当なし)	—
種苗登録	水稻 岩手 122 号【出願番号 32947、登録出願 2018/3/16】 ・早生で耐倒伏性に優れる飼料用米品種	技術部 作物研究室
	りんどう いわて VEB-7 号【登録番号 26414、登録年月日 2018/1/24】 ・7 月中旬咲きの切り花用青色品種	技術部 野菜花き研究室
	同 いわて EB-1 号【登録番号 26415、登録年月日 2018/1/24】 ・7 月下旬咲きの切り花用青色品種	

### (2) 表彰等受賞状況

#### ア 県職員表彰(事績顕著者)

技術部作物研究室は、岩手県オリジナル良食味水稻品種「銀河のしずく」及び「金色の風」の開発及び普及による本県農業への貢献により表彰された(平成 29 年 11 月 2 日)。

#### イ 第 11 回全国和牛能力共進会褒章

畜産研究所種山畜産研究室から第 1 区若雄の部に出品した「暁雲」号は優等賞 3 席を受賞。副賞として農林水産省生産局長賞および公益社団法人畜産技術協会会長賞が贈呈された(平成 29 年 9 月 11 日)。

なお、同牛はいわて牛の名声を高め本県和牛の振興と発展に多大なる貢献をしたとして第 11 回全国和牛能力共進会岩手県協賛会から感謝状が贈呈された(平成 29 年 10 月 30 日)

#### ウ 平成 29 年度農林水産部長職員表彰

種山畜産研究室 澤田専門研究員、羽田専門研究員が「第 11 回全国和牛能力共進会種牛の部第 1 区で第 3 位入賞」により県有種雄牛の優れた能力を全国にアピールするとともに、本県黒毛和種の能力向上に貢献したとして農林水産部長表彰を受けた(平成 29 年 11 月 16 日)。

#### エ 日本養豚学会若手優秀発表賞

家畜育種研究室 佐々木康仁専門研究員が、第 108 回日本養豚学会大会において、「飼料用米を活用したパークシャー種肥育後期飼料における適正な粳米配合割合」を発表し、最も収益性の高い粳米の配合割合を明らかにしたとして、若手優秀発表賞を受賞した(平成 30 年 3 月 16 日)。

#### オ 東日本家畜受精卵移植技術研究会花田賞受賞

家畜育種研究室 細川泰子室長が、平成 17～22 年度に実施した一連の研究成果「牛正常胚回収成績と胚移植成績向上のための飼料給与プログラムと血液検査値指標の確立および実証」について受精卵移植に関する普及・実践に功績があったとして、日本家畜受精卵移植技術研究会より、花田賞を授与された(平成 29 年 9 月 19 日)。

### (3) 連携プロジェクトによる研究推進

#### ア 連携プロジェクト\*\*

(\*\*多岐の研究部門にまたがる研究課題を短期間に、効率よく解決するために編成するプロジェクト)

(ア)プロジェクト名及び構成

分野	プロジェクト名	研究内容	チーム員	協力
個別課題解決	リンドウこぶ症 連携プロジェクト [H21～]	◎リンドウこぶ症対策に係る試験研究	環境部 技術部	・(公財)岩手生物工学研究センター ・中央農業改良普及センター

分野	プロジェクト名	研究内容	チーム員	協力
個別課題解決	りんご JM7 台木利用樹衰弱症状対策プロジェクト [H29～]	◎りんご JM7 台木利用樹衰弱症状に係る試験研究	環境部 技術部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)岩手生物工学研究センター</li> <li>・農研機構果樹茶業研究部門</li> <li>・中央農業改良普及センター</li> <li>・奥州農業改良普及センター</li> <li>・一関農業改良普及センター</li> <li>・(一社)岩手県植物防疫協会</li> </ul>

#### (イ) 取組概要

名称	検討内容	検討結果
リンドウこぶ症	<p>りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路を探索し、こぶ症の発生原因を解明するため、連携プロジェクトを継続。GKaVの病原性について研究を進めている生工研とも連携を図る。</p> <p>部門別連携会議およびその後担当者間において詳細な試験打合せをするとともに3月下旬に持ち回りのプロジェクトチーム会議を開催した</p>	<p>本プロジェクトチームは、研究課題の終了に伴い一度解散するが、生工研との連携は継続する。</p> <p>平成25年以降の成績及び成果について報告書を作成する。</p> <p>新年度新たにプロジェクトチームを立ち上げる。</p>
りんご JM7 台木利用樹衰弱症状対策	<p>りんごのわい性台木 JM7 を使用した樹における急性衰弱・枯死症状の発生原因を解明するため、連携プロジェクトを設置。生工研、農研機構との連携を図る。</p> <p>○第1回チーム会議(H29.4.17)</p>	<p>○第1回チーム会議</p> <p>平成28年度試験成績および平成29年度試験計画の確認。</p> <p>現地への情報発信などの対応を検討</p>

#### イ 復興加速プロジェクトチーム

東日本大震災津波により、沿岸被災地の農業・農村は大きな被害を受けた。被災地地域の生産基盤は、中山間地域に点在する中小区画、多様な形状の水田や小規模な圃場施設であり、生産コストの低減や収益性の向上が課題であった。その課題を解決するため、平成25年度から国(復興庁・農林水産省)の「食料生産地域再生のための先端技術展開事業(通称:先端プロ)」を活用し、陸前高田市、大槌町において大規模な実証研究を実施してきた。

平成25～29年度の5年間にわたる実証研究は、当センターだけでなく、国や他県の研究所、大学、民間企業等計28機関が参画する大規模な研究体制で、現地の実証経営体の協力のもと行われ、被災地域の早期復興のため、民間や大学で既に開発された先端的研究シーズを活用し、組合せあるいは最適化しながら実際の栽培に適用していくことで、現地の課題解決に取り組んだ。

本実証研究では、小型汎用コンバインを核とする低コスト栽培技術の実証、改良型木骨ハウスの最適化の把握やICTを活用した複合環境制御によるトマト栽培の安定化、りんご早期成園化のためのフェザー苗養成技術や北限のユズ安定栽培の実証、長期に草勢を維持できる露地キュウリ栽培実証など、非常に幅広い取組を展開した。

なお、5年間の研究から得られた成果について、沿岸被災地域だけでなく県内に広く導入できる技術として品目や個別技術毎の詳細を説明した各種マニュアルを当センターホームページに掲載している。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp2088/library/sentan/index.html>

また、農林水産省のHPにも掲載されている。

[http://www.affrc.maff.go.jp/docs/sentan\\_gijyutu/attach/pdf/sentan\\_gijyutu-20.pdf](http://www.affrc.maff.go.jp/docs/sentan_gijyutu/attach/pdf/sentan_gijyutu-20.pdf)

[http://www.affrc.maff.go.jp/docs/sentan\\_gijyutu/attach/pdf/sentan\\_gijyutu-21.pdf](http://www.affrc.maff.go.jp/docs/sentan_gijyutu/attach/pdf/sentan_gijyutu-21.pdf)

[http://www.affrc.maff.go.jp/docs/sentan\\_gijyutu/attach/pdf/sentan\\_gijyutu-11.pdf](http://www.affrc.maff.go.jp/docs/sentan_gijyutu/attach/pdf/sentan_gijyutu-11.pdf)

### 3 研究室・課の動き

#### (1)プロジェクト推進室

水稲鉄コーティング湛水直播栽培の安定技術の開発、及び水田転換畑における大豆の安定多収を実現する新技術等の開発や春まきタマネギの現地実証を行い、これらを軸に、土地利用型作物・野菜の低コスト生産技術の確立と体系化に取り組んだ。また、沿岸南部地域において「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」を実施し、沿岸地域農業の復興支援に取り組んだ。

業務推進にあたっては、本県の地域特性に合致した技術の、社会実装を見据えた現地実証試験や、普及組織等のビジネスパートナー及び所内他部等との目的の共有化と密接な連携によって、顧客ニーズに即した現場解決型技術の体系化を図った。

##### <岩手県における水稲鉄コーティング湛水直播栽培の安定栽培技術の開発>

県内で急速に普及拡大している水稲鉄コーティング湛水直播の安定栽培技術体系の確立に向けた課題を遂行し、鉄コーティング湛水直播を対象として、生育中・後期の落水管理の効果を検証するとともに、倒伏軽減を図るための水管理方法を明らかにした(研究成果(指導区分))。これにより、これまで明らかにしてきた主要品種毎の生育指標や栽培条件と合わせて、県内の水稲鉄コーティング湛水直播栽培の安定化に寄与できる。

##### <県中南部における大豆難防除雑草の除草体系の構築>

委託プロジェクト研究「水田輪作における大豆・麦類の多収阻害要因の解明と安定多収化技術の確立(代表機関:(独)中央農業総合研究センター、H27～31)」において、3年目の現地試験に取り組んだ。水田転換畑における大豆の難防除雑草に対し、ディスク式除草機による機械除草と除草剤の組み合わせによる効果的な除草体系の構築を目的としているが、より効果的な除草剤を主体とし、機械除草を補完技術とする体系に移行する方向性が定まった。

##### <東北の水田地域への春まきタマネギを核とした野菜作の導入と実証>

経営体強化プロジェクト「寒冷地の水田作経営収益向上のための春まきタマネギ等省力・多収・安定化技術の開発とその実証」(代表機関:(独)東北農業研究センター、H29～H31)において、春まきタマネギの転換畑における安定生産のための排水対策を地下かんがい現地実証の中で取り組んだ。また、岩手県の水田における春まきタマネギの栽培作業体系確立のための作業技術や要素技術の評価も実施した。

##### <食料生産地域再生のための先端技術展開事業>

「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」(中小区画土地利用型営農技術の実証研究)(代表機関:(独)東北農業研究センター、H25～29)に参画し、東日本大震災からの早期復興をねらいとして、土地利用型作物の低コスト・省力・安定生産技術の実証試験を実施した。陸前高田市において水稲直播栽培技術、大豆のディスク式畦立て播種栽培体系、畦畔法面管理の省力化技術を実証し、沿岸地域に適した水稲の直播栽培技術の組み立て、実証地域での大豆の安定多収技術の検証、及びイブキジャコウソウによる畦畔被覆管理技術の現地適応性の確認を行った。最終年である本年度は、農地法面管理の集大成として、イブキジャコウソウの導入効果をとりとまとめ、マニュアル改訂を実施した(研究成果(普及区分))。

#### (2)企画管理部

##### 研究企画室

農業試験研究のアクションプランである「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、研究員の円滑な試験研究の支援、生産者や県民に開かれた農業研究センターを目指し、以下の事項について重点的に取り組んだ。

##### <顧客視点の試験研究の推進>

顧客のニーズに対応した試験研究を推進するため、中央普及センターとの作物別連携会議や現地検討会などを通じて顧客である農業者等のニーズの把握に努めた。

試験研究推進に際しては、研究課題の収集や平成23年度に制度化した試験研究推進アドバイザーを研究会議等に参集し、顧客目線での助言を得ながら課題設定や成果の取りまとめを行った。

センター運営や試験研究推進に対する外部評価を得るため設置した機関評価委員会について、11月9日に研究現場等の視察後、前年度までの評価意見への対応状況や試験研究に関し、質疑と意見交換を行った。

平成25年度から実施している食料生産地域再生のための先端技術展開事業を適正に執行するため、職員に対して研



究資金等の事務手続きや経理事務研修を行った。

競争的研究資金等への応募のため、資金情報の提供や研究計画作成への助言を行うとともに、農業改良普及センターや県庁関係課との事前調整を行った。

#### <アウトカムを意識した研究成果の普及と情報発信>

研究センターの業務内容や研究成果の周知を図るため、マスコミへのプレスリリースやホームページにより積極的な情報発信を行なった。マスコミでの報道件数は、77件(前年150件)であった。ホームページは、年間453万件(前年434万件)の閲覧数があり、また、研究活動の現在(いま)を分かり易く伝える「らぼ・れたあ」をメールやホームページにより年間79件(前年48件)発信した。さらに、Twitterによる情報発信では、ホームページの更新情報を中心にツイート数328回、フォロー増加数444名、同じくFacebookでは投稿数215回、フォロワー増加数57名であった。

センターの取組を広く知らせるため、参観デーや一日子供農業研究員を開催した。

参観デーは、9月9日に生物工学研究センター及び中央農業改良普及センターと合同で開催し、来場者数は約1,500人であった。また、一日子供農業研究員は8月4日に、「身近な自然にはどんな昆虫がいるかな?昆虫標本を作ってみよう!」をテーマとして開催し、北上市及び花巻市の小学生20名が参加した。

また、食料生産地域再生のための先端技術展開事業(先端プロ)における成果の普及を図るため、農業改良普及センターや生産者等を参集した現地検討会を陸前高田市等で開催した他、30年1月12日に5年間の成果を広く発信するための収益力アップ・セミナーを開催した。

#### <専門知識と技術を有する人材育成>

研究員の資質向上については、「農業研究センター研究員育成プログラム」(平成19年3月策定、平成27年3月改定)に基づき、専門性の高い人材の育成に向け、国が主催する研修に研究員2名を派遣した。

予算管理面では、「不正防止計画」に基づいたモニタリングと内部監査の実施により適正な経理事務を支援した。また、研究備品の更新計画をローリングした。

## 農業経営研究室

「元気な地域農業推進のための農業経営モデルと地域営農システム構築方策の提示」の研究課題については、水稻の生産費の実態とコスト低減ポイント、大規模水田作経営の類型別特徴等を明らかにした。「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」では、実証研究された先端技術の経営経済的評価を実施し、技術の有効性、導入条件、農業経営体における導入効果を明らかにした。

#### <外部環境の変化に対応できる持続可能な地域営農システムの構築支援>

本県における先進的稲作経営の生産費の実態とコスト低減のポイントを整理するとともに(研究成果:指導区分 県内稲作経営の生産・経営実態からみた米生産費低減のポイント)、経営目的と専従者の状況等により大規模水田作経営を3タイプに類型化し、その特徴と展開条件を提示、所得拡大型(家族経営)、農地維持型(ぐるみ型集落営農)の2経営モデルを例示した。(研究成果:指導区分 県内大規模水田作経営の類型別特徴と経営モデル)

#### <地域特性を活かした収益性の高い農業経営モデルの提示>

水稻鉄コーティング湛水直播及び大豆栽培の実証技術を導入した沿岸地域で想定される集落営農組織の経営モデル及び低コスト耐候性ハウスである木骨ハウス等を利用した、イチゴ促成栽培、イチゴ2年栽培及びトマト周年栽培に関する費用や10a当たり収益性等について明らかにして実証技術を導入した経営モデルを提示した。

#### <開発技術の経営的評価による効率的な研究推進>

「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」実証研究の実証技術を導入した経営モデルを提示し、導入効果及び導入に係る条件等を明らかにした。

#### <営農計画作成支援情報の提供>

先端技術等の開発技術に係る作業時間等を随時整理するとともに、前年整理検討した課題に基づき生産技術体系2020の品目・修正対応方針を提示した。

### (3)技術部

#### 果樹研究室

果樹は、りんごを主体に、ぶどう、西洋なし、おうとう、ブルーベリーなどの樹種に係る試験を実施している。特に、早生から晩生までを網羅するオリジナルりんご品種の開発を掲げ、「つがる」に代わる早生品種と「ふじ」に匹敵する晩生種の開発を重点課題としている。また、温暖化によるリスクの解消、軽減を図るため、凍霜害、裂果等のリスク対策の開発に努めると共に、果樹作業の軽労化につながる栽培技術の開発に向けた課題を実施している。

加えて、東日本大地震・大津波被害地域の復興を目的とした、国庫委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開研究」を導入し、りんご、ゆず、ぶどうの生産・加工技術の実証研究として、センター内の他、陸前高田市に実証圃場を設置するなどし、被災地復興支援に取り組んでいる。

以上の取り組みから、今年度は以下の5つの研究成果を公表した。

- (1) りんごオリジナル品種「紅いわて」(品種登録名:岩手7号)について、5頂芽1果程度に着果することで、果実品質が良く、花芽着生が安定することを明らかにした。
- (2) りんご品種「紅ロマン」(品種登録名:高野1号)は、花器の花粉が少ない特性を持つことを明らかにした。
- (3) ポット養成フェザー苗を利用した早期成園化について、慣行の栽培法よりも初期収量が向上することを明らかにした。
- (4) 醸造用ぶどうについて、先端プロを活用し、垣根仕立て栽培法の導入は、開園時のコスト低減、省力化を実現し、大規模経営が可能であることを明らかにした。
- (5) ゆずについて、先端プロ事業を活用し、雨よけハウスを利用し大苗を1~2年養成することで、定植後の生育向上、早期結実する効果が得られることを明らかにした。

#### 作物研究室

##### <水稲育種チーム>

###### (水稲品種)

水稲の奨励品種決定調査では、本調査において粳11系統(うち非主食用米3)を供試し、現地調査では粳を14か所で検討した。

30年度の本調査に早生で「ふ系246号」、「岩手123号」、中生で「岩手120号」、「岩手124号」、晩生で、「岩手121号」、「岩手126号」、「東北215号」、「岩手129号」、「福島46号」、非主食用で「奥羽427号」、「岩手116号」を供試する(試験研究成果書(行-01)、(行-02)、(行-03))。

###### (水稲育種)

いわてブランド米品種開発推進事業に取り組んでいる。生産力検定本試験から、生育・収量調査および各種特性検定試験の結果に基づき、「岩手132号」(早生の晩、イネ初期伸長性 QTL “*qPHS3-2*”を有する良質良食味系統)、「岩手133号」(早生の晩、耐倒伏性「強」で、いもち病圃場抵抗性に優る良質良食味系統)、「岩手134号」(中生の早、穂いもち圃場抵抗性が「極強」、耐冷性「かなり強」の多収系統)、「岩手135号」(晩生の早、良質良食味のいもち病圃場抵抗性遺伝子集積系統)、「岩手136号」(晩生の中、耐冷性といもち病圃場抵抗性に優れる良質良食味の多収系統)の系統を選抜した(行-04)。

平成27年度から農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「ゲノム育種により有用形質を集積したイネ品種の低コスト生産技術の確立と適地拡大」および「ひとめぼれ」大規模交配集団を用いた有用遺伝子単離と遺伝子相互作用解明」に取り組み、(公財)岩手生物工学研究センターなどと連携し、分子マーカーを用いた選抜に取り組んだ。

###### (食料生産地域再生のための先端技術展開事業(先端プロ))

被災地復興に向けた技術開発の取り組みの一つとして「中小区画土地利用型営農技術」の開発に取り組んだ(H25~29)。

東北農業研究センターと連携し、夏季冷涼気候に対応した水稲高品質安定栽培技術実証として、低アミロース米品種「きらほ」の収量向上と高い加工適性を両立する施肥法を明らかにした。また紫黒米栽培においては、玄米着色の均一性及び色素含量において沿岸の冷涼気候の有利性を明らかにするとともに、収量増加につながる栽培法について検討した。

##### <作物栽培・種子チーム>

水稲・畑作物(麦類・大豆)栽培試験、品種選定、作柄解析、主要農作物(水稲・小麦・大麦・大豆)原種・原々種生産に取り組んでいる。

###### (水稲栽培)

平成26年度に奨励品種に採用された水稲品種「銀河のしずく」について、高品質・良食味米生産に向けた栄養診断基準を策定した(試験研究成果書(指-09)。この内容は平成30年度「銀河のしずく栽培マニュアル」に反映された。

作況調査・作柄解析については、所内の作況試験データ(本部および県北研究所)・現地生育データ(農業改良普及セン

ター)・気象データ(盛岡地方気象台)・土壌栄養(生産環境研究室)・病虫害(病理昆虫研究室)・作柄(東北農政局)・品質情報(同)を総合的に解析し、次年度以降の技術対策指導に供した(試験研究成果書(指-11))。特に8月の低温寡照の影響について県内生育診断ほのデータ解析により指導情報を提供した(試験研究成果書(指-08))。また、「ひとめぼれ」については作況試験の詳細な調査・解析により、本年の登熟及び玄米品質の推移を明らかにした(試験研究成果書(指-10))。

#### (麦類)

麦類奨励品種決定調査では、小麦7系統、大麦4系統を供試した。

麦類耐寒雪性特性検定について、(独)次世代作物開発研究センター委託試験として実施した。小麦および大麦をそれぞれ65、43品種・系統を供試した。

#### (大豆)

大豆奨励品種決定調査では、普通大豆4系統を供試した。

農林水産省委託プロジェクトの「実需者等のニーズに応じた加工適性と広域適性を持つ大豆品種等の開発」(バリュープロ(大豆))において、晩播密植栽培による大規模現地試験を実施した。品種比較では、収量はユキホマレに比べ東北178号は少収、東北181号は同程度で、昨年度より低かったが、タンパク含量については両系統とも昨年今年とも高く有望と考えられた。また立枯性病害抵抗性検定試験に、30品種・系統を供試し、黒根腐病抵抗性評価法の確立と抵抗性基準品種の策定を目指している。

#### (種子生産)

水稻種子生産(主要品種)では、原々種はうち4品種、原種はうち7品種、もち1品種約23tを生産した。小麦は原種3品種を7.4t生産した。大豆は原種2品種を795kg生産(見込)した。

## 野菜花き研究室

野菜花き研究室では、「農林水産技術立県いわて」の確立のため、以下の基本方針に沿って野菜および花きの2チーム体制で試験研究に取り組んでいる。(1)顧客の視点に立った園芸品目の省力・低コスト生産技術の開発、(2)消費ニーズ及び将来の動向を見越した本県に適する花き(リンドウ)新品種の選抜・育成、(3)生産の安定に直結する優良な原種苗等の正確かつ安定的な供給

### <野菜チーム>

野菜は、「トマトの高温期における草勢管理技術の確立」や「アスパラガスの休眠制御による超促成作型の構築」等、中核的な経営体が周年雇用により規模拡大を図れる生産性の高い技術や、園芸施設におけるICTを活用した省力的環境制御技術等、園芸分野のスマート農業化の推進に向けた革新技術の開発を関連産業と連携して取り組んだ。

特に、平成25年度から参画している「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」(中山間地域における施設園芸技術の実証研究並びにブランド化を促進する果実等の生産・加工技術の実証研究)では、トマトやキュウリ、パプリカ等について、中山間地域に適用性の高い施設園芸技術の構築や地域資源を活用したより省力的で高収益な技術体系モデルの構築、技術セミナーの開催など重点的に取り組んだ。

また、本年度から、新規課題「大規模水田経営における簡易地下水位制御と良質苗・病虫害防除を核とした春まきたまねぎの安定生産技術の開発と実証」に新たに参画し、岩手県に適する品種の選定について検討した。

以上の取組から、今年度は以下の7つの研究成果を公表した。

- (1) ハウスミニトマト栽培における多収化モデル技術の導入効果(普及)
- (2) かん水同時施肥技術を用いた露地きゅうり栽培の収量向上事例(指導)
- (3) トマトの生育調査データの時系列解析による生育予測手法(指導)
- (4) ミニトマトの露地疎植栽培におけるへたつき出荷向け品種の特性(指導)
- (5) 寒冷地中小規模施設における複合環境制御技術の導入手引き(指導)
- (6) 水稻育苗用ハウスにおける簡易隔離床栽培によるパプリカの養液栽培(指導)
- (7) 培養液補正診断シートを活用したトマト循環式ロックウール栽培の肥料コスト低減効果(指導)

また、研究成果を基に本年度は以下の4つの栽培マニュアルを取りまとめた。

- (1) キュウリかん水同時施肥栽培マニュアル
- (2) 岩手県露地ミニトマトソバージュ栽培の手引き
- (3) パプリカの簡易隔離床栽培養液栽培システム導入の手引き
- (4) 寒冷地中小規模施設における複合環境制御技術の導入手引き

## <花きチーム>

花きは、日本一の生産量を誇るリンドウに重点をおき、新品種の開発、種苗の安定生産・供給及び安定生産技術の開発に取り組んだ。

新品種の開発については、切り花向け品種は8月盆および9月彼岸の最需要期に切れ目のない出荷を可能とする青色品種のラインナップを揃えるため、複数品種の開発に取り組んでいる。花色、花型、草姿などの品質の揃いに優れたものを開発し、品質の低下が見られる既存品種に置き換えていく過程にあり、本年度は有望な F<sub>1</sub> 系統の特性検定を実施した。また、鉢物向け品種は、平成 28 年から「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業(実用技術開発ステージ)」(代表機関:(公財)岩手生物工学研究センター)に参画し、八重咲きなどの新奇性の高いオリジナル品種開発に取り組んでおり、有望な個体が作出され、特性評価中である。

種苗の安定生産・供給については、これまでに開発した県品種の原々種の維持、原種増殖と種苗センターへの供給等に取り組んだ。本年も、採種用親株を種苗センターに計画どおり供給するとともに、採種技術等について指導した。

安定生産技術の開発については、育成品種の生態的特性や株養成技術等について検討した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

(1) リンドウ極早生品種「いわて夢あおい」における全茎収穫を可能とする収穫後のジベレリン処理技術(追補)(指導)

## 南部園芸研究室

南部園芸研究室では平成 23 年 3 月 11 日に発生した震災により研究施設等が全壊・流失したが平成 26 年 1 月 6 日に再建し、陸前高田市で業務を再開した。夏季冷涼、冬季温暖な気象特性を生かした園芸産地の育成と被災した沿岸地域の農業復興を支援する技術拠点として、地域に密着した研究と技術指導を実施している。

イチゴの品種比較試験は、東北農業研究センターと共同で実施しているものとして、四季成り性品種の夏秋どり作型、低温カット栽培に適した一季成り性品種の選定を行なっている。各系統の特性を明らかにするとともに、一季成り性品種について有望系統を見出した。また、「革新的技術開発緊急展開事業」の共同研究において、種子繁殖型品種「よつばし」の品種特性把握、岩手県に適した作型や栽培方法の検討を行っている。

「中山間地域における施設園芸技術の実証研究」は、東日本大地震・大津波被害地域の復興を目的とした、国庫委託事「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」により実施しているものである。5 年目となり、それぞれの目標達成に向けて実証研究を継続している。

木骨ハウスについては、これまでの栽培実証をもとに課題を整理し、構造、工法の改良により採光性等の改善を図った改良型木骨ハウスを平成 27 年に建設した。この改良型木骨ハウスの特性を把握するため、採光性・骨材含水率・熱中症指数調査を実施し、採光性は年間を通して軽量鉄骨ハウス並み、含水率は季節を問わず腐朽が進行する 28%を下回り、夏季晴天日の熱中症指数は軽量鉄骨ハウスより 2.8℃低い結果となった。また、木骨ハウスを普及するために施工マニュアル(全体版、配布版)を作成した。

木質バイオマス加温機については、吸気ダクト・ファンの変更による本体の低コスト化、燃焼時間等を検討した。燃焼時間は従来の 12 時間程度を維持し、インシヤルコストは 2 割程度、ランニングコストは材形により 4~6 割程度まで削減した。また、局所加温については、局所加温システムの標準ユニットを作成し、閉鎖型高設栽培システムにおける局所加温技術を検討し、貯水槽加温の有効性が認められた。

トマト、イチゴの総合実証では、トマトのインタープランティングによる長期栽培で 33.4t/10a と目標を達成し、イチゴの四季成り性品種「なつあかり」2 年栽培で 7.5t/10a/年と概ね目標を達成した。

## (4) 環境部

### 生産環境研究室

生産環境研究室では、①土壌養分の蓄積に対応した効率的な施肥管理技術の開発、②高品質な農産物の安定生産・供給のための肥培管理技術の確立を柱とした研究課題に取り組んだ。また、東日本大震災の津波によって被災した農地の復旧・復興対策として国庫委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において、復旧水田での水稻直播栽培の安定生産実証に取り組んだ。

土壌養分の蓄積に対応した効率的な施肥管理技術の開発としては、国庫委託事業「収益力向上のための研究開発事業」の構成機関として、雨よけトマトにおける土壌中の可給態窒素を評価した窒素の適正施肥体系確立に取り組み、可給態窒素の簡易評価法を用いて施肥窒素を減肥できることをとりまとめ、研究成果「簡易測定を活用した雨よけトマト栽培における可給態窒素の肥効評価」(区分:研究)にとりまとめた。あわせて、リン酸、カリの既存の減肥基準の検証として、高い交換性カリ水準での影響試験を実施し、研究成果「雨よけトマト栽培におけるカリ減肥基準の検証」(区分:指導)をとりまとめた。加えて、補給型施肥の実証調査として、りんご及びりんどうの処理 4 年目の試験を実施した。

高品質な農産物の安定生産・供給のための肥培管理技術の確立としては、作物研究室と連携して「銀河のしずく」「金色の風」の新品種の施肥体系及び追肥省略型の肥料の開発に取組み、その中で、研究成果「水稻品種「銀河のしずく」栄養診断基準の策定」(区分:指導)をとりまとめた。

また、国庫委託事業「花き振興(品質)コンソーシアム品質保持期間延長技術の開発」の構成機関として平成 28 年度から参画して、リンドウ切花の需要時期に出荷時期をあわせるための低温管理手法の開発に取り組み、研究成果「リンドウ切花のバケット低温管理用の品質保持剤の効果」(区分:指導)をとりまとめた。

試験研究以外の取り組みとしては、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う、県産農林水産物の放射性物質検査として、野菜、果実、畜産物、林産物など年間 270 点の測定を実施し、県による検査結果として公表された。加えて、調査研究目的として関係機関からの依頼試料約 520 点の測定を実施した。また、農地土壌のモニタリング調査として、前年まで比較的高値になっていた 10 点についての継続調査を行い、おおむね理論通りに放射性セシウムが減衰していることを明らかにした。農業研究センターに設置されていた Ge 半導体検出装置の故障に伴い、農業研究センターでの検査及び測定は本年度が最後となった。

## 病理昆虫研究室

持続性が高く安定性のある農業生産を目指した病害虫制御技術を確立するため、環境負荷軽減を目指した効率的な化学的病害虫防除技術、生物的防除など環境にやさしい病害虫防除技術及び病害虫総合管理技術(IPM)の開発に取り組んだ。水稻分野では、鉄コーティング湛水直播栽培において、葉いもち・初期害虫に効果のある薬剤を整理し、防除体系を提示した。これを研究成果として取りまとめるとともに防除指針にも掲載した。

畑作分野では、ダイズ紫斑病に対して新規防除薬剤ジエトフェンカルブ・ベノミル水和剤は、1回散布でも十分な効果が得られることを示し、研究成果として取りまとめた。ホップでは秋田県と連携し、アサノミハムシの防除方法を確立するとともに農薬適用拡大に結び付けた。これを研究成果として取りまとめるとともに研究会で発表した(第 71 回北日本病害虫研究会)。

野菜分野では、

アスパラガス株腐病および立枯病の種子伝染を明らかにするとともにその対策を示し、研究成果として取りまとめた。ナス小陥没症について明確な原因の究明はこれからであるが当面の被害防止対策と推定される発生原因を提示し、研究成果として取りまとめるとともに研究会で発表した(第 71 回北日本病害虫研究会)。トマト青枯病の被害軽減対策として、転炉スラグと耐病性台木併用が効果的であることを明らかにし、研究成果として取りまとめた。しそのウリハムシモドキに対して、ペルメリン乳剤およびジノテフラン水溶剤が効果的であることを明らかにし研究成果として取りまとめるとともに、農薬登録適用拡大のデータとして農薬メーカーに提供した。また、赤色ネットが施設栽培トマトの主要害虫の侵入を大幅に抑制することを明らかにしこれを研究成果として取りまとめるとともに、研究会で発表した(第 71 回北日本病害虫研究会)。

果樹分野では、「JM7」台利用樹衰弱症状について樹液漏出が見られる接木部周辺を *Dickeya dadantii* の侵入門戸と仮定し、その部位を外界から遮断したところ衰弱症状の発生を軽減できた。

なお、学会等には積極的に参加し、北日本病害虫研究会では 3 件について口頭発表、2 件についてポスター発表し、本県の成果を PR した。

## (5) 病害虫防除部

### 病害虫防除課

#### (病害虫発生予察)

水稻、麦類、大豆、りんご、きゅうり、キャベツ、ねぎ、りんどうを対象として発生予察等の調査を行い、定期情報 7 回、注意報 4 回に加え、防除速報(13 回)を発行した。これらの情報については、電子メール、印刷物のほか、いわてアグリベンチャーネットにも掲載し、病害虫防除員はじめ、関係機関・団体、共同防除組織等に提供した。

情報の種類		発行回数	内 容
発生予察情報	定期情報	7	月1回 : 3~8月、11月
	注意報	4	キャベツ・コナガ、水稻・斑点米カメムシ類、きゅうり・炭そ病、りんご・褐斑病
	警報	0	
	特殊報	1	きく・キク茎えそ病 (CSNV)
病害虫防除速報	—	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水稻 (7回) : 斑点米カメムシ類 (3回)、いもち病 (取置苗)、葉いもち (2回)、穂いもち</li> <li>・ 小麦 (1回) : 赤かび病</li> <li>・ りんご (2回) : モニリア病、果樹カメムシ類</li> <li>・ 野菜・花き類 (3回) : リンドウホソハマキ、リンドウ花腐菌核病、キュウリ黒星病</li> </ul>

水稻、麦類、大豆、りんご、きゅうり、キャベツ、ねぎ、りんどうを対象として発生予察調査等に基づき、7回の定期情報に加え、防除速報を13回(※)発行した。これらの情報については、電子メール、印刷物のほか、いわてアグリベンチャーネットにも掲載し、病害虫防除員はじめ、関係機関・団体、共同防除組織等に提供した。

※ 水稻(7回):斑点米カメムシ類(3回)、いもち病(取置苗)、葉いもち(2回)、穂いもち  
小麦(1回):赤かび病  
りんご(2回):モニリア病、果樹カメムシ類  
野菜・花き類(3回):リンドウホソハマキ、リンドウ花腐菌核病、キュウリ黒星病

### (病害虫防除指導)

本県の病害虫等の発生実態に応じた効果的・効率的な総合防除の実施を推進するため、病害虫防除員、関係機関・団体と緊密な連携をとりながら病害虫防除指導に取り組んだほか、病害虫防除実績検討会を開催し、主要病害虫の発生要因解析を行った。特に29年度は8月の天候不順を背景に発生した低温性の病害に対して各地域で緊急防除が行われたことから、その現状と課題について、今後の地域防除体制の強化に向けて関係機関・団体で共有した。

水稻の病害虫防除指導においては、各地方の病害虫防除員協議会および病害虫防除連絡協議会、JA稲作部会等が中心となり、病害虫防除所が発行する発生予察情報を活用しながら、地域の一点検調査等の取組を行っており、これらに対し随時支援・指導を行ったほか、巡回調査地点の農家84件の防除実績等を収集し、発生要因解析を行い、次年度以降の防除指導の資とした。

園芸作物では、りんごについて地域の防除暦作成にあたって普及センター担当者等とともに、検討を行った。また、県内82の共同防除組合等から防除実績を収集・解析して次年度の防除計画の改善に資した。野菜・花きについては、普及センター職員等を対象に、ウイルス病の簡易診断キットを用いた検定法の指導を行ったほか、野菜23件、りんどう14件の防除実績をの農家から収集し、次年度の防除計画に資した。

病害虫防除員に対しては、普通作物について、地域における発生予察活動および防除指導の推進に重点をおき、各地域の関係機関等と連携した予察調査および防除指導の展開について指導支援を行った。また、病害虫防除実績検討会および諸会議、研修会等への参加を呼びかけ情報の共有と資質の向上を図った。

重要性が増してきている病害虫診断については、73件の依頼に対応した。作物別の内訳は、野菜が最も多く(63.0%)、次に花き(28.8%)、果樹類(2.7%)、普通作物(1.4%)の順であった。また、原因別では、病害が52.1%、虫害が8.2%等であった。

### (農薬適正使用指導)

農薬の適正な販売や使用を徹底するために、農薬の販売者や使用者に対する研修会を関係機関・団体と共同で開催した(6月20日、参加者224名)。また、農薬取締法に基づき、農薬販売者への立入検査を実施するとともに(304件)、農薬使用基準違反のあった使用者に対し指導を行った(1件)。

## (6) 畜産研究所

### 家畜育種研究室

#### <家畜育種>

(肉用牛) 日本短角種における種雄牛造成ではH28直接検定牛15頭(平均DG1.44kg)から、現場後代検定用6頭(選抜率40%、平均DG1.51kg)を選抜した。現場後代検定ではH25交配種雄牛5頭(「富錦」、「未来23」、「松風31」、「川春」、「松川」)の成績を公表した。

黒毛和種肥育牛では、2回目短期肥育試験が進行しており、試験区3頭が出荷、26か月で良好な枝肉重量、肉質を確保している。日本短角種の一産取り肥育試験では、高栄養区、低栄養区とも全頭(8頭)が放牧後、早期に妊娠、H29.3月現在、2頭が無事、分娩した。

(養豚) バークシャー種肥育豚において、背脂肪が厚くなることによる格落ちを防止し、農家の所得向上を図るため、玄米に比較し、TDNの低く安価な粳米の適正な配合割合を検討した。結果、粳米比率40~55%とすることで飼料費が安く、枝肉単価は高くなることが判明した。

(養鶏) 飼料自給率の向上特産肉養鶏の差別化を図るため、地域産の飼料用米SGS及び国産とうもろこし子実を南部かしわに給与する飼養体系を明らかにした。

#### <家畜工学>

(遺伝子解析) 黒毛和種肥育牛17,125頭のSNP情報の解析、枝肉データーの分析し、ゲノム育種価予測式を作成し、正確度0.95以上の推定育種価を持つ種雄牛20頭について、枝肉6形質のゲノム育種価を算出した。また、岩手県特有の一部の血統においては、ゲノム育種価と推定育種価の相関が下がることを明らかにした。

(受精卵移植)ホルスタイン種経産牛において性選別精液を人工授精する場合、直前の牛検成績により、MUN 10～13mg/dl、乳蛋白質率 3.2～3.4%のものを対象に行うことと比較的高い受胎率が期待できる可能が示唆された。

## 家畜飼養・飼料研究室

### <飼養>

初乳給与量等が哺育育成期乳牛の増体とその後の産乳性に及ぼす影響について、初乳給与日数1日の対照区と2日の試験区で発育及び産乳性を比較した結果、哺育期間、育成期間の発育、初産分娩月齢、305日乳量は、試験区間に差はなかった。また、初乳を低温殺菌することにより、冷蔵保存が可能であることが考えられた。

泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術の開発について、第1期試験の慣行区2頭、短縮強化区2頭の飼養試験を終了し、乾物摂取量は分娩前・後ともに慣行区で多かったが、平均日乳量に差は見られなかった。第2期試験の慣行区1頭、短縮区2頭の飼養試験を開始した。

大規模酪農経営における牛加速度センサー・咀嚼計等を活用した省力牛群管理技術の確立について、分娩前に反芻減少が見られた牛に補助飼料としてグリセリンを経口給与すると、疾病治療牛頭数は34.5%に抑えられ、グリセリン給与を行ったにもかかわらず疾病を生じた牛は、各時間帯別の合計反芻時間のばらつきが大きくなる結果となった。

トウモロコシ子実サイレージの給与技術の開発について、フェステル牛(乳牛)を用いた消化試験を実施し、粉碎処理の必要性を検討した結果、未粉碎では糞中への子実排出によるTDNの低下、及び産乳性にMUN及びBUNの上昇がみられた。

### <飼料>

外部支援組織の運営効率化支援システムの確立について、飼料用トウモロコシ収穫は、地域コントラクターが実施するハーベスタと運搬の一体型体系は作業効率11.9～18.2a/h、広域コントラクターが実施する自走式ハーベスタに運搬が並走する体系は38.4～59.6a/hであり、不耕起栽培は耕起・整地作業時間が削減できるため、耕起栽培に比べて春の作業効率が1:52/ha短縮した。

外部支援組織への不耕起栽培導入に向けた実用技術の開発について、不耕起栽培1年目における堆肥施用量0、3、6、9、12t/10aの乾物収量等データを蓄積した。不耕起栽培前年に15t/10a堆肥を施用した区は、不耕起栽培2年目に2,000kg/10a、3年間合計で6,000kg/10aの乾物収量が得られた。土壌中可給態窒素に基づく窒素減肥は、低温等の影響で処理間の乾物収量に差がみられなかった。

飼料畑におけるアレチウリ防除技術の確立について、アレチウリ発生圃場では、飼料用トウモロコシを3年間不耕起栽培すると発生本数が減少した。不耕起栽培は播種前の非選択性除草剤散布、土壌処理、茎葉処理を行う。3年間の不耕起栽培後、耕起栽培を行ってもアレチウリの発生は少ない結果が得られた。

転作田におけるフェストロリウムの適応性確認と採草・放牧利用技術の確立について、早春における被度は東北1号の方がアキミドリⅡよりも高く、県南地域、沿岸地域で十分な越冬性があると考えられた。また、採草利用1年目の全ての実証圃で「アキミドリⅡ」や他のフェストロリウム品種に比べ、「東北1号」は乾物収量が多く、特に1番草の収量が多いことが確認された。

近赤外線等を活用した自給飼料の迅速な成分分析手法の確立について、近赤外分光分析に用いている現行の検量線に比べ、推定の確度および精度がともに優れるイネ科主体牧草用の検量線を作成した。

### <牧草の放射線対策>

除染草地と耕起困難草地における利用開始後の維持管理技術の開発について、除染草地では、土壌中交換性カリ含量が改良目標値(20mg/100g)を下回る圃場では、標準施肥により収量を確保しながら牧草中RCs濃度の上昇を抑えられた。

耕起困難地では、緩効性カリの施用及び塩化カリの増施によって、標準施肥と同等の収量を確保しながら、標準施肥よりも2、3番草の牧草中RCs濃度の上昇が抑えられる傾向にあった。

## 外山畜産研究室

### <子牛の生産状況>

外山畜産研究室では繁殖雌牛87頭(黒毛和種45頭、日本短角種42頭)を飼養している。黒毛和種では、生産された子牛のうち31頭を1頭当たり平均614千円で販売した。

同様に日本短角種の子牛は27頭を出荷し、1頭当たり平均価格は202千円ほどであった。

また、家畜育種研究室で実施する肥育試験等の供試牛として、黒毛和種の繁殖雌牛や日本短角種の子牛を提供した。

### <成果の発信状況>

福島第一原発の事故により利用を自粛していた放牧地のうち、除染作業ができなかった急傾斜の放牧地は、未利用の状

態が続いた結果生産性が大きく低下した。これら荒廃した放牧地の利用再開に適用する技術として、昨年度、電気牧柵を用いた小牧区の集約放牧による蹄耕法の効果を実証したところであるが、本年度は、この試験圃場において、農林水産省、農研機構、家畜改良センター、栃木県、福島県、宮城県及び本県の関係者を集めて現地検討会を実施した。

#### <寄託放牧の状況>

寄託放牧は、日本短角種と馬を生産者から預かり、低コスト生産に寄与している。

日本短角種については、5月23日から10月20日まで150日間放牧を実施し、近隣の生産者4戸から繁殖牛47頭と子牛33頭を受入れた。雄牛を混牧する「まき牛交配」により91.4%の受胎率を得た。

また、馬については5月16日から10月13日まで150日間放牧を実施し、雌馬6頭、雄馬1頭、子馬3頭の合計10頭を受入れた。これらの馬は、6月に行われた「チャグチャグ馬コ」で行進した馬たちであり、200年以上にわたって行われる伝統行事を支援する意義を感じながら、適切な管理に努めた。

## 種山畜産研究室

#### <いわて和牛改良増殖対策事業>

黒毛和種改良事業の一環として、県内産黒毛和種種雄牛候補8頭を選定するとともに畜産研究所生産の受精卵雄産子等2頭計10頭の直接検定を実施。平成28年度直接検定終了牛から現場後代検定を実施する候補として「暁雲」「花福久」「桃山」「結乃宝」を選抜した。平成24年度直接検定により選抜され、平成27年度に現場後代検定開始した「辰美継」が基幹種雄牛に選抜され、平成28年度に現場後代検定開始した「森安秀」「平栄福」「平成舞鶴」「茂平桜」「菊勝久」のうち枝肉成績が判明していない「平栄福」「菊勝久」を除く3頭は非選抜となった。

#### <第11回全国和牛能力共進会>

全国和牛登録協会主催の「第11回全国和牛能力共進会宮城大会」が9月7～11日に「夢メッセみやぎ」で開催され、第1区若雄の部に当研究室から出品した「暁雲」号は全国第3位を受賞した。このほか共進会には第2～9区に本県から24頭の種牛および肉牛が出品されたが、これらの選抜・出品のためにワクチン巡回接種：67戸80頭 / 11人・日、超音波肉質診断：44戸120頭 / 2人・6日の出務や最終選抜会となった第61回岩手県畜産共進会運営の一員として尽力した。大会期間中は出品牛の飼養管理や本県出品団体の連絡調整要員として7日間33人が早朝から任に当たった。

## (7) 県北農業研究所

### 園芸研究室

県北・沿岸地域の立地特性を活用した園芸作物の安定生産技術の確立に向け、野菜では試験研究要望課題に対応して、主要品目のほうれんそうについては、ウリハムシモドキ、アザミウマ類など多様な害虫の発生に応じた防除薬剤の検討及び、調製作業の外部委託を前提とした機械化による軽労生産システムの確立と大規模経営モデルの策定に向けた研究に継続して取り組み、今年度の試験研究成果として取りまとめた。

露地の主要品目であるキャベツについては、産地の農業改良普及センターからの要望課題に対応して、10月収穫に適する春系品種の選定と、10月収穫に適した栽植密度や・施肥量等の栽培法について継続して検討した。また、JA全農いわてからの要望課題に対応して、加工・業務用途向け寒玉キャベツ栽培法の確立に向けた研究を開始し、今年度は加工、業務用に適した品種の選定と定植晩限の把握、ならびに定植晩限での収量確保に向けた栽培法の検討を行った。

たまねぎ春まき栽培技術については、「水田経営等における春まきタマネギの安定生産技術の確立と現地導入実証」について「経営体強化プロ」に参画して取り組み、今年度は岩手県に適する品種・作型とアザミウマを主体とする病害虫防除技術の検討、全自動移植機に対応した448穴ポット育苗技術等について検討した。

水稻育苗プールを利用したミズナ、コマツナ、ミニチンゲンサイ等葉菜類の水耕栽培の試験を継続し、出荷規格に適する品質での生産が可能であることが現地試験も含めて明らかになり、簡易な栽培方法の検討や収益性についても検討を行い、栽培方法について今年度の試験研究成果として取りまとめた。

花きについては、リンドウ新品種の育成に技術部野菜花き研究室と連携して取り組み、供試系統の県北地域での栽培特性を調査した。また、リンドウ極早生品種の株養成技術として、全茎収穫後のジベレリン処理について、所内と九戸村の現地圃場において検討を継続し、県北地域でも有効な技術であることを確認した。

これらの研究の過程で、ほうれんそうでは園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会や、普及センターやJAの研修会に積極的に参画し、成果作成に役立てるとともに迅速な普及を図った。また、八幡平、久慈、二戸農業改良普及センターの野菜担当



者との間でラウンドテーブルをそれぞれ開催し、研究課題や地域課題とその解決方策について共有を図った。

## 作物研究室

「雑穀の高付加価値化に向けた機能性成分の高い品種育成と低コスト栽培技術の開発」については、アワ EMS 突然変異集団 ( $M_6$ 、 $M_5$ 、交雑集団 ( $F_4$ )) 及び広島県立大のアワ遺伝資源の形質評価と選抜等を行った。突然変異系統についても、短稈系統などの有望系統を絞り込み、 $M_6$ を5個体、 $F_5$ を20個体選抜した。県北研で作成した $F_2$ 集団から生工研センターでQTL-seq法等により解析し短稈遺伝子を特定してマーカーを開発した。ヒエの脂溶性成分に関する試験を実施し、ヒエにはイネに比較して2倍以上程度の脂質を含むことが明らかになった。キビ品種「ひめこがね」の収穫適期に関する試験を実施し収量・品質を確保するため積算気温900~1050°Cが望ましい事を明らかにした。(H29研究成果)。

農産部門依存から多角化を図ろうとする営農組織を対象に、「県北・沿岸地域の生産性・収益性の高い組織営農モデルの育成」に取り組み、250g~300g/箱の高密度播種苗育苗の予備試験及びダイズの多収試験を実施した。高密度播種苗は葉数が2葉以上は進展せず、マット強度もやや劣った。また同時期に移植しても慣行の中苗に比較して出穂期が4日、成熟期は11日遅れ収量は95~98%程度であった。ダイズに対する追肥によってやや収量は増加し、坪刈りで250kg、全刈りで150kg程度を確保した。

「大豆・薬用作物における条間・株間除草機を活用した除草体系の構築」については、難防除雑草であるアレチウリの発生実態を調査し、埋土種子からの2年目の発生量は所年度の9%以下であった。大豆ほ場内のアレチウリは4葉までは条間・株間除草機によって効率良く除草できることを確認した。また、センキュウに対して条間・株間除草による除草試験を行い、早期からの除草が可能で手取り除草労力を大幅に低減可能であることや、生産物の品質・収量に影響が無いことを確認した。初期生育の緩慢なトウキは6月下旬に条間のみ除草を行ない、ある程度省力化が可能であったが、機械除草以外の初期除草と組み併せた体系が必要である。条間・株間除草機の適用可否判断指標の作成に向けてフォースゲージによる引抜抵抗値と除草作業による損傷程度について検討を実施し、供試品目が異なっても、概ね引抜抵抗値が1~2kgfを越えると損傷程度が低いことを確認したが、ばらつきが大きく、調査手法の改善が必要であった。数品目において生育量と引抜抵抗値が比例関係にあることを明らかにした。

「トウキの生産拡大のための技術開発」を継続実施し、トウキが嫌光性種子である可能性を認めたため、遮光幕により被覆を行ったところ、トウキの発芽数は確保され雑草の発生量は劇的に減少し、昨年検討した育苗培土覆土より効果的と考えられた。掘取機の適用によりトウキ苗の掘取労力を軽減できることを確認したが、半自動型移植期は移植精度が劣り、現時点では適用は不可能と判断した。

雑穀の原種生産を実施し、キビ1系統、ヒエ1系統について原種及び原々種を採種した。夏季低温寡照で推移したため雨除け条件でも黒穂病の発生は認められた。水稻、小麦、大豆の奨励品種決定調査を実施し、供試した系統の特性を把握した。昨年成果提案しためんこもち、岩手122号については栽培法についても試験を開始した。また、水稻の作況調査・作柄解析を実施し、本部作物研究室との連名で成果情報を提供した(H29研究成果)。また、いわてっこの不稔の発生について解析し、出穂から開花期間の低温との遭遇による可能性が高いことを明らかにし成果情報としてとりまとめ(H29研究成果)、学会において発表した。

また、八幡平、久慈、二戸農業改良普及センターの作物担当者との間でラウンドテーブルをそれぞれ開催し、研究課題や地域課題とその解決方策について共有を図り、各種研修会等へも積極的に参加した。また、INS いわて雑穀研究会を通じて雑穀に関する情報提供を随時行った。

#### 4 平成29年度試験研究課題

##### (1) 細目課題分類

研究推進計画分野 担当部所	総課題数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		農業構造・経営管理	水稻	畑作物	果樹	野菜	花き	作業技術	生産環境	土壌作物栄養	病害虫制御	乳用牛	肉用牛	中小家畜(豚・鶏)	草地・飼料作物	畜産環境	県北農業振興	震災復興
プロジェクト推進室	18	0	2	0	0	0	0	8	0	2	2	0	0	0	0	0	0	4
企画管理部	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農業経営研究室	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
技術部	108	0	37	9	29	16	7	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	7
果樹研究室	32	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
作物研究室	46	0	37	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野菜花き研究室	22	0	0	0	0	12	7	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
南部園芸研究室	8	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
環境部	29	0	0	1	1	1	2	0	4	9	10	0	0	0	0	0	0	1
生産環境研究室	15	0	0	1	0	0	1	0	4	9	0	0	0	0	0	0	0	0
病理昆虫研究室	14	0	0	0	1	1	1	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	1
畜産研究所	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	4	5	0	0	0
家畜育種研究室	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	4	0	0	0	0
家畜飼養・飼料研究室	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	0	0	0
外山畜産研究室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
種山畜産研究室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県北農業研究所	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0
園芸研究室	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0
作物研究室	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0
総計	197	3	39	10	30	17	9	8	4	14	12	6	6	4	5	0	18	12

※1 複数の分野に再掲されている研究課題はそれぞれに計上

2 複数の担当研究室がある研究課題はそれぞれに計上

3 細目課題のない課題は小課題を計上

(2) 試験研究課題一覧

凡 例

- ・主査: 小課題の主査研究室
- ・No.: 小課題の連番、課題毎の固有番号はそれぞれの課題名の先頭に( )表記  
(課題番号)課題名を記載、小課題は太字表示
- ・課題: ※ 課題番号: 細目課題は1000番代表記、細目1～4まで各桁毎の表記
- ・開始・終了: 課題の実施～終了年数
- ・予算区分: 国庫補助; 国庫補助事業、国庫委託; 国庫委託事業、独法委託; 独法委託事業、民間委託; 民間委託事業  
令達; 令達予算研究、県単研究; 県単予算、県単採種; 主要農作物採種管理費
- ・担当: 小課題、細目課題の担当研究室名

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【プロジェクト推進室】</b>						
プロジェクト	1	(H25-11)中小区画土地利用型営農技術の実証研究	H25	H29	国庫委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-1000)分散する小規模水田における省力・低コスト栽培技術の実証	H25	H29	国庫委託	プロジェクト/生産環境/作物(技術)
プロジェクト		(H25-11-1200)水稲生産の省力化・低コスト化技術の実証	H25	H29	国庫委託	プロジェクト/生産環境/作物(技術)
プロジェクト		(H25-11-2000)ソバなど省力的な土地利用型作物の安定生産技術の実証	H25	H29	国庫委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-2100)省力生産を前提にした安定多収栽培技術の実証	H25	H29	国庫委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-3000)中山間水田における畦畔法面の省力管理技術の実証研究	H25	H29	国庫委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-3100)畦畔法面の植生転換による管理作業の省力化	H25	H29	国庫委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-4000)加工ブランドに適した稲、大豆の新品種の導入と高品質栽培技術の実証	H25	H29	国庫委託	作物(技術)
プロジェクト		(H25-11-4100)夏季冷涼気候に対応した水稲高品質安定栽培技術の実証	H25	H29	国庫委託	作物(技術)
プロジェクト	2	(H27-01)岩手県における水稲鉄コーティング湛水直播の安定栽培技術体系の確立	H27	H29	県単研究	プロジェクト/作物(技術)/生産環境/病理昆虫
プロジェクト		(H27-01-1000)安定生産を実現する栽培管理技術の確立	H27	H29	県単研究	プロジェクト/作物(技術)/生産環境
プロジェクト		(H27-01-2000)鉄コーティング湛水直播栽培における病害虫防除技術の確立	H27	H29	県単研究	病理昆虫
プロジェクト	3	(H29-06)ドローンを利用した栽培管理技術に関する基礎研究	H29	H31	独法委託	プロジェクト推進室
プロジェクト	4	(H29-07)高機動畦畔草刈機の現地適応性	H29	H30	独法委託	プロジェクト推進室
<b>【農業経営研究室】</b>						
農業経営	5	(H21-04)農業技術体系データベースの整備・拡充	H21	H30	県単研究	農業経営
農業経営	6	(H25-15)農業経営における先端技術導入効果の解明	H25	H29	独法委託	農業経営
農業経営	7	(H27-02)元気な地域農業推進のための農業経営モデルと地域営農システム構築方策の提示	H27	H30	県単研究	農業経営
<b>【技術部果樹研究室】</b>						
果樹	8	(826)おうとう、もも等の優良品種の選抜	H14	H30	令達	果樹
果樹		(826-1000)おうとう、もも等の優良品種の選抜	H14	H30	令達	果樹
果樹	9	(829)キャンベル・紅伊豆にかわる耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜	H14	H31	国庫委託/独法委託/県単/令達	果樹
果樹		(829-1000)寒冷地向きぶどうの系統適応性試験	H14	H31	国庫・独法委託	果樹
果樹		(829-1500)第13回系統適応性検定試験	H22	H29	独法委託	果樹
果樹		(829-1600)第14回系統適応性検定試験	H29	H31	独法委託	果樹
果樹		(829-2000)国内外育成の寒冷地向き品種の選抜(生食用、醸造、兼用種等品種の選抜)	H14	H31	県単研究	果樹
果樹		(829-3000)耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜	H14	H31	令達	果樹
果樹		(829-4000)選抜品種の安定生産技術の確立	H27	H31	県単研究	果樹
果樹		(829-5000)国内外育成醸造用品種の選抜	H29	H31	県単研究	果樹
果樹	10	(830)ジョナゴールド、ふじ等に優るりんご中・晩生種の開発	H14	H30	令達	果樹
果樹		(830-2000)国内外導入品種の選抜	H14	H30	令達	果樹
果樹	11	(837)ラ・フランスに優る西洋なし品種の開発	H14	H30	令達	果樹

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
果樹		(837-1000)国内外導入品種の選抜	H14	H30	令達	果樹
果樹	12	(850)畑作物に対する植調剤等の利用法	H14	H30	民間委託	果樹
果樹		(850-1000)果樹園用除草剤の効果的使用法	H14	H30	民間委託	果樹
果樹		(850-2000)果樹の植調剤及び資材の効果的使用法	H14	H30	民間委託	果樹
果樹	13	(851)果樹の生育と果実品質変動要因の解明	H14	H30	県単研究	果樹
果樹		(851-1000)りんごの生育・生態の把握	H14	H30	県単研究	果樹
果樹		(851-2000)ぶどうの生育・生態の把握	H14	H30	県単研究	果樹
果樹		(851-3000)西洋なし、その他の果樹の生育・生態の把握	H14	H30	県単研究	果樹
果樹		(851-4000)りんごの開花期等生育予測システムの開発	H28	H28	県単研究	果樹
果樹	14	(894)良品質・高品質生産を目的としたウイルスフリー樹の作出	H14	H30	令達	果樹
果樹	15	(H21-05)つがる等に優るりんご早生品種の開発	H21	H30	令達	果樹
果樹	16	(H23-03)りんご新品種などの安定生産技術の確立	H23	H33	県単(F150)	果樹
果樹		(H23-03-1000)オリジナル品種の安定生産技術の確立	H23	H33	県単研究	果樹
果樹		(H23-03-2000)優良品種の栽培技術の確立	H23	H33	県単研究	果樹
果樹	17	(H23-04)ぶどうオリジナル品種の安定生産技術の確立	H23	H30	県単研究	果樹
果樹	18	(H25-13)ブランド化を促進する果実の生産加工技術の実証研究	H25	H29	国庫委託	果樹/生産環境
果樹		(H25-13-1000)リンゴ産地の早期再生をはかる早期成園化・品質向上技術の実証	H25	H29	国庫委託	果樹
果樹		(H25-13-2000)「北限のユズ」の加工利用を推進する安定生産技術の実証と商品開発	H25	H29	国庫委託	果樹/生産環境
果樹		(H25-13-3000)ブドウ新品種の導入による新たな加工品開発	H25	H29	国庫委託	果樹
果樹	19	(H26-15)りんごのわい化栽培における早期収・省力化を目指した栽培法の確立	H26	H40	県単・独法委託	果樹
果樹		(H26-15-2000)均質なフェザー苗を確保するための育成技術及び幼木管理技術の確立	H28	H30	国庫委託	果樹
果樹	20	(H26-22)りんごの変形果の発生原因と品種(系統)間差の関係の解明	H27	H29	独法委託	果樹
果樹	21	(H27-24)「JM7」台木利用樹の樹勢衰弱発生要因の解明	H27	H33	県単	果樹
果樹		(H27-24-1000)「JM7」台木利用樹衰弱症状の現地実態調査	H27	H28	県単	果樹
果樹		(H27-24-2000)「JM7」台木利用樹衰弱症状の再現性の検証	H27	H30	県単	果樹
果樹		(H27-24-3000)結果期における「JM7」台木と他わい性台木の耐水性	H28	H33	県単	果樹
<b>【技術部作物研究室】</b>						
作物(技術)	22	(807)水田雑草の効果的防除技術の開発	H14	H30	民間委託	作物(技術)
作物(技術)		(807-1000)水稲作用除草剤第2次適用性試験	H14	H30	民間委託	作物(技術)
作物(技術)	23	(889)麦類耐寒雪性特性検定試験	H14	H30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	24	(890)畑作物の生育相及び気象反応の解明	H14	H30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-1000)麦類の生育相と気象反応の解明	H14	H30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-2000)大豆の生育相と気象反応の解明	H14	H30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)	25	(891)畑作物原々種・原種生産	H14	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	26	(H19-12)大豆等奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	H19	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-12-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県東地域)	H19	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-12-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	H19	H30	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(H19-12-3000)(3)有望系統特性調査	H19	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	27	(H19-13)麦類奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	H26	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-13-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県東地域)	H26	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-13-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	H26	H30	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(H19-13-3000)(3)有望系統特性調査	H26	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)	28	(H22-rb01)主食用米等品種の育成(コシヒカリを超える米)	S59	H30	令達	作物(技術)

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
作物(技術)		(H22-rb01-1000)交配母本評価と交配	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-2000)初期世代養成	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-3000)個体選抜	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4000)系統選抜	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5000)生産力検定	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6000)特性検定試験	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-7000)DNAマーカー等先端技術利用	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-8000)育成系統採種	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)	29	(H26-19)耐冷性やいもち病を強化した東北オリジナル業務・加工多収品種開発、耐冷性検定、直播生産力検定	H26	H30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-19-1000)直播適応性検定	H26	H30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-19-2000)耐冷性検定	H26	H30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	30	(H26-21)実需者ニーズに応じた加工適性と広域適応性を持つ大豆品種等の開発	H26	H30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-21-1000)東北・北陸地域に適した広域適応品種の開発と密植栽培技術の開発・有望系統の晩播密植栽培による大規模現地実証	H26	H30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-21-2000)病虫害抵抗性を強化した安定多収大豆品種の開発を支える基盤技術の開発・有望系統の立枯性病害抵抗性評価	H25	H29	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	31	(H27-03)東北地域中北部やませ地帯向け耐倒伏性強の飼料用米品種の共同育成	H27	H31	県単研究	作物(技術)/作物(県北)
作物(技術)		(H27-03-3000)個体選抜	H27	H31	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-4000)系統選抜	H27	H31	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-5000)生産力検定試験	H27	H31	県単研究	作物(技術)/作物(県北)
作物(技術)		(H27-03-6000)特性検定試験	H27	H31	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-8000)育成系統採種	H27	H31	県単研究	作物(技術)
作物(技術)	32	(H27-04)極良食味新品種の食味・品質の高位平準化に向けた栽培条件の解明	H27	H30	令達	作物(技術)/生産環境
作物(技術)		(H27-04-2000)極良食味新品種の食味特性を発揮するための施肥基準の策定	H27	H30	令達	生産環境
作物(技術)		(H27-04-3000)極良食味新品種の生育指標の策定	H29	H30	令達	作物(技術)/生産環境
作物(技術)	33	(H27-21)ゲノム育種により有用形質を集積した水稻低コスト生産技術の確立と適地拡大	H27	H29	国庫委託	作物(技術)/生産環境/作物(県北)
作物(技術)		(H27-21-1000)水稻品種「スーパーひとめぼれ」の集積形質を発揮する栽培技術の確立	H27	H29	国庫委託	作物(技術)/生産環境/作物(県北)
作物(技術)		(H27-21-2000)「高度耐冷性・早生スーパーひとめぼれ」系統の育成	H27	H29	国庫委託	作物(技術)/生産環境/作物(県北)
作物(技術)		(H27-21-3000)早生出穂性準同質遺伝子系統および育成系統の東北北部での適応性と直播適性評価	H27	H29	国庫委託	作物(技術)/生産環境/作物(県北)
作物(技術)	34	(H27-22)「ひとめぼれ」大規模交配集団を用いた有用遺伝子単離と遺伝子相互作用解明	H27	H29	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-22-1000)RILsの形質評価	H27	H29	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-22-2000)準同質遺伝子系統の作出	H27	H29	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)	35	(H28-01)オリジナル水稻品種岩手107号の品種特性を活かす栽培方法の確立	H28	H29	県単研究	作物(技術)/生産環境/病理昆虫
作物(技術)		(H28-01-1000)オリジナル水稻品種岩手107号の良食味を発揮させる栽培方法の確立	H28	H29	県単研究	作物(技術)/生産環境
作物(技術)		(H28-01-2000)オリジナル水稻品種岩手107号の品種特性を利用した防除体系の確立	H28	H29	県単研究	病理昆虫
作物(技術)	36	(61)水稻原々種生産	SH29	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	37	(62)水稻原種生産	SH29	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	38	(803)水稻奨励品種決定調査	H14	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-1000)予備調査	H14	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-2000)本調査	H14	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-3000)現地調査	H14	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-4000)有望系統の栽培法	H14	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	39	(805)水稻作況調査と作柄成立要因の解析	H14	H30	県単研究	作物(技術)

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
作物(技術)		(805-1000)水稲作況調査	H14	H30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-2000)水稲優良品種の気象反応試験	H14	H30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-3000)水稲作柄成立要因の解析	H14	H30	県単研究	作物(技術)
<b>【技術部野菜花き研究室】</b>						
野菜花き	40	(191)りんどうの品種育成	S49	H31	令達	野菜花き/園芸研究室
野菜花き		(191-1000)リンドウの品種開発	S49	H29	令達	野菜花き
野菜花き		(191-2000)親株の安定生産と栄養系品種の維持・増殖	S49	H29	令達	野菜花き
野菜花き		(191-3000)鉢花用八重咲きリンドウ品種の開発	H28	H31	国庫委託	野菜花き
野菜花き	41	(H28-11)リンドウまだら退色症状の発生原因および発生軽減条件の解明	H28	H30	県単	野菜花き
野菜花き	42	(843)りんどうの生育・生態調査	H14	H30	県単研究	野菜花き
野菜花き	43	(H22-07)リンドウ栽培安定化技術の開発	H22	H31	県単研究	野菜花き/園芸研究室
野菜花き		(H22-07-2000)県育成極早生品種の株養成技術の開発	H22	H29	県単研究	野菜花き/園芸研究室
野菜花き		(H22-07-3000) 県育成早生品種の全茎収穫栽培における株養成技術の開発 (H28～H29)	H28	H31	県単研究	野菜花き
野菜花き	44	(H23-08)長期安定収穫が可能なトマト栽培技術の確立	H23	H29	県単研究/独法委託	野菜花き
野菜花き		(H23-08-2000)肥料利用効率の高い新たな窒素施肥基準の策定	H23	H28	県単研究	生産環境
野菜花き		(H23-08-3000)高温期における草勢管理技術の確立	H24	H29	県単研究/独法委託	野菜花き
野菜花き		(H23-08-4000)3段階芯新栽培様式の確立	H23	H29	県単研究/独法委託	南部園芸
野菜花き	45	(H24-03)長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの安定生産技術の確立	H24	H29	独法委託	野菜花き
野菜花き	46	(H24-04)岩手型アスパラガス伏せ込み促成栽培安定生産技術の確立	H24	H29	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H24-04-1000)高温及び低温による休眠打破メカニズムの解明	H24	H29	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H24-04-2000)高温による休眠打破を利用した新作型の確立	H24	H29	県単研究	野菜花き
野菜花き	47	(H25-14)ブランド化を促進する野菜の生産・加工技術の実証研究	H25	H29	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H25-14-1000)露地キュウリと冬春キャベツによる寒冷地高収益モデルの実証研究	H25	H29	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H25-14-2000)育苗施設等の高度利用によるパプリカの栽培技術実証研究	H25	H29	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H25-14-3000)省力的なマト栽培による高収益モデルの実証研究	H25	H29	国庫委託	野菜花き
野菜花き	48	(H26-17)収穫量の時期別変動が小さいパプリカ安定栽培技術の確立	H26	H29	県単研究	野菜花き
野菜花き	49	(H28-02)きゅうり省力・低コスト栽培技術の確立	H28	H32	国庫委託/県単	野菜花き
野菜花き		(H28-02-1000)作業が単純で省力的な栽培技術の確立	H28	H32	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H28-02-2000)多雌花性品種を利用した省力栽培技術の確立	H28	H32	国庫委託/県単	野菜花き
<b>【技術部南部園芸研究室】</b>						
南部園芸	50	(H25-03)地域適応性の高いいちご系統の選定	H25	H30	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-1000)地域適応性の高い半促成栽培向けいちご系統の選定	H25	H30	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-2000)地域適応性の高い夏秋どり栽培向けいちご系統の選定	H25	H30	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-4000)種子繁殖型品種の特性把握と栽培法の確立	H28	H30	国庫委託	南部園芸
南部園芸	51	(H25-12)中山間地域における施設園芸技術の実証研究	H25	H29	国庫委託	南部園芸
南部園芸		(H25-12-1000) 中山間立地に適応性の高い低コスト耐候性ハウスの実用化と設置技術の実証	H25	H29	国庫委託	南部園芸
南部園芸		(H25-12-2000) 地域木質資源を活用した低コスト暖房技術の実用化実証	H25	H29	国庫委託	南部園芸
南部園芸		(H25-12-3000)分散する中小規模園芸施設の効率的な管理技術の実用化実証	H25	H29	国庫委託	野菜花き
南部園芸		(H25-12-4000) 中山間立地特性に適応した収益性の高い園芸品目の技術実用化総合実証	H25	H29	国庫委託	南部園芸
南部園芸	52	(H29-01)いちご閉鎖型高設栽培システムの管理方法の改良	H29	H31	県単 (F150)	南部園芸
<b>【環境部生産環境研究室】</b>						
生産環境	53	(H15-23)土壌機能実態モニタリング調査	H15	H35	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境	54	(H15-24)環境保全型有機質資源連用効果調査	H15	H32	県単(土壌対策)	生産環境

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
生産環境		(H15-24-1000)水田における有機質資源連用効果	H15	H32	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境		(H15-24-2000)畑地における有機質資源連用効果	H15	H32	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境	55	(H16-22)新肥料の実用化	H16	H37	民間委託	生産環境
生産環境	56	(H20-20)土壌由来温室効果ガスインベントリ情報等整備調査	H20	H32	独法委託	生産環境
生産環境	57	(H26-02)補給型施肥がりんごの樹体生育と果実品質、土壌の蓄積養分量に及ぼす影響調査	H26	H30	県単研究	生産環境/果樹
生産環境	58	(H27-05)小麦の施肥体系の確立	H27	H29	県単研究	生産環境
生産環境	59	(H27-07)野菜・花きの鮮度保持技術の確立	H27	H31	県単研究	生産環境
生産環境		(H27-07-1000)県産野菜の鮮度保持技術の確立	H27	H28	県単研究	生産環境
生産環境		(H27-07-2000)県産花きの鮮度保持技術の確立	H27	H31	県単・独法委託	生産環境
生産環境	60	(H27-08)雨よけトマトにおける新たな施肥基準の策定	H27	H31	独法委託	生産環境
生産環境		(H27-08-1000)肥料利用効率の高い新たな窒素施肥基準の策定	H27	H31	独法委託	生産環境
生産環境		(H27-08-2000)リン酸・カリ減肥基準の検証	H27	H31	独法委託	生産環境
生産環境	61	(H27-09)りんどう新品種適正施肥量の検証	H27	H31	県単研究	生産環境/野菜花き
生産環境	62	(H28-12)ヒ素のリスクを軽減する水稻栽培管理技術の開発	H28	H29	独法委託	生産環境
<b>【環境部病理昆虫研究室】</b>						
病理昆虫	63	(402)新農薬の効果検定と防除指針作成	H9	H30	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-2000)県北地域	H9	H30	民間委託	園芸(県北)
病理昆虫		(402-4000)環境部	H9	H30	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-5000)技術部	H16	H30	民間委託	果樹
病理昆虫	64	(H09-03)【植物防疫事業研究】	H9	H30	令達	病理昆虫
病理昆虫	65	(H25-04)りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路の探索	H25	H29	県単研究	病理昆虫/野菜花き
病理昆虫		(H25-04-1000)りんどうこぶ症ウイルス(GKaV)の媒介生物、保毒雑草、保毒微生物の探索	H25	H29	県単研究	病理昆虫
病理昆虫		(H25-04-2000)りんどうこぶ症ウイルス(GKaV)の花粉・種子伝染の確認	H25	H29	県単研究	野菜花き
病理昆虫	66	(H28-03)夏秋どりトマト栽培で問題となる青枯病の防除体系確立	H28	H30	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	67	(H28-13)二国間輸出解禁協議の加速化のための病害虫防除対策の確立	H28	H29	独法委託	病理昆虫/果樹
病理昆虫		(H28-13-1000)輸出検疫に対応したモモンクイガ防除対策の確立	H28	H29	独法委託	病理昆虫/果樹
病理昆虫	68	(H29-02)リンドウ黒斑病に有効な薬剤の探索	H29	H31	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	69	(H29-05)コナガを中心としたアブラナ科害虫防除体系の確立	H29	H33	国庫補助	病理昆虫、県北(園芸)
病理昆虫		(H29-05-1000)キャベツ夏秋どり作型におけるアブラナ科害虫防除体系の確立	H29	H31	国庫補助	病理昆虫、県北(園芸)
病理昆虫		(H29-05-2000)コナガにおける薬剤感受性検定	H29	H33	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	70	(H29-08)AIを活用した病害虫早期診断技術の開発	H29	H33	独法委託	病理昆虫
<b>【畜産研究所家畜育種研究室】</b>						
家畜育種	71	(236)日本短角種産肉能力検定(直接法)	S45	H30	令達(F370)	家畜育種
家畜育種	72	(237)日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)	H17	H30	令達(F370)	家畜育種
家畜育種	73	(H26-03)黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期を含めた飼料給与体系の確立	H26	H32	県単/国庫委託	家畜育種
家畜育種	74	(H26-05)ゲノムワイド連関解析による肉用牛改良に有用なDNA マーカーの検出	H26	H30	県単(F359)	家畜育種
家畜育種	75	(H26-06)南部かしわ母鶏生産用ロードアイランドレッド改良のための交配選抜試験	H26	H29	県単(F446)	家畜育種
家畜育種	76	(H27-13)SNP情報を利用した牛ゲノム選抜手法の確立	H27	H29	令達(F371)	家畜育種(いわて和牛)
家畜育種	77	(H27-14)肥育豚へのサイレージ化発芽粗米給与技術の開発	H27	H30	県単+委託	家畜育種
家畜育種	78	(H28-05)性選別精液活用におけるホルスタイン種経産牛の受胎率向上技術の確立	H28	H30	県単(F446)	家畜育種/家畜飼養・飼料
家畜育種	79	(H28-06)生産農場におけるパークチャー種豚群の産肉能力向上と肥育期の飼料給与体系の確立	H28	H32	県単(F446)	家畜育種
家畜育種	80	(H29-03)雌肥育牛を有効活用した日本短角種の一産取り肥育技術の確立	H29	H32	県単(F446)	家畜育種、外山畜産
家畜育種	81	(H29-04)国産穀類を主体的に利用した特産肉用鶏の飼料給与技術の確立	H29	H30	国庫委託	家畜育種

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【畜産研究所家畜飼養・飼料研究室】</b>						
家畜飼養・飼料	82	(H26-07)初乳給与量等が哺育育成期乳牛の増体とその後の産乳性に及ぼす影響の解明	H26	H29	県単(F446)	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	83	(H26-08)飼料畑におけるアレチウリ防除技術の確立	H26	H29	県単(F446)	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	84	(H27-15)大規模酪農経営における牛加加速度センサー・咀嚼計等を活用した個体管理省力化技術の確立	H27	H29	県単(F446)	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	85	(H27-16)外部支援組織の運営効率化支援システムの確立	H27	H30	県単(F446)	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	86	(H27-17)近赤外線等を活用した自給飼料の迅速な成分分析手法の確立	H27	H31	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	87	(H27-19)外部支援組織への不耕起栽培導入に向けた実用技術の開発	H27	H31	国庫委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	88	(H27-20)子実トウモロコシサイレージの給与技術の開発	H27	H31	国庫委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	89	(H28-07)転作田におけるフェストロリウムの適応性確認と採草・放牧利用技術の確立	H28	H30	国庫委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	90	(H28-08)除染草地と耕起困難草地における利用開始後の維持管理技術の開発	H28	H29	国庫委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	91	(H28-14)泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術の開発	H28	H32	国庫委託	家畜飼養・飼料
<b>【畜産研究所外山畜産研究室】</b>						
外山畜産	92	(H27-18)表層攪拌法および簡易硬盤破砕による草地更新技術の確立	H27	H29	県単(F446)	外山畜産
外山畜産	93	(H28-09)黒毛和種育成牛における自給サイレージを活用したTMR給与技術の確立	H28	H31	県単(F446)	外山畜産
外山畜産	94	(H28-10)耕起困難放牧地における蹄耕法を活用した草地更新技術の確立	H28	H30	独法委託	外山畜産
<b>【畜産研究所種山畜産研究室】</b>						
種山畜産	95	(234)黒毛和種産肉能力検定(直接法)	S62	H30	県単(F664)	種山畜産
種山畜産	96	(235)黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	H1	H30	県単(F664)	種山畜産
種山畜産	97	(857)県有種雄牛の利用及び能力調査	H14	H30	県単(F664)	種山畜産
<b>【県北農業研究所園芸研究室】</b>						
園芸(県北)	98	(H22-28)温暖化が果樹・野菜等の園芸作物および茶に及ぼす影響評価と適応技術の開発	H22	H29	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)	99	(H27-10)生食用ほうれんそう軽労生産システムの確立	H27	H29	県単、独法委託	園芸(県北)/農業経営
園芸(県北)		(H27-10-1000)生食用ほうれんそう軽労生産システムの確立	H27	H29	県単	園芸(県北)/農業経営
園芸(県北)		(H27-10-2000)ほうれんそう調製機の開発	H27	H29	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)	100	(H27-11)多様なほうれんそう害虫の発生に応じた防除対策の確立	H27	H29	国庫補助	園芸(県北)
園芸(県北)	101	(H27-12)キャベツ長期安定出荷のための10月収穫作型の確立	H27	H29	県単独	園芸(県北)
園芸(県北)	102	(H28-04)加工・業務用途向けの寒玉キャベツ栽培法の確立	H28	H30	県単	園芸(県北)
園芸(県北)	103	(H28-15)大規模水田経営における簡易地下水水位制御と良質苗・病害虫防除を核とした春まきタマネギの安定生産技術の開発と実証	H28	H30	独法委託	園芸(県北)/プロジェクト推進室/野菜花き/農業経営
園芸(県北)		(H28-15-1000)岩手県に適する品種・系統の提示	H28	H30	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)		(H28-15-2000)排水対策・かん水技術	H28	H30	独法委託	プロジェクト推進室/野菜花き
園芸(県北)		(H28-15-3000)全自動移植機に適する良質苗生産	H28	H30	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)		(H28-15-4000)アザミウマを主体とした病害虫防除体系	H28	H30	独法委託/国庫補助(植防)	園芸(県北)
園芸(県北)		(H28-15-5000)現地実証と経営評価	H28	H30	独法委託	野菜花き/園芸(県北)/プロジェクト推進室/農業経営
<b>【県北農業研究所作物研究室】</b>						
作物(県北)	104	(H26-10)雑穀の高付加価値化に向けた機能性成分の高い品種育成と低コスト栽培技術の開発	H26	H30	県単研究	作物(県北)
作物(県北)		(H26-10-1000)機能性成分の高い雑穀品種育成	H26	H30	県単研究	作物(県北)
作物(県北)		(H26-10-3000)作業能率の高い雑穀機械移植栽培法の確立	H27	H30	県単研究	作物(県北)
作物(県北)	105	(H26-11)県北・沿岸地域の生産性・収益性の高い組織営農モデルの育成	H26	H30	県単研究	作物(県北)/園芸(県北)/経営
作物(県北)		(H26-11-1000)寒冷地組織営農における実需ニーズに対応する園芸生産技術の確立	H26	H30	県単研究	園芸(県北)
作物(県北)		(H26-11-3000)組織営農モデルの組み立て実証	H27	H30	県単研究	農業経営/作物(県北)/園芸(県北)



主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
作物(県北)	106	(H27-23)大豆・薬用作物における条間・株間除草機を活用した除草体系の構築	H27	H31	国庫委託	作物(県北)/プロジェクト
作物(県北)		(H27-23-1000)大豆難防除雑草の効果的な除草体系の構築	H27	H31	国庫委託	作物(県北)/プロジェクト
作物(県北)		(H27-23-2000)薬用作物栽培における省力的な除草体系の構築	H27	H31	国庫委託	作物(県北)
作物(県北)	107	(H28-16)ミヤマトウキの生産拡大のための技術開発	H28	H32	国庫委託	作物(県北)
作物(県北)		(H28-16-1000)ミヤマトウキにおける苗の安定生産技術及び省力栽培体系の確立	H28	H32	国庫委託	作物(県北)

(3)平成30年度試験研究を要望された課題とその措置一覧

連番	部会	部会 No.	要望機関	要望課題名	担当研究室	措置区分
1	農産	1	中央農業改良普及センター(県域)	生育診断予測システムの公開及び県オリジナル水稲新品種の生育予測に係るパラメータの策定	作物研究室(技術)	C,B
2	農産	2	全国農業協同組合連合会岩手県本部	県中北部の移植栽培・直播栽培に適する「早生の中～中生の早」熟期の主食用多収品種の育成	作物研究室(技術)	B
3	農産	3	中央農業改良普及センター(県域) 大船渡農業改良普及センター	水田土壌の可給態硫黄分析体制の構築と水稲硫黄欠乏症対策実施基準の策定	生産環境研究室	A2
4	農産	4	公益社団法人 岩手県農業公社	水田経営における既存の地下水位調整装置を活用した「いわて型地下かんがい方式」の開発・効果実証	プロジェクト推進室	B A1 A1,C
5	農産	5	中央農業改良普及センター(県域)	麦・大豆栽培における緑肥作物の効果	○病理昆虫研究室 生産環境研究室	C,A1
6	園芸	1	中央農業改良普及センター(地域)	「紅いわて」のサビ果発生の原因究明と軽減対策について	果樹研究室	B
7	園芸	2	中央農業改良普及センター(地域)	りんご園地における下草管理とカブリダニの関係	○病理昆虫研究室 果樹研究室	A1,A1,C
8	園芸	3	岩手県農業農村指導士協会	りんごのハダニ発生状況の簡易な判定方法の開発について	○病理昆虫研究室 果樹研究室	D,C
9	園芸	4	久慈農業改良普及センター	ほうれんそうのアザミウマ類防除対策	園芸研究室(県北)	B
10	園芸	5	大船渡農業改良普及センター	大規模園芸施設における効率的な労務管理手法の改善	○農業経営研究室 野菜花き研究室	A1
11	園芸	6	中央農業改良普及センター(県域) 宮古農業改良普及センター	生産者も利用可能なWeb施肥設計支援システムの開発	生産環境研究室	D

## 5 共同研究等の推進

### (1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業(委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
中山間地域における施設園芸技術の実証研究	岩手県農業研究センター	H25～29	木骨ハウスや木質資源を活用した低コスト暖房、ICT導入による分散施設の効率的管理などによる、中山間地域に適用性の高い施設園芸技術を構築する実証研究	南部園芸 野菜花き
ブランド化を促進する果実等の生産・加工技術の実証研究(果樹)	岩手県農業研究センター	H25～29	リンゴの早期成園化技術、北限のユズの栽培技術の構築と加工品開発、ブドウの新品種導入、加工品開発、省力栽培技術などによる、付加価値の高い果実の生産・加工技術を構築する実証研究	果樹
ブランド化を促進する果実等の生産・加工技術の実証研究(野菜)	岩手県農業研究センター	H25～29	露地キュウリと冬春キャベツによる高収益栽培体系の確立、水稻育苗施設を用いたパブリカの高品質生産技術、省力的なトマト栽培技術などにより収益性の高い新たな営農モデルを構築し、産地ブランド化を目指す実証研究	野菜花き
中小区画土地利用型営農技術の実証研究	東北農業研究センター(*)	H25～29	中小区画水田における土地利用型作物の安定生産技術及び地域の気象条件を生かした加工品開発により収益性の向上を図る実証研究	プロジェクト推進室 農業経営 作物(技術部) 生産環境
技術・経営診断技術開発研究	中央農業研究センター(*)	H25～29	実証研究において現地実証された先端技術の有効性を導入効果について分析し、被災地の農業経営の将来像を改善するとともに、開放型研究拠点(オープンラボ)を整備・運営し、技術展示や情報共有を図る	研究企画室 農業経営

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

### (2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業(委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
農林業に係る気候変動の影響評価	農業環境変動研究センター(*)	H25～29	温暖化が野菜生産に及ぼす影響評価(ホウレンソウ生育・遮光管理法高温影響評価)	園芸(県北研)
実需者等のニーズに応じた加工適性と広域適性を持つ大豆品種等の開発	次世代作物開発研究センター(*)	H26～30	(1)有望系統の晩播密植栽培による大規模現地試験 (2)有望系統の立枯性病害抵抗性評価	作物(技術部)
除染後農地の省力的維持管理技術の開発	東北農業研究センター(*)	H27～29	除染草地におけるカリ施肥が牧草中放射性セシウム濃度とミネラルバランスに与える影響の調査	家畜飼養・飼料
生産コストの削減に向けた効率的かつ効果的な施肥技術の開発	中央農業総合研究センター(*)	H27～31	野菜作(夏秋トマト施設栽培)における土壌可給態窒素の簡易測定等に基づく適正施肥技術の開発	生産環境
栄養収量の高い国産飼料の低コスト生産・利用技術の開発	畜産研究部門(*)	H27～31	外部支援組織への不耕起栽培導入に向けた実用技術の開発 トウモロコシ子実サイレージの給与技術の開発	家畜飼養・飼料
多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発	中央農業研究センター(*)	H27～31	薬用作物栽培における雑草管理の安定化と軽労化	作物(県北研)
水稻におけるヒ素のリスクを低減する栽培管理技術の開発	農業環境変動研究センター(*)	H28～29	水管理によるヒ素・カドミウムの同時低減を可能にする栽培管理技術の高度化	生産環境
品質保持期間延長技術の開発	野菜花き研究部門(*)	H28～31	切り花の採花後低温品質管理技術の開発	生産環境
薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発	西日本農業研究センター	H28～32	トウキの露地育苗苗を用いた栽培における軽労化技術の開発	作物(県北研)
AIを活用した病害虫診断技術の開発	中央農業研究センター(*)	H29～33	岩手県のトマト産地で発生する主要病害虫の発生実態調査と被害進行に応じた電子画像データの取得と人工知能の実証	病理昆虫

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

**(3)農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業(委託)**

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
耐冷性やいもち病を強化した東北オリジナル業務・加工用多収品種の開発	東北農業研究センター(*)	H26～30	有望系統の特性評価と評価手法の開発 (1)「地域適応性検定、岩手県(直播)」育成系統の直播適性を評価 (2)「特性検定」育成系統の障害型耐冷性を評価	作物(技術部)
地域資源を活かし、気候変動に対応したブドウ新品種の早期育成と気候変動影響評価(ブドウ系適)	果樹茶業研究部門(*)	H26～30	(1)新規需要を生み出す優良赤ワイン系統の選抜 (2)醸造用ブドウ新品種「山梨48号」の栽培手引き書作成	果樹
ゲノム育種により有用形質を集積した水稻品種の低コスト生産技術の確立と適地拡大	岩手県農業研究センター	H27～29	(1)水稻品種『スーパーひとめぼれ』栽培技術の確立 (2)『高度耐冷性・早生スーパーひとめぼれ』系統の迅速育成と特性把握 (3)耐塩性品種の実証試験	作物(技術部) 作物(県北研)
「ひとめぼれ」大規模交配集団を用いた有用遺伝子単離と遺伝子相互作用解明	(公財)岩手生物工学研究センター	H27～29	大規模RILsの形質評価と準同質遺伝子系統作出 (1)RILsの形質評価 (2)準同質遺伝子系統の作出	作物(技術部)
新規育種技術を活用した需要拡大のためのリンドウ品種の開発	(公財)岩手生物工学研究センター	H28～31	新奇性の高いリンドウの育成 ・八重咲きリンドウの育成	野菜花き

**(4)革新的技術開発・緊急展開事業**

課題名	研究期間	研究期間	研究の内容	担当研究室
【地域戦略】自給飼料を活用した豚肉・鶏肉・鶏卵の差別化および低コスト生産技術の開発	畜産研究部門(*)	H28～30	パークシャー種における飼料用米活用による豚肉の高品質化・高付加価値化技術の開発	畜産研究所 家畜育種研究室
【地域戦略】耕畜連携の強化による飼料コスト低減技術の現地実証	東北農業研究センター(*)	H28～30	転作田におけるフェストロリウムの適応性確認と採草・放牧利用技術の確立	畜産研究所家畜飼養・飼料研究室
【地域戦略】種子繁殖型イチゴ品種『よつぼし』の全国展開に向けた省力栽培体系とICTによる生産者ネットワークの確立	三重県農業研究所	H28～30	岩手県における省力栽培体系と生産者ネットワークの確立	南部園芸
【経営体強化】各地域に適したリンゴ早期成園化技術の実証	果樹茶業研究部門(*)	H28～31	わい化密植栽培における生育促進技術の開発と実証	果樹
【経営体強化】寒冷地の水田作経営収益向上のための春まきタマネギ等省力・多収・安定化技術の開発とその実証	東北農業研究センター(*)	H28～31	(1)岩手県に適する品種・作型と病害虫防除技術の確立 (2)簡易地下水水位制御を利用した水田転換畑での春まきタマネギ生産に適した圃場管理技術の確立 (3)全自動移植機に対応した448穴ポット育苗技術の確立 (4)大規模水田作における春タマネギ現地実証と経営評価	園芸(県北研)、プロジェクト推進室、野菜花き、農業経営
【先導】黒毛和種の低コストで良質な牛肉生産のための早期肥育技術の開発	畜産研究部門(*)	H28～32	黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期を含めた飼料給与体系の確立	畜産研究所 家畜育種研究室
【AI】泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上	北海道農業研究センター(*)	H28～32	泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術の開発	畜産研究所家畜飼養・飼料研究室

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

**(5) 研究成果最適展開支援事業((国県)科学技術振興機構、委託)**

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
(育成研究) 長日要求性素材と遺伝子解析を応用したアブラナ科(ハクサイ)極晩抽性実用品種の開発	東北農業研究センター(*)	H24~29	選抜系統の優良F <sub>1</sub> 組合わせを用いた新作型の開発	野菜花き

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

**(6) その他独法等からの委託(10/10委託)**

事業・課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
受託研究	次世代作物開発研究センター(*)	H23~30	育成地等からの麦類育成系統の耐寒雪性圃場検定試験	作物(技術部)
受託研究	果樹茶業研究部門(*)	H23~30	ブドウ育種試験に係る系統適応性・特性検定試験	果樹
受託研究	農業技術革新工学研究センター(*)	H26~29	軟弱野菜(ホウレンソウ)の高能率調製機の現地試験	園芸(県北研)
受託研究	農業技術革新工学研究センター(*)	H29	高機動畦畔草刈機の適応性拡大	プロジェクト推進室
農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	東北農政局	H27~	農地管理実態調査 ・定点調査:水田21、普通畑1、草地1 ・基準点調査:水田、普通畑	生産環境
輸出植物検疫協議の迅速化委託事業	中央農業研究センター(*) 果樹茶業研究部門(*)	H28~	(1)モモンクイガ、ナシヒメシクイ等検疫措置の確立 (2)病害虫の発生状況調査等のデータ収集及びとりまとめ	病理昆虫 果樹 病害虫防除部
公設試等連携研究事業	地方独立行政法人岩手県工業技術センター	H29	施設園芸における熱画像センサ等を活用した環境制御技術の開発	野菜花き

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

**(7) 民間委託試験(10/10委託)**

事業名・課題名	相手方	研究の内容	担当研究室
農薬及び植物調節剤等の効果検定試験	(一社)岩手県植物防疫協会	(社)日本植物防疫協会からの委託	病理昆虫、園芸(県北研)
		(社)日本植物調節剤研究協会からの委託	作物(技術部)、果樹、作物(県北研)
肥料の効果等に関する試験	岩手県施肥合理化協議会	(対象作物) 水稲、水稲(育苗)、小麦、大豆、りんご、トマト、トマト(育苗)レタス、タマネギ(春まき)、ほうれんそう、リンドウ(育苗)	プロジェクト推進室、果樹、作物(技術部)、野菜花き、生産環境、作物(県北研)、園芸(県北研)
耕起困難草地等利用利用開発技術確立調査	日本草地畜産種子協会	傾斜地等の耕起困難草地の利用再開を図るため、放射性セシウムが自然低下した草地での蹄耕法による植生回復技術を実証する。	外山畜産、家畜飼養・飼料
ホップ生産における病害虫防除に関する試験	ビール酒造組合	ホップ病害虫の発生生態解明およびその防除技術の確立	病理昆虫
雑穀脂溶性成分の健康機能性	(公財) 飯島藤十郎記念食品科学振興財団	雑穀の高付加価値化に向けた機能性成分の高い品種育成と低コスト栽培技術の開発	作物(県北研)

**(8) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究**

研究課題名	生工研担当	研究期間	研究の内容	担当研究室
水稲における重要形質のゲノム育種法の開発	ゲノム育種研究部	H26～30	生工研と共同で遺伝子解析に基づくDNAマーカーの開発及びそれらを用いた岩手オリジナル水稲品種の育成	作物(技術部)
リンドウ優良品種育成支援技術の開発 リンドウの安定生産に寄与する生理・生態の解明	園芸資源研究部 (育種栽培技術開発チーム)	H26～30	純系や倍数性を利用した育種技術及びDNAマーカーの開発と新品種育成への応用 越冬性向上や生育調節に係る技術開発及び難培養性系統の培養増殖法開発	野菜花き
現場ニーズに対応した実践的植物病害防除技術の開発	園芸資源研究部 (植物病態分子研究チーム)	H26～30	リンドウこぶ症関連ウイルス(GKaV)とこぶ症発症との因果関係の解明 分子生物学的な病害虫診断技術を利用した新たな病害虫防除システムの構築	病理昆虫 野菜花き
農林水産物の機能成分解明と活用	生物資源研究部	H26～30	雑穀の在来系統群から抽出した機能成分の同定と評価及び高付加価値を有する雑穀オリジナル品種の育成	作物(県北研)
リンドウこぶ症に関連する2本鎖RNAウイルスGkaV変異体の探索と作出	生物資源研究部	H29	GkaV(リンドウこぶ症関連ウイルス)の変異体やGkaV耐性リンドウの探索を行い、弱毒ウイルス作出の可能性やリンドウこぶ症の発生メカニズムを追求する。	病理昆虫
重イオンビーム照射によるブルーベリー変異体獲得に関する研究 ※大和造園土木株式会社との3者契約	生物資源研究部	H29～36	ブルーベリーへの重粒子線照射を行って、生物影響と突然変異誘起率の検討を行う。至適条件を決定後、有用変異系統の作出を試みる。	果樹

**(9) 他の公設試との共同研究**

課題名等	相手方	研究期間	担当研究室
ワイン専用ぶどう新系統の醸造特性評価	工業技術センター	H6～	果樹
県産小麦品種の加工特性評価	工業技術センター	H7～	作物(技術部)

**(10) AFR(岩手農林研究協議会)研究会**

ア 研究会

名称	構成	研究期間	担当研究室
1 岩手育種談話会	◎岩手大学農学部・教育学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、岩手生物工学研究センター	H10～	作物(技術部)
2 水稲栽培研究会	◎岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	H11～	作物(技術部)
3 イワテヤマナン研究会	◎神戸大学大学院農学研究科、岩手大学農学部・教育学部、岩手県農業研究センターほか	H24～	果樹
4 リンドウ研究会	◎岩手大学農学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、八幡平市花き研究開発センター	H11～	野菜花き

※平成24年度協議会(11/16)において継続活動実績のある研究会に整理することを承認。これを受けて当センター職員が参加している研究会のみを掲載した。

イ AFR協議会等の開催

開催月日	場所	内容
(なし)		

**(11) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター)**

開催月日	場所	内容
(なし)		

## (12) その他共同研究

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
肉用牛における経済形質とDNAマーカーの連鎖解析	(社)畜産技術協会	H13～	岩手県種雄牛の約300頭からなる半きょうだい家系を作成し、DNAマーカーによる連鎖解析を行い、経済形質遺伝子座を明らかにする。また、遺伝的不良形質について、500頭程度の半きょうだいサンプルを追加、原因領域に新たなマーカーの追加等を行い原因となる遺伝子座を明らかにする。	家畜育種
性選別精液活用におけるホルスタイン種経産牛の受胎率向上技術の確立	(一社)家畜改良事業団	H28～30	性選別精液によるホルスタイン種経産牛の受胎率は、34.7%と低く、精液を子宮角深部に注入すると受胎率が向上すると言われている。しかし、深部注入の場合の授精適期が明らかになっていないことから、発情発見装置を用いて、より高い受胎率が得られる授精のタイミングを明らかにする。	家畜育種
生物遺伝資源交換に関する研究協定	(独)農業生物資源研究所	H14～	植物、動物、微生物の生物遺伝資源及びDNAの相互交換	センター全体
寒冷地向けイチゴ品種の育成に関する研究	東北農業研究センター(*)、(地独)青森県産業技術センター、宮城県農業・園芸総合研究所、山形県	H28～30	選抜初期世代から東北各地域における適応性を検定し、安定生産を可能にする寒冷地向けイチゴ品種の育成の効率化を実現する。	南部園芸
「ナンブコムギ」に縞萎縮病耐病性を付与した系統の育成	東北農業研究センター(*)	H27～31	「ナンブコムギ」に縞萎縮病耐病性を付与した系統の育成	作物(技術部)
シードル向きリンゴ品種・系統の選抜と省力・高収量栽培に関する予備研究	果樹茶業研究部門(*)	H27～30	加工向けリンゴ新品種・系統の省力化技術の検討	果樹(技術部)
農業技術体系データ整備に向けた農作業基本オントロジー、およびそれに基づくサービスの構築と検証	農業技術革新工学研究センター(*)	H29～31	岩手県農業技術体系データ整備に向けた農作業基本オントロジー(AOO)、及びそれに基づくサービスの検証	農業経営
和牛における経済形質のゲノム選抜手法の確立	独立行政法人家畜改良センター	H29	<ul style="list-style-type: none"> <li>牛DNAサンプルと形質情報の収集</li> <li>肥育牛、若雄牛、繁殖雌牛のゲノムワイドなSNP情報の解析</li> <li>ゲノム育種価予測式の作成と予測式の精度の検証</li> </ul>	家畜育種

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

## (13) 産学官連携

名称	開催年月	場所	内容	担当研究室
第1回 いわて産学官連携推進協議会会議	29.6.5	盛岡市 (岩手大学地域連携推進センター)	平成28年度活動報告および平成29年度事業計画について	研究企画室
第2回 いわて産学官連携推進協議会会議	29.11.1	盛岡市 (岩手大学地域連携推進センター)	リエゾンIマッチングフェアについて	研究企画室
リエゾンIマッチングフェア	29.11.15	盛岡市 (岩手大学復興祈念銀河ホール)	基調講演 リエゾンI研究開発事業課育成資金贈呈企業によるプレゼンテーション	研究企画室

※1 平成29年度リエゾン-Iマッチングフェアでパネル等展示およびプレゼンテーションを行った研究シーズ

研究シーズ名	担当研究室
タッチパネルでかん水管理が容易な日射比例式かん水コントローラ	野菜花き

## 6 現地試験の実施

内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
委託プロジェクト研究「多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発」 大豆・粟用作物における条間・株間除草機を活用した除草体系の構築 県中南部における大豆難防除雑草の除草体系の構築	奥州市	江刺区	プロジェクト推進室  (県北作物)
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 中小区画土地利用型営農技術の実証研究 水稲生産の省力化・低コスト化技術の実証 省力生産を前提にした安定多収栽培技術の実証 (大豆)	陸前高田市	広田、小友	(技術部作物) (生産環境)
中山間水田における畦畔法面の省力管理技術の実証研究	陸前高田市	浜田川、小友	
施肥合:いわて純情米総合実証展示圃	奥州市 奥州市 北上市 花巻市 花巻市 雫石町 八幡平市 九戸村	水沢区 胆沢区  宮野目 鍋倉	技術部 作物
水稲奨励品種決定現地調査 (粳)	雫石町	長山	
(粳)	紫波町	星山	
(粳)	岩手町	土川	
(粳)	花巻市	鍋倉	
(粳)	西和賀町	沢内前郷	
(粳)	奥州市	江刺区稲瀬	
(粳)	一関市	萩荘	
(粳)	大船渡市	日頃市	
(粳)	遠野市	上郷町	
(粳)	山田町	豊間根	
(粳)	久慈市	夏井	
(粳)	二戸市	安比	
(飼料米)	花巻市	鍋倉	
(飼料米)	陸前高田市	広田	
麦類耐寒雪性特性検定試験	一戸町	奥中山	
麦類奨励品種決定調査(現地調査)	一関市 矢巾町	舞川 煙山	
大豆奨励品種決定調査(現地調査)	奥州市 盛岡市	江刺区田原 玉山区	
「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」 ゲノム育種により有用形質を集積した水稲品種の低コスト生産技術の確立と適地拡大	北上市	二子	



内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
リンゴ育種系統の現地適応性試験	二戸市 宮古市 矢巾町 奥州市 一関市	金田一 内の沢 煙山 江刺区小倉沢 花泉町金沢	技術部 果樹
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 ブランド化を促進する果実の生産・加工技術の実証研究	陸前高田市	米崎町 広田町	
「革新技術・緊急展開事業(地域戦略プロ)」 各地域に適したリンゴ早期成園化技術の実証	紫波町 奥州市	長岡 江刺区愛宕	
岩手ワインヒルズ推進事業に係る現地品種比較試験	野田村	根井	
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 ブランド化を促進する野菜の生産・加工技術の実証研究	陸前高田市  釜石市 大槌町	竹駒 高田 小友 甲子 大槌	技術部 野菜花き
長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの安定生産技術の確立	陸前高田市	竹駒	
リンドウ育種系統の現地適応性試験	奥州市 雫石町 一戸町	衣川区 上野 小友	
リンドウ栽培安定化技術の開発 (県育成極早生品種の株養成技術の開発) リンドウまだら退色症状発生軽減	奥州市	衣川区	
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 中山間地域における施設園芸技術の実証研究	陸前高田市	米崎町	技術部 南部園芸
補給型施肥がりんごの樹体生育と果実品質、土壌蓄積養分に及ぼす影響	滝沢市  花巻市	滝沢  石鳥谷滝田 石鳥谷五大堂	環境部 生産環境
飼料用米新規肥料の施肥効果確認	花巻市	野田	
大豆における粗粒てんろ石灰の土壌pH矯正と土づくり肥料効果の確認	奥州市	江刺区	
ケイ酸、鉄、マンガン含有肥料によるごま葉枯病抑制効果の確認	陸前高田市	広田	
「銀河のしずく」向けの緩効性肥料の実証	紫波町 北上市 住田町	赤沢 口内 下有住	
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 水稻生産の省力・低コスト化技術の実証	陸前高田市	広田、小友	
鉄コーティング湛水直播栽培における病害虫防除技術の確立	①一関市	①千厩	
オリジナル水稻品種「銀河のしずく」の品種特性を利用した防除体系の確立	紫波町	大巻	
大豆のママシクイガに対する効率的な防除対策の確立	①矢巾町 ②紫波町	①南矢幅 ②犬草	
りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路の探索	①八幡平市	①安代	

内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
新農薬の効果試験と防除指針作成	①奥州市 ②岩泉町 ③一関市 ④宮古市 ⑤遠野市 ⑥北上町 ⑦紫波町 ⑧西和賀町 ⑨花巻市	①江刺、胆沢 ②安家 ③花泉・千厩 ④川井 ⑤青笹 ⑥藤根 ⑦二ツ森 ⑧左草 ⑨石鳥谷	病理昆虫
生産農場におけるパークシャー種豚群の遺伝的改良システムの構築	岩泉町		畜産研究所 家畜育種
パークシャー種における飼料用米活用による豚肉の高品質化・高付加価値化技術の開発			
性選別精液活用におけるホルスタイン種経産牛の受胎率向上技術の確立	一戸町 滝沢市		
大規模酪農経営における牛加速度センサー・咀嚼計等を活用した牛群管理技術の確立	一戸町	奥中山	家畜飼養
外部支援組織への不耕起栽培導入に向けた実用技術の開発	一戸町	奥中山	飼料生産
飼料畑におけるアレチウリ防除技術の確立	八幡平市	前森	
外部支援組織の運営効率化支援システムの確立	①滝沢市 ②奥州市 ③金ヶ崎町 ④岩泉町	①花平 ②胆沢 ③和光 ④大牛内	
転作田におけるフェストロリウムの適応性確認と採草・放牧利用技術の確立	①軽米町 ②奥州市 ③宮古市	①小軽米 ②江刺区玉里 ③田代	
除染後草地の省力的維持管理技術の開発	一関市	室根	
表層攪拌法および簡易硬盤破砕による草地更新技術の確立	滝沢市	姥屋敷	外山畜産
生食用ほうれんそうの軽労生産システムの確立	久慈市	洋野	県北農業研究所 園芸
大規模水田経営における簡易地下水位制御と良質苗・病害虫防除を核とした春まきたまねぎの安定生産技術の開発と実証	花巻市	太田	
寒冷地組織営農における実需ニーズに対応する園芸生産技術の確立	宮古市	山田	
多様なほうれんそう害虫の発生生態と防除対策の確立	野田村	野田	
リンドウ極早生品種の株養成技術	九戸村	長興寺 江刺家	
県北部における大豆難防除雑草の除草体系の構築	二戸市	金田一	県北農業研究所 作物
薬用作物の機械除草体系の確立	軽米町 九戸村	上館 江刺家	
ミヤマトウキの生産拡大のための技術開発	二戸市 盛岡市	夏間木 玉山	
水稲有望系統の栽培法 めんこもちの栽培法 岩手122号の栽培法	九戸村 軽米町	江刺家 上館	
水稲奨励品種決定調査(2)本調査②早生系統	久慈市 二戸市 軽米町 久慈市	夏井 安比 上館 宇部町	

### Ⅲ 試験研究の成果



### Ⅲ 試験研究の成果

#### 1 試験研究成果

##### (1)平成29年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反 映すべき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理	0	2	0	0	2
2 水稻	0	5	5	0	10
3 畑作物	0	0	0	0	0
4 作業技術	1	1	0	0	2
5 果樹	1	6	0	0	7
6 野菜	3	6	0	2	11
7 花き	0	2	0	2	4
8 生産環境	0	0	0	0	0
9 土壌作物栄養	0	2	0	1	3
10 病虫害制御	0	8	0	0	8
11 乳用牛	0	1	0	0	1
12 肉用牛	0	1	5	0	6
13 中小家畜(豚・鶏)	0	2	0	1	3
14 草地・飼料作物	1	0	0	0	1
15 畜産環境	0	0	0	0	0
16 県北農業振興	0	6	0	2	8
17 震災復興	0	3	0	0	3
[ 計 ]	6	45	10	8	69

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本等に関するもの

## (2)平成29年度成果名一覧

### 【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
4 作業技術	(H29-普-01)	法面被覆に用いるイブキジャコウソウの導入効果	プロジェクト推進室
5 果樹	(H29-普-02)	りんご「紅いわて(岩手7号)」の着果基準	果樹研究室
6 野菜	(H29-普-03)	ハウスミニトマト栽培における多収化モデル技術の導入効果	野菜花き研究室
6 野菜	(H29-普-04)	インタープランティングを利用したトマトの高収益周年栽培	南部園芸研究室
6 野菜	(H29-普-05)	四季成り性いちご品種「なつあかり」を用いた2年栽培作型	南部園芸研究室
14 草地・飼料作物	(H29-普-06)	飼料用トウモロコシ不耕起栽培を活用したアレチウリの防除技術	家畜飼養・飼料研究室

### 【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
5 果樹	(H29-指-01)	樹園地用小型幹周草刈機の省力・軽労効果	果樹研究室
5 果樹	(H29-指-02)	りんご鮮度保持剤「1-MCP剤(スマートフレッシュTM)」を利用した「シナノゴールド」の長期貯蔵法	果樹研究室
17 震災復興	(H29-指-03)	100坪ハウスにおける園芸用薪ストーブの薪投入量及び加温効果の目安	南部園芸研究室
2 水稻	(H29-指-04)	「銀河のしずく」の鉄コーティング湛水直播による良質米安定生産のための生育指標と栽培法	プロジェクト推進室
4 作業技術	(H29-指-05)	鉄コーティング湛水直播における耐ころび型倒伏性向上のための水管理	プロジェクト推進室
1 農業構造・経営管理	(H29-指-06)	県内稲作経営の生産・経営実態からみた米生産費低減のポイント	農業経営研究室
1 農業構造・経営管理	(H29-指-07)	県内大規模水田作経営の類型別特徴と経営モデル	農業経営研究室
2 水稻	(H29-指-08)	玄米の登熟に対する登熟期間前期の低温寡照の影響	作物研究室(技術)
2 水稻	(H29-指-09)	水稻品種「銀河のしずく」の栄養診断基準の策定	作物研究室(技術)
2 水稻	(H29-指-10)	平成29年8月の低温・寡照条件下における登熟及び玄米品質の推移(ひとめぼれ)	作物研究室(技術)
2 水稻	(H29-指-11)	平成29年岩手県産水稻の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	作物研究室(技術)
9 土壌作物栄養	(H29-指-12)	水稻鉄コーティング湛水直播栽培に適する肥効調節型肥料の配合(追補)	生産環境研究室
10 病害虫制御	(H29-指-13)	ダイズ紫斑病の新規防除薬剤の評価	病理昆虫研究室
10 病害虫制御	(H29-指-14)	ホップにおけるアサノミハムシの被害と防除対策	病理昆虫研究室
10 病害虫制御	(H29-指-15)	鉄コーティング湛水直播栽培における葉いもち・初期害虫の防除	病理昆虫研究室

分野	成果番号	成果名	担当研究室
16 県北農業振興	(H29-指-16)	キビ品種「ひめこがね」の収穫適期	作物研究室（県北）
16 県北農業振興	(H29-指-17)	平成29年8月の低温が不稔の発生に与えた影響（いわてっこ）	作物研究室（県北）
5 果樹	(H29-指-18)	ブドウ醸造用品種への垣根仕立て法の導入効果	果樹研究室
5 果樹	(H29-指-19)	ポット養成フェザー苗利用によるりんご初期収量向上効果	果樹研究室
5 果樹	(H29-指-20)	ユズ苗のポット養成による生育向上および早期結実効果の実証	果樹研究室
5 果樹	(H29-指-21)	りんご主要品種の花粉数	果樹研究室
7 花き	(H29-指-22)	リンドウ極早生品種「いわて夢あおい」における全茎収穫を可能とする収穫後のジベレリン処理技術（追補）	野菜花き研究室
7 花き	(H29-指-23)	リンドウ切花のバケツ低温管理用の品質保持剤の効果	生産環境研究室
6 野菜	(H29-指-24)	かん水同時施肥技術を用いた露地きゅうり栽培の収量向上事例	野菜花き研究室
6 野菜	(H29-指-25)	トマトの生育調査データの時系列解析による生育予測手法	野菜花き研究室
6 野菜	(H29-指-26)	ミニトマトの露地疎植栽培におけるへたつき出荷向け品種の特性	野菜花き研究室
6 野菜	(H29-指-27)	寒冷地中小規模施設における複合環境制御技術の導入手引き	野菜花き研究室
6 野菜	(H29-指-28)	水稲育苗用ハウスにおける簡易隔離床栽培によるパプリカの養液栽培	野菜花き研究室
6 野菜	(H29-指-29)	培養液補正診断シートを活用したトマト循環式ロックウール栽培の肥料コスト低減効果	野菜花き研究室
17 震災復興	(H29-指-30)	促成いちご栽培における薪ストーブを活用した加温技術	南部園芸研究室
17 震災復興	(H29-指-31)	地域木質資源を用いた木質製園芸用ハウスの特性	南部園芸研究室
9 土壌作物栄養	(H29-指-32)	雨よけトマト栽培におけるカリ減肥基準の検証	生産環境研究室
10 病害虫制御	(H29-指-33)	アスパラガス株腐病および立枯病の種子伝染とその対策	病理昆虫研究室
10 病害虫制御	(H29-指-34)	しその害虫ウリハムシモドキに対する数種殺虫剤の防除効果	病理昆虫研究室
10 病害虫制御	(H29-指-35)	ナス小陥没症の当面の被害防止対策と推定される発生原因	病理昆虫研究室
10 病害虫制御	(H29-指-36)	施設栽培トマトの主要害虫に対する赤色防虫ネットの侵入抑制効果	病理昆虫研究室

分野	成果番号	成果名	担当研究室
10 病害虫制御	(H29-指-37)	転炉スラグを用いた土壌pH改良と耐病性台木の併用によるトマト青枯病の被害軽減	病理昆虫研究室
16 県北農業振興	(H29-指-38)	ほうれんそうを加害するウリハムシモドキおよびネギアザミウマに対する数種殺虫剤の防除効果	園芸研究室（県北）
16 県北農業振興	(H29-指-39)	ほうれんそう向け新肥料のホウレンソウケナガコナダニ被害抑制効果	園芸研究室（県北）
16 県北農業振興	(H29-指-40)	改良型ほうれんそう調製機の作業特性と省力効果	園芸研究室（県北）
16 県北農業振興	(H29-指-41)	乗用型管理機を用いたほうれんそう軽労生産技術体系と大規模経営モデル	園芸研究室（県北）
13 中小家畜（豚・鶏）	(H29-指-42)	トウモロコシ子実と大豆屑を主とした国産100%飼料の南部かしわへの給与技術と産肉成績	家畜育種研究室
11 乳用牛	(H29-指-43)	ホルスタイン種経産牛における性選別精液の受胎率向上のための人工授精牛の選定指標（乳蛋白質率およびMUN）	家畜育種研究室
13 中小家畜（豚・鶏）	(H29-指-44)	飼料用米を活用したパークシャー種肥育後期飼料における収益性が高い粳米の配合割合	家畜育種研究室
12 肉用牛	(H29-指-45)	遺伝的不良形質情報を含む県内黒毛和種交配支援システムの作成と表計算ソフトでの利用	種山畜産研究室

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
2 水稲	(H29-行-01)	平成30年度水稲奨励品種決定試験本調査・現地調査新規供試系統	作物研究室(技術)
2 水稲	(H29-行-02)	平成29年度水稲奨励品種決定本調査・現地調査結果（主食用米）	作物研究室(技術)
2 水稲	(H29-行-03)	平成29年度水稲奨励品種決定試験本調査・現地調査結果（飼料用米）	作物研究室(技術)
2 水稲	(H29-行-04)	平成30年度水稲奨励品種決定調査予備調査に供試する「岩手132号」「岩手133号」「岩手134号」「岩手135号」「岩手136号」	作物研究室(技術)
2 水稲	(H29-行-05)	夏季のエルニーニョ現象の発生と岩手県の水稲作況指数との関係	病理昆虫研究室
12 肉用牛	(H29-行-06)	SNP情報を利用した黒毛和種の牛ゲノム育種価の計算とその精度（第二報）	家畜育種研究室
12 肉用牛	(H29-行-07)	日本短角種産肉能力検定（現場後代検定法）成績	家畜育種研究室
12 肉用牛	(H29-行-08)	日本短角種産肉能力検定（直接法）成績	家畜育種研究室
12 肉用牛	(H29-行-09)	黒毛和種産肉能力検定（現場後代検定法）成績	種山畜産研究室
12 肉用牛	(H29-行-10)	黒毛和種産肉能力検定（直接法）成績	種山畜産研究室



【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
6 野菜	(H29-研-01)	岩手県のいちご促成栽培における種子繁殖型品種「よつぼし」の特性	南部園芸研究室
7 花き	(H29-研-02)	エゾリンドウにおける越冬芽数と塊茎数との関係	野菜花き研究室
7 花き	(H29-研-03)	鉢物用リンドウ有望系統の特性	野菜花き研究室
6 野菜	(H29-研-04)	培養液殺菌装置を用いた循環式養液栽培での殺菌効果と培養液組成への影響	野菜花き研究室
9 土壌作物 栄養	(H29-研-05)	簡易測定法を活用した雨よけトマトにおける可給態窒素の肥効評価	生産環境研究室
16 県北農業 振興	(H29-研-06)	春まきタマネギの全自動移植機に適する育苗培土への被覆肥料添加割合	園芸研究室（県北）
16 県北農業 振興	(H28-研-07)	水稻育苗用プール施設を利用した葉菜類の栽培法	園芸研究室（県北）
13 中小家畜 (豚・鶏)	(H28-研-08)	飼料用米ソフトグレインサイレージ配合飼料の南部かしわへの給与技術と産肉成績	家畜育種研究室

## 2 追跡評価

### ○平成29年度追跡評価の概要

#### (1) 評価視点

岩手県農業研究センター試験研究課題評価実施要領別表5の規程により、「成果の活用状況」について、「現在も有効な成果であるか」「成果が経済活動等で活用されているか」の評価視点で追跡評価を実施。

#### (2) 追跡評価の調査方法

##### ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

(ア) 評価対象 平成9年度から平成26年度までに公表した「普及」、「指導」区分の試験研究成果(1,168成果)

(イ) 評価方法 成果の主査研究室が関係研究室と調整の上、自己評価

(ウ) 評価区分

- A: (現在でも)有効
- B: 目的達成(既に、成果の目的を達成し、現在では有効性がない)
- C: 後年度の成果に反映(更新)
- D: 無効(Bの概念に含まないもの)

##### イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(ア) 評価対象

- a 平成26年度に公表した「普及」区分の研究成果(13成果)
- b 平成26年度に公表した「指導」区分の研究成果(38成果)

(イ) 評価方法

a 「普及区分」

(a) 本庁各室課が定める要綱・要領等に基づき検討されている成果は、自己評価を実施

- ① 農作物奨励品種等の決定及び改廃に関する要綱(奨励品種等)  
※ 農産園芸課が所管する稲、麦類、豆類、果樹、野菜、花き等が対象
- ② 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針作成要領(農薬の採用・使用上の留意点等)
- ③ いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)
- ④ 日本短角種集団育種推進事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)

(b) 上記(a)以外の成果は、成果の活用状況(「成果活用による効果等」)について、以下により、生産者等に調査を依頼

- ① 評価調書による調査: 成果毎に調査対象者\*1を定め、評価調書による調査を依頼  
※ 調査対象者は、農業改良普及センターの協力を得て選定

a 「指導区分」

(a) 成果の活用状況について、主要農業改良普及センター等に調査を依頼

(b) 評価区分

- a 評価調書による調査: 成果毎に調査対象者を定め、評価調書による調査を依頼  
※ 調査対象は、中央農業改良普及センターの協力を得て選定

#### (3) 追跡評価の結果

##### ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

評価区分	成果数
A	958
B	170
C	35
D	5
合計	1168

イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(ア) 「普及区分」

a 自己評価

課題名	農家への普及状況	成果活用による効果
(H26-普-02) 品種 食味、栽培特性(耐冷性・耐病性・耐倒伏性)に優れる中生稈水稻「岩手107号(銀河のしずく)」	A	A
(H26-普-05) 7月中旬開花の切り花向け青色リンドウF1品種「いわてVEB-7号(いわて夢ざんが)」の育成	D <sup>※1</sup>	B
(H26-普-06) 7月下旬～8月上旬開花の切り花向け青色リンドウF1品種「いわてEB-1号(恋りんどう)」の育成	D <sup>※2</sup>	B
(H26-普-09) 品種 りんご 11月中旬に収穫される着色良好で貯蔵性が優れる赤色品種「岩手4号(雪いわて)」	D <sup>※3</sup>	D

※1 平成27年度より種子供給開始(目標値は種子供給5年後の栽培面積)

※2 平成28年度より種子供給開始(目標値は種子供給5年後の栽培面積)

※3 平成29年秋～30年春より苗木の販売開始

注1) 農家への普及状況 A(目標の75%)、B(目標の50%から75%)、C(25%から50%)、D(25%未満)、-(目標値なし)

注2) 成果活用による効果 A(大いにあった)、B(あった)、C(あまりなかった)、D(なかった)

b 生産者による評価

課題名	成果の活用
ディスク式畑用中耕除草機を活用した大豆の一貫栽培体系	2.3
超強力小麦「銀河のちから」の加工特性を引き出す後期窒素追肥法	3.0
ポット苗田植機を用いた雑穀の機械移植技術	1.0
県北地域に適する露地無側枝性ギクの品種特性	2.0
早期結実が可能なりんごのポット養成フェザー苗の育成法	1.5
オーチャードグラス中生優良品種「ハルジマン」、「まきばたろう」、「北海30号」の特性	2.0
黒毛和種妊娠牛の冬期屋外飼養技術	2.8

注) 成果の活用は「よく活用」を3、「たまに活用」を2、「活用機会がない」を1、「活用できない」を0として加重平均した。

(イ) 「指導区分」

b 農業改良普及センターによる評価

課題名	指導効果等の向上
大豆害虫マメシクイガに対する各薬剤の防除適期	3.0
酸化調製機(50kgタイプ)を活用した水稻鉄コーティング種子作製の効率的作業体系	2.7
飼料用米「つぶみのり」の鉄コーティング湛水直播栽培における安定多収生産のための栽培管理	3.0
平成26年岩手県産水稻の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	3.0
水稻品種「あきたこまち」の鉄コーティング湛水直播栽培における安定生産のための期待生育量	2.3
水稻品種「どんぴしゃり」の鉄コーティング湛水直播栽培における安定生産のための期待生育量	2.3
イブキジャコウソウの効率的な育苗・定植方法	3.0
水稻品種「ひとめぼれ」におけるいもち病防除と葉いもち・穂いもち発生量の関係および収量に対する影響	3.0
広域的に葉いもち防除を行った「ひとめぼれ」栽培地域における穂いもち防除を省略した場合の被害発生リスク	3.0
露地無側枝性ギクの成長調整剤処理法	3.0
パイプハウスを用いたねぎの冬期貯蔵法	2.3
ハウレンソウケナガコナダニに対する殺虫剤の防除効果と施肥の影響	3.0
たまねぎ春まき作型の栽培法	3.3
たまねぎ春まき作型におけるセルトレイ育苗法	2.7
たまねぎ春まき作型における雑草防除法	3.3

課題名	指導効果等の向上
だいこんキスジノミハムシ多発ほ場での防除体系(追補)	3.3
リンドウホソハマキに対する数種殺虫剤の防除効果(追補)	3.0
雨よけ夏秋どり栽培における橙系ミニトマトの品種特性	2.3
ミニトマトの露地疎植栽培に適した誘引法	3.0
カシスの省力的な収穫方法と優良品種の選定	2.0
りんごわい性台樹における夏期の薬剤散布量	2.3
りんご品種「紅ロマン」の品種特性	3.7
りんご「シナノゴールド」の越年出荷における収穫時期の目安	3.3
摘果痕を感染部位とするリンゴ枝腐らんに対する防除薬剤	2.7
国産くず大豆を給与した黒毛和種去勢肥育牛の増体および肉質に及ぼす影響	2.0
県有黒毛和種種雄牛の一価不飽和脂肪酸割合育種価の推定(追補)	2.0
穀類を飼料用米で全量代替した配合飼料がパークシャー種肥育後期豚(75~115kg)の発育・肉質に及ぼす影響	2.3
飼料用米を活用した自給率の高い乳牛の飼料給与技術	2.0
国産くず大豆の乳牛用発酵TMR原料としての利用技術	3.0
高泌乳牛における乾乳期間の短縮が生産性に及ぼす影響	1.3
経産牛用TMRを利用した乳用育成牛の早期育成技術	2.3
飼料用トウモロコシ栽培における土壤中交換性カリ含量に応じたカリ施用量と堆肥によるカリ代替効果	2.7
耕起困難及び耕起不能放牧地における利用再開後の施肥管理	2.3

注) 指導効果等の向上は「大いに向上した」を4、「向上した」を3、「あまり向上しなかった」を2、「向上しなかった」を1、未回答を0として加重平均した。

### 3 東北農業試験研究成果

<研究成果情報>

#### (1) 研究成果数

推進部会名	生産環境	畜産飼料作	野菜花き	果樹	計
研究成果数	2	2	1	1	6

#### (2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
生産環境	岩手県南地域における2017年8月の低温・寡照条件下における水稲の登熟及び玄米品質の推移(ひとめぼれ)	研究	作物(技術)
	2017年8月の低温が与えた岩手県北の水稲品種「いわてっこ」の不稔発生に与えた影響	研究	作物(県北)
畜産飼料作	飼料用トウモロコシ不耕起栽培を活用したアレチウリの防除技術	普及	家畜飼養・飼料
	飼料用米を活用した「バークシャー種」肥育後期飼料における適正な粃米割合	研究	家畜育種
野菜花き	ササリンドウの主塊茎と副塊茎に着目した株の経年推移	研究	野菜花き
果樹	ポット養成フェザー苗利用によるリンゴ初期収量向上効果	研究	果樹



## IV 試験研究成果の発表





## IV 試験研究成果の発表

### 1 試験成績書等刊行物

資料番号等	表題名	発行年月	総頁数
<b>企画管理部</b>			
経営 29 No.1	平成28年度 「沿岸地域農業の復興に向けた新たなビジネスモデルの構築」に関する報告書ー労務管理を中心としてー	30.2	41
経営 29 No.2	平成28年度 試験研究成績書(農業経営研究室)	30.3	197
経営 29 No.3	平成29年度 試験研究成績書(農業経営研究室)	30.3	115
<b>技術部</b>			
技術 28 No.2	平成28年度 果樹関係試験成績書(技術部果樹研究室)	29.3	176
技術 28 No.3	平成28年度 試験成績書(南部園芸研究室)	29.11	52
技術 29 No.1	平成26年度 花き試験成績書(野菜花き研究室)	29.4	74
技術 29 No.2	平成27年度 花き試験成績書(野菜花き研究室)	29.4	63
技術 29 No.3	平成28年度 花き試験成績書(野菜花き研究室)	29.4	65
技術 29 No.4	平成29年度 水稲関係除草剤試験成績書(技術部作物研究室)	29.10	82
<b>環境部</b>			
環境 29 No.1	平成29年度 試験研究成績書(病理昆虫研究室)	30.4	300
<b>病虫害防除部</b>			
	平成29年度 植物防疫事業年報	30.3	181
<b>畜産研究所</b>			
畜産 29 No.1	平成29年度試験成績書(畜産研究所)	30.3	104
<b>県北農業研究所</b>			
県北 29 No.1	平成29年度 試験研究成績書(園芸研究室)	30.3	223

## 2 研究レポート(平成29年度発行分)

No.	試験研究成果名	担当研究室
874	りんご鮮度保持剤を利用した「シナノゴールド」の長期貯蔵法	技術部 果樹研究室
875	薪ストーブ「スーパーゴロン太」の薪投入量の目安	技術部 南部園芸研究室
876	イブキジャコウソウで畦畔法面を被覆して管理を省力・軽労化	プロジェクト推進室
877	高品質果実を安定生産できる「紅いわて」の着果基準	技術部 果樹研究室
878	ハウスミニトマト栽培における多収化モデル技術の導入効果	技術部 野菜花き研究室
879	インタープランティングを利用したトマトの高収益周年栽培	技術部 南部園芸研究室
880	四季成り性いちご品種‘なつあかり’を用いた2年栽培作型	技術部 南部園芸研究室
881	不耕起栽培で飼料用トウモロコシのアレチウリを撃退	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
882	鉄コーティング湛水直播栽培の倒伏を軽減する水管理	プロジェクト推進室
883	県内稲作経営の取組からみた米生産費低減のポイント	企画管理部 農業経営研究室
884	県内大規模水田作経営の類型別特徴と展開条件	企画管理部 農業経営研究室
885	水稻品種「銀河のしずく」の栄養診断基準の策定	技術部 作物研究室
886	平成29年8月の低温・寡照条件下における登熟及び玄米品質の推移(ひとめぼれ)	技術部 作物研究室
887	ダイズ紫斑病に効果のある新規薬剤の使用法	環境部 病理昆虫研究室
888	ホップにおけるアサノミハムシの被害と防除対策	環境部 病理昆虫研究室
889	水稻鉄コーティング湛水直播栽培の病虫害防除	環境部 病理昆虫研究室
890	キビ品種「ひめこがね」の収穫適期	県北農業研究所 作物研究室
891	平成29年8月の低温がいわてっこの不稔発生に与えた影響	県北農業研究所 作物研究室
892	ブドウ醸造用品種への垣根仕立て法の導入効果	技術部 果樹研究室
893	りんごポット養成フェザー苗の利用により、未収益期間の短縮が可能です	技術部 果樹研究室
894	ユズ苗のポット大苗養成で早期結実・収量アップ！	技術部 果樹研究室
895	りんご人工授粉のための主要品種の花粉数	技術部 果樹研究室
896	リンドウ極早生品種「いわて夢あおい」におけるジベレリン処理による開花前進効果	技術部 野菜花き研究室
897	リンドウ切花のバケツ用低温管理用の品質保持剤の効果	環境部 生産環境研究室
898	かん水同時施肥技術導入による露地きゅうりの増収	技術部 野菜花き研究室
899	トマトの生育調査から草勢の強弱傾向を予測できます	技術部 野菜花き研究室
900	ミニトマトの露地疎植栽培(ソバージュ栽培)におけるへたつき出荷向け品種の特性	技術部 野菜花き研究室

No.	試験研究成果名	担当研究室
901	水稻育苗後のハウスを活用したパブリカの栽培	技術部 野菜花き研究室
902	循環式養液栽培による肥料コストの削減技術	技術部 野菜花き研究室
903	加温タンク付き薪ストーブを用いた促成いちご栽培の加温技術	技術部 南部園芸研究室
904	建てやすく強くて安価な木質製園芸用ハウス「木骨ハウス」	技術部 南部園芸研究室
905	雨よけトマト栽培におけるカリの減肥	環境部 生産環境研究室
906	アスパラガスは種子消毒してから播種しましょう	環境部 病理昆虫研究室
907	しその害虫ウリハムシモドキに対する数種殺虫剤の防除効果	環境部 病理昆虫研究室
908	ナス小陥没症の当面の被害防止対策と推定される発生原因	環境部 病理昆虫研究室
909	施設栽培トマトの主要害虫に対する赤色防虫ネットの侵入抑制効果	環境部 病理昆虫研究室
910	転炉スラグと耐病性台木でトマト青枯病の被害を軽減できる	環境部 病理昆虫研究室
911	ほうれんそうを加害するウリハムシモドキおよびネギアザミウマに対する数種殺虫剤の防除効果	県北農業研究所 園芸研究室
912	ほうれんそう向け新肥料のホウレンソウケナガコナダニ被害抑制効果	県北農業研究所 園芸研究室
913	改良型ほうれんそう調製機の作業特性と省力効果	県北農業研究所 園芸研究室
914	乗用型管理機を用いたほうれんそう軽労生産技術体系と大規模経営モデル	県北農業研究所 園芸研究室
915	トウモロコシ子実と大豆屑を主とした国産100%飼料の南部かしわへの給与技術と産肉成績	畜産研究所 家畜育種研究室
916	ホルスタイン種経産牛における性選別精液の受胎率向上のための人工授精牛の選定指標	畜産研究所 家畜育種研究室
917	飼料用米を活用したパークシャー種肥育後期飼料における収益性が高い粳米の配合割合	畜産研究所 家畜育種研究室
918	黒毛和種交配支援システムの改良と表計算ソフトでの利用	畜産研究所 種山畜産研究室

### 3 岩手県農業研究センター研究報告

第17号(平成30年3月発行)

区分	論文題名	著者	所属
報文	リンゴ栽培における重要害虫であるシンクイムシ類の識別とナミハダニの遺伝的構造に関する分子生物学的研究	羽 田 厚	元環境部病理昆虫研究室 (現 花巻農林振興センター農業振興課)
	水稻新品種「金色の風」の育成	太 田 裕 貴 佐 々 木 力 菅 原 浩 視 小 綿 寿 志 仲 條 眞 介 小 舘 琢 磨 藤 岡 智 明 阿 部 陽 野 々 上 慈 徳 阿部(川代)早奈恵 神 崎 洋 之 松 村 英 生 寺 内 良 平	技術部作物研究室 元技術部作物研究室 (現 奥州農業改良普及センター) 元技術部作物研究室 (現 奥州農業改良普及センター) 元技術部作物研究室 (現 二戸農業改良普及センター) 技術部作物研究室 技術部作物研究室 技術部作物研究室 元技術部作物研究室 (現 (公財)岩手生物工学研究センター) 元技術部作物研究室 (現 (国研)次世代作物開発研究センター) 元技術部作物研究室 (退職) (公財)岩手生物工学研究センター 元(公財)岩手生物工学研究センター (現 信州大学) (公財)岩手生物工学研究センター (現 京都大学)
	大吟醸用酒造好適米新品種「結の香」の育成	仲 條 眞 介 佐 々 木 力 菅 原 浩 視 阿部(川代)早奈恵 木 内 豊 田 村 和 彦 宍戸(中野)央子 高 草 木 雅 人 阿 部 陽 遠 藤 あ や 神 山 芳 典	技術部作物研究室 元技術部作物研究室 (現 奥州農業改良普及センター) 元技術部作物研究室 (現 奥州農業改良普及センター) 元技術部作物研究室 (退職) 元農産部水稻育種研究室 (退職) 元農産部水稻育種研究室 (現 岩手県生物工学研究所) 元農産部水稻育種研究室 (現 環境部病理昆虫研究室) 元技術部作物研究室 (現 県北農業研究所作物研究室) 元技術部作物研究室 (現 (公財)岩手生物工学研究センター) 元技術部作物研究室 (退職) 元農産部水稻育種研究室 (退職)

区分	論文題名	著者	所属
要報	SNP情報を利用した牛ゲノム育種価の算出とその精度	熊谷 祐 宏 渡 邊 敏 夫 細 川 泰 子	畜産研究所家畜育種研究室  (公社)畜産技術協会附属動物遺伝研究所 (現 (一社)家畜改良事業団) 畜産研究所家畜育種研究室

#### 4 学会等研究報告

##### (1) 学術論文(専門家の査読を受け、掲載された論文)

###### 東北農業研究

○前山 薫 岩手県における米生産費とコスト低減方策 東北農業研究 70:107-108
○大野 浩1・川守田 真紀2・佐々木 真人1 リンゴ‘紅ロマン’の自家摘果性 1岩手県農業研究センター、2県北広域振興局農政部 東北農業研究 70:65-66
○浅川 知則1・佐々木 真人1・大西 正洋2・深井 智子2 樹園地用小型幹周草刈機の開発 ～岩手県における実証研究～ 1岩手県農業研究センター、2農研機構農業技術革新工学研究センター 東北農業研究 70:67-68
○千葉 彩香・有馬 宏 イチゴ高設栽培における肥効調節型肥料の違いが生育と収量へ与える影響 東北農業研究 70:77-78
○岩館 康哉 夏季のエルニーニョ現象の発生が水稻の作況に及ぼす影響 東北農業研究 70:27-28
○安田 潤平1・神山 洋2・細川 泰子1 1岩手県農業研究センター畜産研究所、2岩手県自然保護課 日本短角種肥育牛における良好な歩留を確保するための適正な発育指標と飼料給与方法 東北農業研究 70:57-58

###### Molecular Breeding

○Keisuke Tasaki, Atsumi Higuchi, Kohei Fujita, Aiko Watanabe, Nobuhiro Sasaki, Kazumichi Fujiwara, <u>Hiroshi Abe</u> , Zenbi Naito, Ryo Takahashi, Takashi Hikage, Masahiro Nishihara Development of molecular markers for breeding of double flowers in Japanese gentian. Mol. Breed. 37: 33. (2017)
--

###### 日本作物学会東北支部報

○小館 琢磨・仲條 真介・太田 裕貴・藤岡 智明・尾形 茂 飼料用米水稻新品種候補「岩手122号」の収量構成要素および穂の着粒構造の解析 日本作物学会東北支部報60:5-7
○小館 琢磨1・太田 久稔2・大久保 さゆり2・太田 裕貴1・小田中 温美1 (1岩手県農業研究センター・2農研機構東北農業研究センター) 低アミロース水稻品種「きらほ」の食味関連成分の産地間変動について 日本作物学会東北支部報60:17-18

###### 日本食品科学工学会誌

○折笠 貴寛1, 遠藤 隆平1, 加藤 一幾1, 藤尾 拓也2, 吉田 泰2, 川村 浩美2, 小出 章二1 (1岩手大学農学部・2岩手県農業研究センター) マイクロ波を用いた新しいトマトピューレ濃縮法の検討 日本食品科学工学会誌 64(9), 471-475, 2017
---

###### 農作業研究

○元木 悟1, 北條 怜子1, 染谷 美和1, 藤尾 拓也2 (1明治大学農学部・2岩手県農業研究センター) 露地夏秋どりミニトマトのネット誘引無整枝栽培における作業性 農作業研究 52(1), 15-26, 2017
--

## 日本植物病理学会報

猫塚 修一(2018)(2017)  
リンゴ褐斑病の感染開始時期の推定  
日植病報84:56(講要)

## 北日本病害虫研究会報

菅 広和\*1・大友 令史(2016)  
新たな化学合成農薬を用いたホップベト病およびうどんこ病の新防除体系  
北日本病害虫研究会報 68:17-20  
\*1農業普及技術課

猫塚 修一・田村 恵里佳・高田 真・菅 広和\*1・中西 商量\*2・本田 純悦・阿部 武美\*3  
水稻育苗緑化期の低温がばか苗病の発生に及ぼす影響  
北日本病害虫研究会報 68:21-24  
\*1 農業普及技術課、\*2 中央農業改良普及センター 地域普及グループ、\*3 公益社団法人岩手県農業公社

田村 恵里佳・猫塚 修一・高田 真  
側部型斑点米の発生に関するリスク分析  
北日本病害虫研究会報 68:144-149

佐藤 美和子・大友 令史・岩館 康哉  
小ギク虫えい内のキクヒメタマバエに対する数種殺虫剤の殺虫効果  
北日本病害虫研究会報 68:215-218

久保田 真衣(2018)  
斑点米カメムシ類に対する数種防除薬剤の残効機関  
北日本病害虫研究会報 68:265

本間 隆\*1・高部 真典\*2・大友 令史・金子 勝廣\*1・長谷川 耕太\*3・斎藤 雄介\*3  
山形県最上地域のワラビにおけるコムツキモドキの発生  
北日本病害虫研究会報 68:272  
\*1 山形県最上総合支庁農業技術普及課、\*2 山形県最上総合支庁農業技術普及課産地研究室、\*3 山形県病害虫防除所

羽田 厚\*1(2018)  
リンゴ園地において選択性の高い殺虫剤を体系的に用いると、化学合成殺ダニ剤の使用回数が削減可能である  
北日本病害虫研究会報 68:273  
\*1 花巻農林振興センター農業振興課

山本 明日香・小山田 早希・千田 裕\*1・猫塚 修一(2017)  
岩手県の薬用作物カノコソウにおけるトマト黄化えそウイルス(TSWV)の発生  
北日本病害虫研究会報 68:263(講要)  
\*1八幡平農業改良普及センター岩手町駐在

## (2)学会発表(発表要旨)

日本育種学会(第132回講演会:2017.10.7~9開催・岩手大学)

○西原 昌宏・樋口 敦美・渡辺 藍子・岩井 摩莉・菅野 裕子・田崎 啓介・高橋 亮・高村 祐太郎・日影 孝志・内藤 善美・小澤 傑・阿部 弘・小田島 雅・川村 浩美(2018)

八重咲き識別DNAマーカーによるリンドウ苗の大量選抜  
育種学研究 19(別2):162

○小澤 傑・加賀 秋人・畠山 勝徳・高畑 義人(2018)

ダイズ相転換におけるE2、E3遺伝子の影響  
育種学研究 19(別2):50

日本育種学会(第133回講演会:2017.3.25~3.26)

○仲條 眞介・阿部 陽・上村 豊和・齊藤 智宏・中西 商量・小舘 琢磨・太田 裕貴(2019)

4遺伝子集積品種「岩手117号」に新たに早生遺伝子を導入して育成した系統の出穂特性および食味特性  
育種学研究 20(別1):53

園芸学会(平成29年度秋季大会:2017.9.2~4開催・北海道 酪農学園大学 園芸学研究. 16(別2): 2017.9月発行)

○大野 浩1・及川 耳呂2・小原 繁3・佐々木 真人1

リンゴの不織布ポット養成フェザー苗利用による初期収量向上効果  
2017.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: 154.  
1岩手農研セ

○阿部 弘1・岩井 摩莉2・関根 健太郎3・藤崎 恒喜2

リンドウこぶ症における種子伝染および花粉伝染の可能性は低い  
2017.園学研(Hort. Res. (Japan)). 16 (別2): 323.  
1岩手農研セ, 2(公財)岩手生工研セ, 3琉球大学

○藤尾 拓也1・太田 祐樹1・有馬 宏1・安場 健一郎2・渡邊 勝吉3・谷口 浩之3・安東 赫4・川村 浩美1

施設トマトの生育調査データによる生育予測手法の検討  
2017.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: .  
1岩手農研セ, 2岡山大学農学部, 3富士通(株), 4農研機構野菜花き部門

○吉田 泰・藤尾 拓也・松浦 拓也・田代 勇樹・元木 悟・堀部 友香・松永 邦則・川村 浩美

ミニトマトのソバージュ栽培における摘心による収量および着果高さの影響  
岩手農研セ, 明治大農学部, パイオニアエコサイエンス(株)  
2017.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: .

○安場 健一郎・藤尾 拓也・渡邊 勝吉・多根 知周・山田 竜也・吉田 裕一・後藤 丹十郎・田中 義行

夜間の施設内CO2濃度変化を利用した換気回数自動計算ソフトウェアの開発  
岡山大院環境生命科学研究所, 岩手県農業研究セ, (株)富士通, 岡山大学農学部  
2017.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: .

○松浦 拓也・古野 伸典・藤尾 拓也・吉田 泰・田代 勇樹・川村 浩美

水稲育苗用ハウスにおける簡易隔離床栽培によるパプリカの養液栽培  
岩手農研セ, 山形県内農技普課産地研  
2017.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: .

○堀部 友香・岩崎 泰永・高橋 賢人・山永 祥子・永田 寛・吉田 泰・藤尾 拓也・元木 悟

ソバージュ栽培および主枝1本仕立て栽培における群落の物質生産の特徴  
明治大農学部, 農研機構野菜花き研究部門, 岩手農研セ  
2017.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: .

○千葉 彩香

イチゴ底面給水式高設栽培における貯水槽加温が生育及び収量へ与える影響  
2017.園学研. 園芸学研究. 16(別2): 424.

○太田 祐樹1・熊谷 秀明2・鈴木 朋代1・藤尾 拓也1・山崎 浩道3・有馬 宏1

岩手県沿岸部の被災地域における木質ハウスを利用したイチゴの周年栽培(第4報)  
2017.園学研. 園芸学研究. 16(別2): 419.  
1岩手農研セ, 2木楽創研(株), 3農研機構東北農研セ

○鈴木 朋代・太田 祐樹・有馬 宏

寒冷地における種子繁殖型イチゴ品種‘よつぼし’の本圃直接定植法の最適定植時期の検討  
2017.園学研. 園芸学研究. 16(別2): 417.



園芸学会(平成29年度秋季大会:2017.9.2~4開催・北海道 酪農学園大学 園芸学研究. 16(別2): 2017.9月発行)

<p>○横田 啓・福田 拓斗・荻内 謙吾                  岩手県のタマネギ春まき作型に適する全自動移植機向け良質苗生産技術の開発                  (第2報)被覆肥料の添加割合等が苗質および収量に及ぼす影響                  2017.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: 472.</p>
--

東北農業試験研究第60回発表会(2017.8.9 開催・秋田市)・東北農業研究(第70号)

<p>○前山 薫                  岩手県における米生産費とコスト低減方策                  東北農業研究 70 : 107-108</p>
<p>○大野 浩1・川守田 真紀2・佐々木 真人1                  リンゴ‘紅ロマン’の自家摘果性                  1岩手県農業研究センター、2県北広域振興局農政部                  東北農業研究 70 : 65-66</p>
<p>○浅川 知則1・佐々木 真人1・大西 正洋2・深井 智子2                  樹園地用小型幹周草刈機の開発 ～岩手県における実証研究～                  1岩手県農業研究センター、2農研機構農業技術革新工学研究センター                  東北農業研究 70 : 67-68</p>
<p>○千葉 彩香・有馬 宏                  イチゴ高設栽培における肥効調節型肥料の違いが生育と収量へ与える影響                  東北農業研究 70 : 77-78</p>
<p>○岩館 康哉                  夏季のエルニーニョ現象の発生が水稻の作況に及ぼす影響                  東北農業研究 70 : 27-28</p>
<p>○安田 潤平1・神山 洋2・細川 泰子1                  1岩手県農業研究センター畜産研究所、2岩手県自然保護課                  日本短角種肥育牛における良好な歩留を確保するための適正な発育指標と飼料給与方法                  東北農業研究 70:57-58</p>

日本作物学会 第244回講演会(2017.9.14~15 開催・岐阜大学)

<p>○小館 琢磨1・太田 久稔2・岡留 博司3・太田 裕貴1・小田中 温美1                  (1岩手県農業研究センター, 2農研機構東北農業研究センター, 3農研機構食品研究部門)                  窒素施肥の違いが低アミロース水稻品種“きらぼ”の食味関連成分に与える影響                  日本作物学会第244回講演会要旨集, P64</p>
<p>○小館 琢磨1・太田 久稔2・岡留 博司3・太田 裕貴1・小田中 温美1                  (1岩手県農業研究センター, 2農研機構東北農業研究センター, 3農研機構食品研究部門)                  窒素施肥の違いが低アミロース水稻品種“きらぼ”の玄米品質および炊飯米物性に与える影響                  日本作物学会第244回講演会要旨集, P65</p>
<p>○太田 裕貴1・太田 久稔2・岡留 博司3・小館 琢磨1・小田中 温美1                  (1岩手県農業研究センター, 2農研機構東北農業研究センター, 3農研機構食品研究部門)                  白米タンパク質含有率が低アミロース水稻品種“きらぼ”の食味特性に与える影響                  日本作物学会第244回講演会要旨集, P66</p>
<p>○岡留 博司1、齊藤 勲2、安江 紘幸3、太田 久稔3、小館 琢磨4、五月女 格1、奥西 智哉1、安藤 泰雅1                  (1農研機構食品部門、2(株)ナカショク、3農研機構東北農研セ、4岩手農研セ)                  解凍条件が低アミロース水稻品種”きらぼ”を用いた冷凍米飯のテクスチャーに及ぼす影響                  日本作物学会第244回講演会要旨集, P67</p>

日本作物学会 第245回講演会 (2018.3.29～30 開催:宇都宮大学)

○藤岡 智明・永富 巨人・小田中 温美 岩手県の水稲における登熟期間前期の気象条件が登熟に与える影響 日本作物学会第245回講演会要旨集, P7
○太田 裕貴・小館 琢磨 穂揃期追肥が岩手県における水稲主力品種の食味と炊飯米物性に与える影響 日本作物学会第245回講演会要旨集, P115
○小館 琢磨1・岡留 博司2・太田 裕貴1・小田中 温美1 (1岩手県農業研究センター, 2農研機構食品研究部門) 多肥栽培が低アミロース水稲品種「きらほ」の収量および理化学特性へ与える影響 日本作物学会第245回講演会要旨集, P116
○下川原 智・齋藤 智宏・高橋 好範 岩手県における2017年8月の低温が水稲品種「いわてっこ」の不稔の発生に与えた影響 日本作物学会第245回講演会要旨集, 75

日本食品工学会第18回年次大会 (2017.8.8～9 開催:関西大学)

○岡留博司1、齋藤勲2、安江紘幸3、太田久稔3、小館琢磨4、五月女格1、奥西智哉1、安藤泰雅1 (1農研機構食品部門、2(株)ナカシヨク、3農研機構東北農研セ、4岩手農研セ) 岩手県産低アミロース米品種「きらほ」の冷凍・解凍に伴う米飯の物性変動 日本食品工学会第18回年次大会要旨集
--

日本食品保蔵科学会第66回大会 (2017.6.24～25 開催:高知県立大学)

○岡留博司1、齋藤勲2、安江紘幸3、太田久稔3、小館琢磨4、五月女格1、奥西智哉1、安藤泰雅1 (1農研機構食品部門、2(株)ナカシヨク、3農研機構東北農研セ、4岩手農研セ) 岩手県産低アミロース米品種「きらほ」の冷凍・解凍に伴う米飯の物性変動 2017年度日本食品保蔵科学会大会要旨集, P66
---

2017年度農業施設学会大会 (2017.9.11～13 開催:日本大学生物資源科学部キャンパス)

○千葉 彩香1・山田 修2・石村 眞一3・小国 克也3・水戸谷 剛4・赤堀 卓央4・佐藤 良4・田上 栄司4・太田祐樹1・有馬 宏1 小規模ハウス向け薪ボイラーの暖房特性と薪投入量の検討 農業施設学会大会講演要旨集:43. 1岩手農研セ, 2岩手中央農改セ, 3石村工業(株), 4東日本機電開発(株)
○太田 祐樹1・鈴木 朋代1・松田 周2・有馬 宏1 高断熱資材を用いた平張り方式の内張り天幕の施工および改良点 農業施設学会大会講演要旨集:41. 1岩手農研セ, 2農研機構西日本農研セ
○鈴木 朋代1・熊谷 秀明2・太田 祐樹1・松田 周3・吉越 恆3・有馬 宏1 木質製園芸用ハウスの特性評価 農業施設学会大会講演要旨集:13. 1岩手農研セ, 2木楽創研(株), 3農研機構西日本農研セ

園芸学会(平成30年度春季大会:2018.3.24~25開催・近畿大学 園芸学研究. 17(別1): 2018.3月発行)

○阿部 弘1・佐々木 忍1 エゾリンドウにおける越冬芽数と塊茎数との関係 2018.園学研(Hort. Res. (Japan)). 17 (別1): 250. 1岩手農研セ
○田代勇樹・吉田泰・藤尾拓也・松浦拓也(岩手農研セ) 防虫ネット被覆及び栽培期間中の気温がキュウリ果実肥大先端部肥大に及ぼす影響 2018.園学研(Hort. Res. (Japan)). 17 (別1): 369.
○千葉 彩香1・山田 修2・石村 眞一3・小国 克也3・水戸谷 剛4・赤堀 卓央4・佐藤 良4・田上 栄司4・有馬 宏1 イチゴ底面給水式高設栽培における貯水槽加温が硝酸イオン濃度に及ぼす影響 2018.園学研. 園芸学研究. 17(別1): 335. 1岩手農研セ, 2岩手中央農改セ, 3石村工業(株), 4東日本機電開発(株)
○太田祐樹・鈴木朋代・藤尾拓也・有馬宏 インタープラントイングを利用したトマトの高収益周年栽培 2018.園学研. 園芸学研究. 17(別1): 339.
○鈴木 朋代・太田祐樹・有馬 宏 イチゴ2年栽培作型における収量特性の比較 2018.園学研. 園芸学研究. 17(別1): 325.
○菊地淑子・湯本弘子*1・日影孝志*2・菅原栄伸*3 リンドウ切花における品質保持剤の使用が観賞時の老化花割合に及ぼす影響 *1 農研機構野菜花き部門,*2 八幡平市花き研究開発セ,*3 JA全農いわて
○塚崎光1・村山徹1・本城正憲1・池田裕樹1・熊谷初美2・横田啓2・澤里明寿3・本庄求4・山崎紀子5・笠井友美6・門田敦生6・山崎篤1 タマネギりん茎に含まれるケルセチン含量の変動 2018.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1: 200. 1 農研機構東北農研, 2 岩手農研セ東北農研, 3 宮城農園研, 4 秋田農試, 5 山形庄内農技普課産地研, 6 福島農総セ,

平成29年度 日本土壤肥料学会東北支部大会(2017.7.11~12開催・盛岡市・アイーナ)

○葉上 恒寿 公開シンポジウム「大震災後の農業被害復興のその後と今後の課題」 講演1 東日本大震災津波被災水田における収量向上及びコスト低減に向けた取り組み
--

日本土壤肥料学会 2017年度仙台大会(2017.9.5~7開催・仙台市・東北大学青葉山新キャンパス)

○桐山 直盛・島 輝夫 土壌可給態窒素の簡易測定に基づく適正施肥技術の開発に向けてー夏秋トマト施設栽培における窒素減肥の可能性ー
---

第71回 北日本病害虫研究発表会(2018.2.15~16開催・八戸市 北日本病害虫研究会報. 69: 印刷中)

○松橋 伊織・大友 令史(2017) 畑ワサビの害虫ルリイロゾウムシに対する各種粒剤防除効果
○岩館 康哉・佐々木陽菜・細川 健1・山田 修2(2017) ナス小陥没症の当面被害防止対策と推定される発生原因 1 一関普及セ・2 中央普及セ
○中村太紀・薄衣麻里子1・及川耳 呂1・菅 広和2(2017) 岩手県における日本なし黒星病腋花芽りん片への感染時期に関する考察 1 一関普及セ・2 農業普及技術課
○加藤真城・大友令史(2017) リンゴのモシクイガを対象とした輸出応型防除体系実証
○大友令史(2017) アサノミハムシの発生態と防除対策
田村恵里佳・猫塚修一・高田 真 隔年防除の取組地域における水稻初期害虫発生推移
猫塚修一・名久井一樹・廣田志紀子 リンゴ褐斑病の発生に関するリスク要因分析
廣田志紀子・猫塚修一・名久井一樹 リンゴにおける果樹カメムシ類発生予察法の検討:時期別の誘殺頭数と果実被害との関係
○横田 啓・熊谷 初美 ほうれんそうのウリハムシモドキに対する数種薬剤の防除効果

平成29年度(第53回)日本植物病理学会東北支部会(2017.9.28～29開催・弘前市)

○岩館 康哉・菅 広和*1(2017) Sclerotium rofsiiによるトリカブト白絹病(新称) 平成29年度(第53回)日本植物病理学会東北支部会プログラム・講演要旨集 p11 *1農業普及技術課
猫塚修一(2018)(2017) リンゴ褐斑病の感染開始時期の推定 平成29年度日本植物病理学会東北支部会講演要旨集

平成29年度日本植物病理学会大会(盛岡市、平成29年4月26～28日)

猫塚修一(2018)(2017) リンゴ樹上で越冬する炭疽病菌 <i>Colletotrichum acutatum</i> の生活環 平成29年度日本植物病理学会大会講演要旨集
---

平成30年度日本植物病理学会大会(2018.3.25～26開催・神戸市)

○岩館 康哉・村上珠莉*1・奈良知春*2・古屋廣光*2(2018) アスバラガス株腐病および立枯病の種子伝染による被害 *1二戸普及セ・*2秋田県立大
○永坂厚1・遠瑞枝1・横田啓2・上杉龍士1 タマネギ茎葉部のネギアザミウマ防除は収穫後の細菌性りん茎腐敗に影響する 平成30年度日本植物病理学会大会・講演要旨集 p〇〇 1東北農研、2岩手県北農研

第62回日本応用動物昆虫学会大会(2018.3.25～27開催・鹿児島大 講演要旨)

○横田 啓・熊谷 初美・福田 拓斗・荻内 謙吾 春まきタマネギにおける殺虫剤の散布頻度がネギアザミウマの発生とタマネギ収量・腐敗に及ぼす影響 ～3ヵ年の試験事例を元に～ 第62回日本応用動物昆虫学会大会 講演要旨集:p75
---

第67回東北畜産学会青森大会(2017.8.18～19開催・県民福祉プラザ)

○安田潤平1・神山 洋2・児玉英樹3・細川泰子1 肥育前期に高蛋白濃厚飼料を給与する黒毛和種の肥育期間短縮技術 東北畜産学会報 Vol.67 No.2 .27 1岩手畜研,2岩手県自然保護課,3岩手県畜産課
○熊谷祐宏1・渡邊敏夫2・細川 泰子1 岩手県黒毛和種集団におけるSNP情報を利用した牛ゲノム育種価の計算とその精度 東北畜産学会報 Vol.67 No.2 .33 1岩手県畜研,2畜産技術協会付属動物遺伝研究所(現家畜改良事業団)
○越川 志津・伊藤 孝浩・及川 修・藤原 哲雄 生体センサーを活用した疾病のモニタリング 東北畜産学会報 Vol.67 No.2 .31

第108回日本養豚学会(2018.3.15～16・東京農業大学厚木キャンパス)

○佐々木康仁・細川泰子 飼料用米を活用したパークシャー種肥育後期飼料における適正な籾米配合割合
--

## 5 雑誌等掲載

### (1) 専門雑誌等

#### 植調

阿部 弘 リンドウの塊茎と切り花生産の密接な関係 (公財)日本植物調節剤研究協会 2018.第51巻第11号:2-5
--

#### インターネット版日本植物病害大辞典 病害新情報

岩館康哉 キュウリ 黒点根腐病 (株)全国農村教育協会
-----------------------------------

### (2) 月刊農業普及 (平成29年4月号～平成30年3月号)

4月号	飯村 太一	農業研究センター試験研究レポート「生育速度の速い草種を併用した播種当年利用技術の確立」
	佐藤 美和子	話題の病害虫講座「ピーマンの病気 ピーマンモザイク病(PMMoV)」
	小野 直毅	らぼ・れたあ「平成28年度『二戸地域雑穀推進大会』が行われました」
5月号	浅川 知則 他	特集 岩手県農業研究センターで開発された新品種・新技術
	横田 啓	農業研究センター試験研究レポート「春まきたまねぎにおけるアザミウマ被害実態と有効薬剤」
	横田 啓	話題の病害虫講座「たまねぎの害虫 アザミウマ類」
	藤岡 智明	らぼ・れたあ「高校野球は『春のセンバツ』、水稲品種の『センバツ』は…？」
6月号	仲條 眞介	農業研究センター試験研究レポート「県産米をリードする極良食味新品種『金色の風』」
	福田 拓斗	話題の病害虫講座「キャベツの害虫 コナガ」
	澤田 建	らぼ・れたあ「熱い要望に応えるニューフェイス！新規種雄牛『雪福秀』を選抜」
7月号	中野 央子	農業研究センター試験研究レポート「水稲出穂期以降のアカスジカスミカメ防除対策(追補)」
	岩館 康哉	話題の病害虫講座「ピーマンの病気 ピーマン疫病」
	伊勢 智宏	らぼ・れたあ「『耳に痛い』意見こそが大事です！～『農研センターと生工研との連携会議』を開催」
8月号	輪達 公重	農業研究センター試験研究レポート「切花向け青色リンドウ品種「いわてLB-5号」「いわてLB-6号」の育成」
	中野 央子	話題の病害虫講座「水稲の害虫 イネミズゾウムシ」
	佐々木 康仁	らぼ・れたあ「籾米を利用した特徴のある豚肉生産に向けて農家実証試験を開始しました」
9月号	大友 令史 他	特集 気候変動に備える「気候変動に対応した農業技術開発」
	西田 絵梨香	農業研究センター試験研究レポート「果実軟化を防ぐ『紅いわて』の収穫適期」
	加藤 真城	話題の病害虫講座「果樹の害虫 シンクイムシ類」
	佐藤 真	らぼ・れたあ「圃場管理システムを上手に使うって、効率的に作業しよう！」
10月号	葉上 恒寿	農業研究センター試験研究レポート「水稲鉄コーティング湛水直播栽培に適する肥効調節型肥料」
	佐藤 千穂子	話題の病害虫講座「ネギの害虫 ネギアザミウマ・ネギコガ・ネギハモグリバエ」
	高草木 雅人	らぼ・れたあ「雑穀育種の夜明け？早朝のアワ交配～特性の優れる雑穀の育成をめざして」
11月号	大友 令史	農業研究センター試験研究レポート「キクノ害虫 キクヒメタマバエの防除対策」
	佐藤 美和子	話題の病害虫講座「リンドウの害虫 リンドウホソハマキ」
	鈴木 朋代	らぼ・れたあ「省力化に期待！～イチゴ『よつぼし』の本圃直接定植法の試験スタート～」
12月号	安田 潤平	農業研究センター試験研究レポート「肥育前期に飼料中の蛋白質濃度を高めた黒毛和種の肥育期間短縮技術」
	藤尾 拓也	「パイプハウスによるトマト30tどり技術」
	田村 恵里佳	話題の病害虫講座「米の害虫 斑点米カメムシ類」
	大宮 元	らぼ・れたあ「『いわて短角和牛』の新たなファン獲得に向けて～日本短角種の寄託放牧事業」
1月号	寺田 道一	特集 いわたのスマート農業最前線「水田の水管理を大幅に省力化！『遠隔自動給排水制御システム』」
	越川 志津	特集 いわたのスマート農業最前線「疾病の発生に備えるための牛の反芻時間のモニタリング」
	寺田 道一	農業研究センター試験研究レポート「『ひとめぼれ』鉄コーティング湛水直播栽培での良質米安定生産」
	尾形 茂	話題の雑草講座「水稲の雑草 タイヌビエ」
	有馬 宏	らぼ・れたあ「最新の実証研究をお目にかけます！～『トマト栽培セミナー』を開催しました～」

月刊農業普及(続き)

2月号	高草木 雅人	農業研究センター試験研究レポート「乗用型ポット苗田植機を用いた雑穀の機械移植技術」
	尾形 茂	話題の雑草講座「水稻の雑草 コウキヤガラ」
	土谷 のぞみ	らぼ・れたあ「おがってくれよ、未来の種雄牛！～日本短角種産肉能力検定(直接法)が始まりました」
3月号	佐藤 真	農業研究センター試験研究レポート「春期牧草播種と秋追播による植生改善技術」
	高村 聡美	話題の雑草講座「牧草地の雑草 エゾノギシギシ」
	高草木 雅人	らぼ・れたあ「第10回の節目を迎えて～『平成29年度二戸地域雑穀推進大会』が開催されました」

(3) 岩手の畜産(平成29年5月号～平成30年3月号)

5月号	佐藤 真	圃場管理システムを活用した作業記録と作業計画の作成
7月号	越川 志津	大規模酪農経営における生体センサーを活用した省力牛群管理技術
9月号	安田 潤平	肥育前期に高粗蛋白質濃厚飼料を給与する黒毛和種の肥育期間短縮技術
11月号	高村 聡美	転作田におけるフェストロリウムの適応性確認と採草・放牧利用技術の実証
1月号	安田 潤平	日本短角種肥育牛における良好な歩留を確保するための適正な発育指標と飼料給与方法
3月号	増田 隆晴	蹄耕法を取り入れた耕起困難草地における更新技術

(4) 岩手りんごタイムス(平成29年4月号～平成29年12月号) ※平成29年12月休刊

4月号	浅川 知則	結実確保対策について
5月号	加藤 真城	枝幹害虫の防除について
	名久井 一樹	幼果期の防除について
6月号	加藤 真城	殺ダニ剤の使用について
	廣田 志紀子	農薬の安全・適正使用について
	西田 絵梨香	樹相診断による適正な樹勢の維持
7月号	名久井 一樹	盛夏期のりんごの防除について
	柳本 麻衣	夏期管理について
8月号	大野 浩	早生品種の管理について
	廣田 志紀子	収穫期前の防除について
9月号	柳本 麻衣	スマートフレッシュTMについて
	白木 正俊	りんごの施肥について
10月号	浅川 知則	「大夢」・「雪いわて」について
11月号	廣田 志紀子	野ネズミ対策について
	白木 正俊	りんご園の土壌診断

## (5) その他の雑誌等

### 月刊 現代農業

藤尾 拓也

夏の湿度管理で夏秋トマトの収量1.5倍

2017年7月号

### 農耕と園芸

藤尾 拓也

自分でできるハウスの見える化 ユビキタス UECSでもっと気軽にICT農業(第10回)岩手県の実証研究 中小規模施設でのUECS運用  
農耕と園芸 72(8), 58-62, 2017-08, 誠文堂新光社

岩館 康哉

転炉スラグを用いた土壌pH矯正によるハウレンソウ萎凋病の被害軽減

農耕と園芸, 誠文堂新光社, 第72巻11号50-56

### 施設と園芸

太田 祐樹

岩手県の施設園芸における木骨ハウスを中心とした取り組み

施設と園芸, 日本農民新聞社, 178(2017):21-26

### 農業時代

岩館康哉

岩手県のキュウリにおけるべと病防除について

農業時代 第199号(2018):5-10

### 果実日本

加藤 真城

果樹害虫の最近の動向と防除策 第9回 岩手県におけるリンゴ害虫の発生動向と防除対策

2017年10月号:16-19

中村 太紀

果樹病害の最近の動向と防除策 第6回 平成29年に岩手県で発生したリンゴ病害の発生動向と防除対策

2018年2月号:70-73

### 肉牛ジャーナル

種山畜産研究室

全国種雄牛名鑑「花安勝」「緑乃大地」「花金幸」

平成30年1月号

### 養鶏の友

吉田 登

地鶏開発物語⑩ 南部かしわ編

2018年2月号

### 農業日誌

佐藤 真

飼料畑におけるアレチウリ防除技術の確立

農林統計協会 平成29年10月発行

### デーリイマン

越川 志津

反芻モニタリングで乾乳牛の疾病を早期に発見

北海道協同組合通信社 2018年2月号

## 6 新聞等掲載

部所名	記事見出し	掲載紙	掲載年月日
<b>プロジェクト推進室</b>			
	春まきタマネギ普及へ 農研センターセミナー 圃場見学、情報共有	岩手日日新聞	29.6.22
	稲作コスト低減へ 県農業再生協北上で研修会	岩手日日新聞	29.7.19
	収穫作業が本格化 花巻・春まきタマネギ生産現場を関係者視察	岩手日日新聞	29.8.3
<b>企画管理部</b>			
<b>研究企画室</b>			
	昆虫捕まえ標本に 農業科学博物館	岩手日日新聞	29.8.8
	先端技術で収益力向上 県農研センター 研究員ら成果報告	岩手日日新聞	30.1.13
<b>○農業科学博物館</b>			
	馬と共に励む農作業 農業科学博物館 昭和初期の用具など紹介	岩手日日新聞	29.4.14
	動物を使った農作業 水田耕起と代掻き 農業科学博物館	週刊きたかみ	29.4.20号
	昭和中期の農機具紹介	読売新聞	29.4.26
	稲わらってすごい	週刊きたかみ	29.7.13号
	体験できるミュージアム	マシェリ	29.7.14号
	稲わら製品にむかしを思い出して	岩手日報	29.7.23
	稲わら生活に密着 農業科学博物館 製品、パネルなど展示	岩手日日新聞	29.7.26
	親子でソバ作り始動	岩手日日新聞	29.8.1
	懐かしの稲わら製品展 北上・農業科学博物館 草履や縄など40点	読売新聞	29.8.4
	稲わら・・・生活文化の必需品 素材を多彩に活用	週刊きたかみ	29.8.10号
	私たちの農の生け花 応援します 身近な所で交流の場を	日本農業新聞	29.10.6
	ソバ手刈り、石臼で粉ひき 農業科学博物館 親子が体験	岩手日日新聞	29.10.20
	県立農業博物館 親子でそば打ち挑戦	岩手日日新聞	29.11.6
	農業科学博物館 紹介記事	おでかけ情報誌「あんふぁん東北版」	29.12月号
	親子で松飾り作りに挑戦 県立農業博物館	岩手日日新聞	29.12.21
	農家の暮らしと火	週刊きたかみ	30.1.11
	暮らしの“火”紹介 宝形化学博物館企画展 懐かしの道具53点	岩手日日新聞	30.2.12
	火で炊事・暖房・照明 農家の暮らしと火の企画展 農業科学博物館	週刊きたかみ	30.2.22号
<b>技術部</b>			
<b>作物研究室</b>			
	水稲「金色の風」栽培目安を提示 追肥は減数分裂期に	日本農業新聞(地方面)	29.5.31
	今秋デビューへ意識統一「金色の風」シンボ・奥州 栽培管理、販売戦略確認	岩手日日新聞	29.7.20
	(刈り取り期見極め重要 銀河のしずく栽培研究会)	岩手日日新聞	29.9.14
	(収穫待つ「金色の風」 天候不順も生育順調 北上で栽培研究会 生産者、出来秋に手応え)	岩手日日新聞	29.9.15
	(金色の風 登熟順調 北上で研究会 22日ごろから収穫へ)	岩手日報	29.9.15
	(「金色の風」待ち遠しい 新たな岩手産米デビュー控え研修)	河北新報	29.9.16
	(金色の風 全国デビュー 本県ブランド米販売 のんさんらアピール)	岩手日報	29.10.17
	(「銀河のしずく」「金色の風」 期待の2品種拡大へ 岩手県オリジナル水稲 栽培農家募る 適地や品質目標設定 高級路線で所得を確保)	日本農業新聞(地方面)	29.11.30
	(銀河のしずく「頂上」競う 県が初のコンテスト 最優秀賞は鎌田さん(花巻))	岩手日報	29.12.13
	(鎌田さん(花巻)最高賞 「銀河のしずく」食味競う)	河北新報	29.12.24
<b>果樹研究室</b>			
	岩手産ワインPRの機運醸し出す 県が支援事業醸造家育成、ブドウ栽培拡大、協議会設立も	河北新報	29.4.17
	岩手県、ワイン産業醸成 担い手育成／ブドウ品種選定	日本経済新聞(地方面)	29.5.31
	特別栽培リンゴ振興 JAいわて中央(安全・安心で高単価 取引先増やし輸出強化も)	日本農業新聞(地方面)	29.7.3
	醸造用ブドウ栽培管理は ワイン生産アカデミー 県農研センターを視察	岩手日日新聞	29.7.16
	(本県ワイン“熱い”未来? 赤系ブドウ品質向上 温暖化策が急務)	岩手日報	29.8.14
	最先端農機 費用が壁(リンゴかご軽々・田植機にGPS・・・)	朝日新聞(地方面)	29.8.16
	地元ワイン牽引役に(アカデミー閉講式 24人へ修了証書)	岩手日日新聞	29.8.28
	適切な収穫、出荷を JA岩手ふるさと(リンゴ販売会議で確認)	岩手日日新聞	29.8.29
	シャインマスカット8店が自慢の品提供(スイーツフェア市民ら食べ比べ堪能)	岩手日日新聞	29.9.26
	品種、若者11点が入賞(純情りんごコンテスト3部門で審査)	岩手日日新聞	29.10.20



部所名	記事見出し	掲載紙	掲載年月日
<b>果樹研究室</b>			
	北上でリンゴの品質競うコンテスト	岩手日報	29.10.20
	爽り赤々 復興願い リンゴ「大夢」園地見学会	岩手日報	29.11.12
	庭先の無剪定ユズ切り戻し全量収穫 年表100キロ超 作業省力化	日本農業新聞(地方版)	29.11.24
	リンゴ「冬恋」親子で収穫体験 二戸	朝日新聞(地方版)	29.11.28
	県産リンゴをもっと食べて(生産量全国4位でも知名度いまいち県やJA あすからスーパーなどでフェア)	朝日新聞(地方版)	29.11.30
	岩手リンゴいかが 盛岡知名度向上へ県PR	河北新報	29.12.4
	リンゴに「1-MCP」「シナノゴールド」内部褐変を制御 日持ちや長期貯蔵に	日本農業新聞(地方版)	29.12.13
	リンゴ 高密度植栽培+点滴かん水 5年で成園化目指す 岩手県実証へ	日本農業新聞(地方版)	30.1.11
	先端技術で収益力向上 県農研センター(研究員ら成果報告)	日本農業新聞(地方版)	30.1.13
	ワインで地域再生(農研機構落葉果樹研究会 3県の成果報告)	日本農業新聞(地方版)	30.1.31
	リンゴの収益性向上討議 シードルに活路(寒冷地果樹研究会)	日本農業新聞(地方版)	30.2.6
	歩む地域集う力 岩手・「米崎りんご」(伝統守る 復興象徴に)	日本農業新聞(全国版)	30.3.9
<b>野菜花き研究室</b>			
	トマト加湿栽培 所得増技術モデル考案 岩手県二酸化炭素の施用温湿度の自動制御収量3割増	日本農業新聞(地方版)	29.5.25
	5~12月夏秋トマト長期取り バイブハウスで10アール29トン	日本農業新聞(全国版)	29.7.6
	リンドウ日本一岩手県産新品種 「夢ざんが」本格出荷	河北新報	29.7. __
	新たに5品種開発 19年まで 産地間で生産リレー	河北新報	29.7. __
	リンドウ新品種に期待 奥州・衣川展示圃で見学会	岩手日日新聞	29.9.26
	先端技術に高い関心 環境制御北上で生産者ら意見交換	岩手日日新聞	29.12.13
	ハウス野菜目指せ倍増 室内環境制御生産者向け研修会 技術普及、増収後押し	岩手日報	29.12.13
	施設野菜にICT活用 北上で革新セミナー 環境制御技術学ぶ	岩手日日新聞	29.12.21
	先端技術で収益力向上 県農研センター 研究員ら成果報告	岩手日日新聞	30.1.13
	スマート農業 実証結果報告有効性を理解 花巻でシンポ	岩手日日新聞	30.2.25
<b>南部園芸研究室</b>			
	(施設園芸の環境制御特集)	日本農業新聞	29.4.25
	(夏秋トマト長期取りパイプハウスで10アール29トン)	日本農業新聞	29.7.6
	株元加湿イチゴ増収 東北農政局先端プロの成果発表	日本農業新聞(地方版)	29.12.1
	(年間収量10トン越えに期待 米崎町の大規模園芸施設今季イチゴ順調に収穫)	東海新報	30.2.9
<b>環境部</b>			
<b>病理昆虫研究室</b>			
	「銀河のしずく」で岩手県農研センター 育苗箱施用でOK 葉・穂の両段階で効果 いもち防除を省力化	岩手農業新聞(地方版)	29.11.30
<b>病害虫防除部</b>			
<b>病害虫防除課</b>			
	(なし)		
<b>畜産研究所</b>			
<b>家畜育種研究室</b>			
	岩手県農業研究センター畜産研究所 「春北平」「絹美継」県種雄牛に	日本農業新聞	29.4.15
	大豆かすも与え短縮(タンパク含量向上 27か月齢で出荷)	日本農業新聞	29.9.11
	(ブランド地鶏 地域の柱に 旅館と農家の連携で誕生 岩手・西和賀町の「南部かしわ 銀雪」)	日本経済新聞(地方版)	29.12.9
<b>家畜飼養・飼料研究室</b>			
	反芻センサー系口に 分娩3週間前から激減 牛の周産期病 早期発見	日本農業新聞(全国版)	29.10.6
<b>県北農業研究所</b>			
<b>作物研究室</b>			
	雑穀栽培に移植機 ポット苗田植機を改良 岩手県農研センター	全国農業新聞	29.5.19
	養分収支を考慮した補給型施肥基準の作成	JATAFFジャーナル	29.7.10
	雑穀移植で草対策	日本農業新聞	29.9.7
	穀粒が濃い黄色で大きい短かん・多収あわ新品種「ゆいこがね」の収穫適期	グリーンレポート	30.4.1

## 7 テレビ・ラジオ放送

### (1) テレビ

部所名	出演者	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
企画管理部 農業科学博物館	藤原 勝栄	5きげんテレビ 中継！農業科学博物館	テレビ岩手	29.8.4	無
企画管理部 農業科学博物館	—	親子体験学習 そば刈り	北上ケーブルテレビ	29.10.16	無
企画管理部 農業科学博物館	—	「ザ！鉄腕DASH！！」農作業で田車を使用した際の説明写真 人力除草機(写真データ提供)	日本テレビ	29.11.19	無
企画管理部 農業科学博物館	—	ニュース645 松飾作り	NHK	29.12.17	無
企画管理部 農業科学博物館	—	「シュシュ」「便利グッズ」から時代を紐解く 糧切機(現物2台貸出)	テレビ朝日	30.2.3	無
畜産研究所 家畜育種研究室	吉田 登	西和賀町「南部かしわ銀雪誕生」に係る南部かしわの特徴紹介	NHK	29.11.22	無

### (2) ラジオ

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
企画管理部 農業科学博物館	—	第74回企画展「岩手の風土・食事情」のご案内	IBC岩手放送	29.9.29	無
企画管理部 農業科学博物館	—	第74回企画展「岩手の風土・食事情」のご案内	IBC岩手放送	29.11.10	無
企画管理部 農業科学博物館	—	第75回企画展「農家の暮らしと火」のご案内	IBC岩手放送	29.12.29	無
企画管理部 研究企画室	—	岩手県農業研究センター参観デーの開催について(告知)	テレビ岩手	29.8.31	無

## 8 指導資料等掲載

部所・研究室名	執筆者氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
技術部				
果樹研究室	浅川 知則	果樹雑草防除及び果樹用成長調整剤使用指針	平成30年度 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	30.3
	大野 浩	リンゴ産地の早期再生を図る早期成園化・品質向上技術マニュアル ver.2	リンゴ産地の早期再生を図る早期成園化・品質向上技術マニュアル ver.2	30.2
	浅川 知則	ユズの加工利用を促進する安定生産技術とブランド新商品の開発マニュアル	ユズの加工利用を促進する安定生産技術とブランド新商品の開発マニュアル	30.2
	柳本 麻衣	ブドウ新品種の導入による新たな加工品開発マニュアル	ブドウ新品種の導入による新たな加工品開発マニュアル	30.2
作物研究室	尾形 茂	雑草防除(水稲)	平成30年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	30.3
	齋藤 智子 関村 真梨歩	雑草防除(畑作物)	平成30年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	30.3
	永富 巨人	「金色の風」栽培マニュアルver.2.0	「金色の風」栽培マニュアルver.2.0	30.3
	永富 巨人	「銀河のしずく」栽培マニュアルver.3.0	「銀河のしずく」栽培マニュアルver.3.0	30.3
環境部				
生産環境研究室	白木 正俊	土づくり及び補給型施肥	果樹指導要綱	30.3
病理昆虫研究室	大友 令史	病害虫管理(防除・農薬) ～岩手県における環境に優しい病害虫管理技術～	平成29年度いわてアグリフロンティアスクール講義資料	29.6
	中村 太紀	防除指導資料(果樹・花き病害)	平成30年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	30.3
	加藤 真城 中村 太紀	病害虫の防除	果樹指導要項	30.3
	加藤 真城	防除指導資料(果樹・花き害虫)	平成30年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	30.3
	岩館 康哉	防除指導資料(畑作、土壌病害)	平成30年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	30.3
	佐々木 陽菜	防除指導資料(水稲病害、資材消毒、展着剤の利用)	平成30年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	30.3
	中野 央子	防除指導資料(水稲・畑作害虫、土壌害虫、鳥獣害防除)	平成30年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	30.3
	岩館康哉	防除指導資料(野菜病害)	平成30年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	30.3
	松橋 伊織	防除指導資料(野菜害虫)	平成30年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	30.3
	岩館 康哉 佐々木 陽菜	水稲、小麦、大豆の採種ほ基本防除体系(病害防除)	平成30年度主要農作物採種ほ病害虫基本防除体系	30.3
	中野 央子	水稲、小麦、大豆の採種ほ基本防除体系(虫害防除)	平成30年度主要農作物採種ほ病害虫基本防除体系	30.3
	岩館 康哉	ホップ病害虫防除要領	平成30年発行 ホップ栽培暦	30.3

部所・研究室名	執筆者 氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
病虫害防除部 病虫害防除課	高田 真	農薬安全使用指針	平成30年度岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	30.3
畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	高村 聡美 佐藤 真 高村 聡美	雑草防除(飼料作物) 牧草、飼料作物栽培技術指導資料	平成30年度岩手県農作物病虫害・雑草防除指針 平成30年度牧草飼料作物生産利用指針	30.3 30.3
	佐藤 真	ICTを活用した圃場管理システムの導入について	いわてコントラクター等利用推進協議会会報	30.3
県北農業研究所 園芸研究室	荻内 謙吾 他	春まきタマネギの指導資料	春まきタマネギ栽培マニュアル(暫定版)	30.1

## 9 図書資料収集・提供

項目	冊数・人数
総蔵書数	72,838 冊
平成29年度収集図書数	748 冊
学会誌	35 冊
資料	89 冊
研究報告	149 冊
気象	6 冊
記録誌	0 冊
国関係刊行物	0 冊
社団法人	2 冊
財団法人	8 冊
図鑑	0 冊
総記	2 冊
単行本	1 冊
定期	0 冊
統計	5 冊
図書	6 冊
洋雑誌	1 冊
CD-ROM	9 冊
雑誌	435 冊
図書室利用者数(延べ)	138 名
同貸し出し冊数	362 冊

※数値はいずれもセンター本部のみ(2018/3/31現在)

## 10 ホームページ

項目	件数	内 訳	
入力件数	研究レポート	2	平成29年度発行分(No.874~875)
	試験研究成果	2	平成29年度試験研究成果書(タイムリーな試験研究成果)
	研究報告類	7	農業研究センター研究報告 第16号
	らぼ・れたあ	79	No. 1~79(研究トピックス)
	行事予定	3	参観デー、一日子供農業研究員、先端プロ成果発表セミナー
	各種資料	46	平成28年度業務年報、高精度直播機新型作溝装置装着マニュアル
	農業科学博物館	4	企画展第72~75回開催案内
	その他	13	月別アクセス状況、平成29年度組織体制
アクセス件数	トップページ	27,322	平成29年度分
	総ページビュー	4,526,097	平成29年度分



## V 指導・啓発活動





## V 指導・啓発活動

### 1 技術伝達研修等への対応

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
農業研究センター主催				
プロジェクト推進室 企画管理部 農業経営研究室 技術部 野菜花き研究室 県北農業研究所 園芸研究室	29.6.21	北上市 (農業研究センター) 花巻市太田 (現地実証圃場)	平成29年度春まきタマネギ現地セミナー(経営体強化プロ) 「春まきタマネギ」の生産を巡る状況や実施中のプロジェクトについて広く紹介 (1) 水田を活用した春まきタマネギの栽培について 農業研究センター県北農業研究所 横田 啓 (2) JA全農いわてにおける春まきタマネギ普及に向けた取り組み 全国農業協同組合連合会岩手県本部 高橋 泰 (3) 花巻地域におけるタマネギ栽培の取り組み 花巻農業協同組合営農販売課 高橋 真也 (4) 現地実証経営体 生産圃場見学 春まきタマネギの生育、試験実施状況について見学	89名
技術部 野菜花き研究室	29.11.9～11	東京都	平成29年度(第56回)農林水産祭「実りのフェスティバル」 ・「都道府県技術・経営普及展コーナー」において、先端プロ事業の成果についてパネル、実物などで紹介	1名
技術部 果樹研究室 野菜花き研究室	29.11.30	宮城県仙台市	「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」研究成果発表会 ・果樹・野菜の生産技術・加工品開発による高付加価値化で復興を後押し!	150名
企画管理部 研究企画室 技術部 果樹研究室 野菜花き研究室 南部園芸研究室	30.1.12	盛岡市	先端プロで収益アップ!!セミナー ・「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」研究成果発表会	150名
【新技術・普及活動検討会】(中央農業改良普及センター主催)				
畜産研究所 家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室 種山畜産研究室	30.1.24	滝沢市 (畜産研究所)	平成29年度新技術・普及活動検討会(畜産)	31名
プロジェクト推進室 企画管理部 農業経営研究室 技術部 作物研究室 環境部 生産環境研究室 病理昆虫研究室 県北農業研究所 作物研究室	30.1.24	北上市 (農業研究センター)	平成29年度新技術・普及活動検討会(作物部門)	34名
企画管理部 農業経営研究室 技術部 野菜花き研究室 環境部 病理昆虫研究室 病害虫防除部 病害虫防除課 県北農業研究所 園芸研究室	30.1.23	北上市 (農業研究センター)	平成29年度新技術・普及活動検討会(花き)	30名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
<b>【新技術・普及活動検討会】(続き)</b>				
企画管理部 農業経営研究室 技術部 果樹研究室 環境部 病理昆虫研究室 病害虫防除部 病害虫防除課	30.1.25～26	北上市 (農業研究センター)	平成29年度新技術・普及活動検討会(果樹)	27名
企画管理部 農業経営研究室 技術部 野菜花き研究室 南部園芸研究室 環境部 病理昆虫研究室 県北農業研究所 園芸研究室	30.1.22	北上市 (農業研究センター)	平成29年度新技術・普及活動検討会(野菜)	36名
企画管理部 農業経営研究室	30.2.15	北上市 (農業研究センター)	平成29年度新技術・普及活動検討会(経営)	13名
<b>【普及指導員専門技術研修】(中央農業改良普及センター主催)</b>				
企画管理部 農業経営研究室	30.2.5	北上市 (農業研究センター)	普及指導員手法高度化研修Ⅲ	6名
技術部 果樹研究室	29.5.21～25 29.6.12～16 29.9.26～29 29.10.17～20 29.12.12～15  29.6.15 29.12.14	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹)  スペシャリスト養成研修(核果類)	3名  1名
作物研究室	29.6.20～22  29.8.28～30  29.10.12～13  29.11.15～16  29.6.6 29.7.20 29.8.8	北上市 (農業研究センター)  北上市 (農業研究センター)  北上市 (農業研究センター)  北上市 (農業研究センター)  北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ)  普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅱ)  普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅲ)  普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅳ)  スペシャリスト養成研修(種子生産)	3名  3名  3名  3名  1名
野菜花き研究室	29.5.22  29.5.24～25  29.6.28  29.7.5～6	北上市 (農業研究センター)  北上市 (農業研究センター)  北上市 (農業研究センター)  北上市 (農業研究センター)	普及指導員調査研究専門部会第1回ゼミ ・施設内環境と植物の成長と発育について  普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅰ期)  普及指導員調査研究専門部会第2回ゼミ ・「野菜栽培ハウスにおける環境モニタリング手法とデータの活用方法の検討」  普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅱ期)	11名  3名  11名  3名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
<b>【普及指導員専門技術研修】(続き)</b>				
野菜花き研究室	29.7.18	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(環境モニタリング) (普及指導員調査研究専門部会第3回ゼミ) ・「施設内環境の計測の重要性と計測方法」 ・計測器としてUECS-PIの製作①	11名
	29.8.3～4	北上市 (農業研究センター)	普及指導員調査研究専門部会第4回ゼミ ・計測器としてUECS-PIの製作②	11名
	29.9.5	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅳ期)	3名
	29.10.31	北上市 (農業研究センター)	普及指導員調査研究専門部会第5回ゼミ ・モニタリングデータを活用した環境改善手法について	11名
南部園芸研究室	29.6.7 29.9.8	陸前高田市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(いちご)	2名
	29.9.6	陸前高田市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅳ)	3名
<b>環境部</b>				
生産環境研究室	29.7.7	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜)	6名
	29.10.18	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹)	3名
	29.10.18	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(果樹)	1名
病理昆虫研究室	29.9.28	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹)	1名
<b>病害虫防除部</b>				
病害虫防除課	29.9.28	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基礎研修(果樹Ⅲ)、 スペシャリスト研修(果樹:土壌・病害虫Ⅰ)	4名
<b>畜産研究所</b>				
家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室	29.7.24～28	滝沢市、盛岡市 (畜産研究所)	普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅰ)	5名
家畜飼養・飼料研究室	29.10.3	滝沢市、盛岡市 (畜産研究所)	スペシャリスト養成研修(飼料作物)	2名
種山畜産研究室	29.10.4	住田町 (種山畜産研究室)	普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅱ)	5名

## 2 現地指導・研修会等への講師派遣

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>プロジェクト推進室</b>				
小原あつ子	平成29年度花巻市稲作低コスト低減技術現地研修会	29.6.29	中央農業改普及センター地域普及グループ	農研センター
寺田道一	平成29年度北上市印作低コスト低減技術現地研修会	29.7.3	中央農業改普及センター地域普及グループ	農研センター
小原あつ子	平成29年度八幡平低コスト稲作研究会第1回研修会	29.7.11	八幡平低コスト稲作研究会	八幡平市
小原あつ子	東北農業試験研究推進会議生産環境推進部会 土壌肥料研究会(夏期)	29.7.13	農研機構 東北農業研究センター	花巻市
及川光史	平成29年度 岩手県大豆研修会	29.12.14	岩手県農業再生協議会	農研センター
高橋昭喜 及川光史	平成29年度 農業機械開発改良試験研究打合せ 会議水田作・畑作分科会(高機動畦畔草刈機・大豆難防除雑草防除)	30.3.9	農研機構 革新工学技術研究センター	さいたま市
<b>企画管理部</b>				
<b>農業経営研究室</b>				
及川 浩一	平成29年度第1回いわてリーディング経営体育成 支援事業経営発展計画審査会	29.6.8	農業振興課	盛岡市
及川 浩一	水田への土地利用型野菜導入推進に係る研修会	29.6.21	農産園芸課	農研センター
及川 浩一	平成29年度第1回いわての野菜産地戦略企画部 会	29.8.28	農産園芸課	矢巾町
及川 浩一	平成29年度土地改良事業営農推進対策委員会・ 幹事会合同現地検討会	29.8.30	農村計画課	二戸市 軽米町
及川 浩一	岩手県版農業生産工程管理(GAP) 審査委員会 (第1回)	29.9.25	農業普及技術課	盛岡市
及川 浩一	平成29年度GAP普及・拡大に係る担当者会議(第 2回)	29.10.6	農業普及技術課	盛岡市
及川 浩一	平成29年度第2回いわてリーディング経営体育成 支援事業経営発展計画審査会	29.11.1	農業振興課	盛岡市
及川 浩一	平成29年度第2回いわての野菜産地戦略企画部 会	29.11.15	農産園芸課	矢巾町
及川 浩一	平成29年度第2回生産技術体系・営農類型策定 ワーキングチーム会議	29.12.15	農業振興課	盛岡市
及川 浩一	特産農作物生産振興共進会(ホップ部門) 審査委 員会	29.12.25	農産園芸課	農研センター
及川 浩一	特産農作物生産振興共進会(ホップ部門) 表彰式	30.2.2	農産園芸課	盛岡市
及川 浩一	平成29年度GAP普及・拡大に係る担当者会議(第 3回)	30.2.15	農業普及技術課	農研センター
及川 浩一	平成29年度第3回いわての野菜産地戦略企画部 会	30.2.15	農産園芸課	矢巾町
及川 浩一	特産農作物生産振興共進会(タバコ部門) 審査委 員会	30.3.20	農産園芸課	盛岡市
及川 浩一	岩手県園芸産地改革戦略推進会議	30.3.22	農産園芸課	盛岡市
及川 浩一	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会	30.3.23	陸前高田市	陸前高田市(総合営 農指導センター)
前山 薫	平成29年度第1回担い手対策担当者会議	29.4.21	農業振興課	農研センター
前山 薫	平成29年度第1回農地中間管理事業推進会議	29.4.26	農業振興課	奥州市
前山 薫	平成29年度第1回中山間地域対策担当者会議	29.5.12	農業振興課	盛岡市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>農業経営研究室</b>				
前山 薫	平成29年度GAP普及・拡大に係る担当者会議(第1回)	29.5.19	農業普及技術課	農研センター
前山 薫	平成29年度第1回生産技術体系・営農類型策定ワーキングチーム会議	29.7.11	農業振興課	盛岡市
前山 薫	平成29年度岩手県農業農村整備事業地区担い手育成協議会	29.10.31	農村建設課	盛岡市
前山 薫	平成29年度第2回生産技術体系・営農類型策定ワーキングチーム会議	29.12.15	農業振興課	盛岡市
前山 薫	平成29年度第2回稲作生産コスト低減研修会	30.2.8	県産米戦略室(農産園芸課)	農研センター
前山 薫	担い手担当者会議・技術体系作成に係る説明会	30.2.13	農業振興課	農研センター
前山 薫	土地利用型農業技術講習会	30.3.12	全農全国本部	東京都(全農全国本部)
吉田 徳子	平成29年度第1回生産技術体系・営農類型策定ワーキングチーム会議	29.7.11	農業振興課	盛岡市
吉田 徳子	平成29年度第2回生産技術体系・営農類型策定ワーキングチーム会議	29.12.15	農業振興課	盛岡市
吉田 徳子	担い手担当者会議・技術体系作成に係る説明会	30.2.13	農業振興課	農研センター
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第2回WG会議	29.5.17	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第3回WG会議	29.6.23	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第4回WG会議	29.7.24	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第5回WG会議	29.8.28	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第6回WG会議	29.9.28	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第7回WG会議	29.10.27	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第8回WG会議	29.11.27	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第10回WG会議	30.1.25	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第11回WG会議	30.2.27	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会幹事会	30.3.16	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
<b>技術部</b>				
<b>果樹研究室</b>				
佐々木 真人 大野 浩 浅川 知則 西田 絵梨香 柳本 麻衣	純情りんごコンテスト審査(1期)	29.10.19	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
佐々木 真人 大野 浩 浅川 知則 西田 絵梨香 柳本 麻衣	純情りんごコンテスト審査(2期)	29.11.21～ 22	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
浅川 知則	農業大学校 講師(作物増殖・果樹)	29.11.13	岩手県立農業大学校	金ケ崎町
大野 浩 浅川 知則 柳本 麻衣	りんご病害虫防除セミナー 先端プロ成果「りんご早期成園化技術」、「ぶどう垣根栽培」、「ゆずの新商品開発」等	30.2.21	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>果樹研究室</b>				
佐々木 真人	みちのくポタ果樹フォーラム 「岩手のりんご栽培の現状、試験研究の取り組み」	29.6.21 29.6.23 29.12.7	株式会社みちのくポタ	盛岡市(みちのくポタ盛岡店) 二戸市(〃 二戸店) 奥州市(〃 水沢店)
佐々木 真人	平成29年度全国果樹種苗研修会	29.10.3～4	(一社)日本果樹種苗協会	北上市 (ホテルシティプラザ北上) (農研センター)
大野 浩	JAいわて花巻 りんご生産者のつどい	30.2.19	花巻市農業協同組合	花巻市 (渡り温泉)
<b>作物研究室</b>				
渡辺 芳幸 小田中 温美 永富 巨人	第1回銀河のしずく栽培研究会担当者会議	29.6.1	県産米戦略室	北上市 (農業研究センター)
渡辺 芳幸 小田中 温美 永富 巨人	第1回金色の風栽培研究会担当者会議	29.6.1	県産米戦略室	北上市 (農業研究センター)
関村 真梨歩	平成29年度岩手県産麦栽培研修会	29.6.7	岩手県農業再生協議会	北上市 (農業研究センター)
渡辺 芳幸 小田中 温美 永富 巨人	第1回 岩手県銀河のしずく栽培研究会	29.6.12	県産米戦略室	北上市 (農業研究センター)
渡辺 芳幸 小田中 温美 永富 巨人	第1回 岩手県金色の風栽培研究会	29.6.13	県産米戦略室	奥州市 (奥州地区合同庁舎)
尾形 茂	平成29年度東北六県主要農作物原種・原原種生産に係わる情報交換会	29.7.27～28	—	北上市 (農業研究センター)
小田中 温美	いわての美味しいお米生産・販売戦略推進会議PJチーム会議	29.8.2	県産米戦略室	盛岡市 (県庁)
渡辺 芳幸 小田中 温美	サイエンスシンポジウム対応(金色の風試食含む)	29.7.17	いわてサイエンスシンポジウム 2017実行委員会 (化学ILC推進室)	盛岡市 (いわて県民情報交流センター アイーナ)
小田中 温美 関村 真梨歩	平成29年度第1回岩手県麦民間流通地方連絡協議会	29.7.26	全農岩手県本部	盛岡市 (産ビル)
齋藤 智子	平成29年度東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会 畑作物栽培研究会(夏季)	29.8.22～23	農研機構 東北農業研究センター	北上市 (農業研究センター)
渡辺 芳幸 小田中 温美 永富 巨人	「銀河のしずく」産地交流会	29.7.12	県産米戦略室	紫波町 (盛岡南ショッピングセンターNACS)
渡辺 芳幸 小田中 温美 永富 巨人	「金色の風」シンポジウム	29.7.19	県産米戦略室	奥州市 (プラザイン水沢)
太田裕貴	水稻品種「金色の風」ワークショップ	29.8.28	奥州農業改良普及センター	奥州市 (プラザイン水沢)
小田中 温美 永富 巨人	岩手県金色の風栽培研究会 役員会	29.9.4	県産米戦略室	一関市 (JA平泉西部営農振興センター)
渡辺 芳幸 小田中 温美 永富 巨人	第3回岩手県金色の風栽培研究会	29.9.14	県産米戦略室	北上市 (農業研究センター)
渡辺 芳幸 小田中 温美 永富 巨人	第3回岩手県銀河のしずく栽培研究会・役員会	29.9.13	県産米戦略室	北上市 (農業研究センター)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>作物研究室</b>				
小田中 温美	国内産農産物銘柄設定等に係る意見聴取会	29.12.11	東北農政局	盛岡市 (東北農政局岩手 県拠点)
齋藤 智子	大豆晩播狭畦密植現地試験報告会	29.12.21	東北農業研究センター	紫波町
小田中 温美 永富 巨人	第4回金色の風栽培研究会・役員会	29.12.19	県産米戦略室	奥州市 (JA岩手ふるさと)
渡辺 芳幸 小田中 温美 永富 巨人	第4回岩手県銀河のしずく栽培研究会	29.12.22	県産米戦略室	北上市 (農業研究セン ター)
小館 琢磨	先端プロ成果発表会(先端技術で収益力アップセ ミナー)	30.1.12	—	盛岡市 (いわて県民情報交 流センター アイ ーナ)
小田中 温美	いわての美味しいお米生産・販売戦略推進会議P Jチーム会議	30.1.17	県産米戦略室	盛岡市 (県庁)
尾形 茂	平成29年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養 成研修	30.1.23	岩手県	滝沢市 (産業文化セン ター)
尾形 茂	農薬適正販売研修会	30.1.26	岩手県農薬卸商業協同組合	盛岡八幡宮参集殿
尾形 茂	種子生産者全体研修会	30.2.6	岩手県種子生産部会協議会 岩手県農産物改良種苗セン	花巻市 (志度平温泉)
小田中 温美 永富 巨人	「金色の風」「銀河のしずく」モデル圃場等成績検 討会	29.11.22	県産米戦略室	北上市 (農業研究セン ター)
小田中 温美 永富 巨人	「金色の風」「銀河のしずく」栽培研究会担当者会 議	30.2.15	県産米戦略室	北上市 (農業研究セン ター)
小館 琢磨	先端プロ試験成績報告会	30.3.5	—	陸前高田市 (農事組合法人・広 田半島 事務所)
小館 琢磨	産学連携セミナー「地域創造をめざすチャレン ジャーの取り組みと多様な研究シーズの出会い」	30.3.27	東北地域農林水産・食品ハイ テク研究会	盛岡市 (東北農業研究セン ター)
<b>野菜花き研究室</b>				
<b>(野菜チーム)</b>				
藤尾 拓也	いわて平泉環境制御研究会設立総会	29.5.2	いわて平泉環境制御研究会	一関市
松浦 拓也 藤尾 拓也	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部 会 果菜類研修会 環境制御技術 ・ 施設内環境と植物の成長と発育について	29.5.22	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市
藤尾 拓也	環境モニタリング・制御現地指導 ・ モニタリング機器(UECS-PI)の設置支援	29.6.6	一戸町夢ファーム	一戸町
藤尾 拓也	環境モニタリング・制御現地指導 ・ モニタリング機器のweb設定指導 ・ 多段階飽差制御(ミスト)システムの設置支援	29.6.13	盛岡農業改良普及センター プランソテクニカ	盛岡市
吉田 泰	トマトの栽培指導会 ソバージュ栽培法について	29.6.21	JAいわて花巻	釜石市、大槌町
藤尾 拓也	環境モニタリング・制御現地指導 ・ 環境制御装置導入支援他	29.7.19	賢治の大地 いわて若江農園	盛岡市
藤尾 拓也	環境モニタリング・制御現地指導 ・ モニタリング装置の管理指導他	29.7.20	一戸町夢ファーム	一戸町
吉田 泰	ミニトマト栽培指導会 ソバージュ栽培指導法について	29.8.22	JAいわて中央	盛岡市
藤尾 拓也	環境モニタリング・制御現地指導 ・ 環境制御装置導入支援他	29.9.7	賢治の大地	盛岡市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>(野菜チーム)</b>				
藤尾 拓也	環境モニタリング・制御現地指導 ・ CO2発生装置装置導入を受け、UECS-PIでの 制御設定指導	29.9.12	一戸町夢ファーム	一戸町
藤尾 拓也	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部 会 トマト現地研修会 ・ トマトの高収益生産を実現する施設環境制御 技術について	29.9.21	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市
藤尾 拓也	環境モニタリング・制御現地指導 ・ 環境制御装置導入支援他	29.10.10	賢治の大地	盛岡市
藤尾 拓也	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部 会 環境制御技術研修会 ・ モニタリングデータを活用した環境改善手法を 検討	29.10.31	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市
田代 勇樹	園芸産地改革ネットワークきゅうり部会 フケ果対策会議	29.11.2	JA全農いわて	矢巾町
藤尾 拓也	トマトセミナー	29.11.14		陸前高田市
吉田 泰	遠野市農業振興大会 露地トマトのソバージュ栽培法について	29.11.28	遠野市	遠野市
藤尾 拓也 吉田 泰	施設野菜生産高度化研修会 「モニタリングデータから見る技術の改善点」	29.12.12	農産園芸課	北上市 (農研センター)
藤尾 拓也	話題の環境制御技術を学ぼう！ICT革新セミナー ～基礎から学ぶ環境制御技術～ 「多収を実現する環境制御の考え方について」	29.12.20	農産園芸課	北上市 (農研センター)
藤尾 拓也	近畿中国四国農業試験研究推進会議・野菜推進 部会	30.1.24	近畿中国四国農業試験研究 推進会議	広島県福山市
藤尾 拓也	園芸ICT勉強会	30.2.8	いわて平泉環境制御研究会	一関市
藤尾 拓也	園芸産地改革ネットワークトマト部会 ういづOne研修会	30.2.14	JA全農いわて	矢巾町
田代 勇樹 吉田 泰	一番星育成事業研修会 「かん水同時施肥技術を用いた露地きゅうり栽培 の収量向上事例」	30.2.14	農産園芸課	北上市 (農研センター)
藤尾 拓也	大玉トマト研修会	30.2.15	JAいわて花巻	北上市
<b>(花きチーム)</b>				
川村 浩美 輪達 公重 阿部 弘 小田島 雅	りんどう採種技術検討会	29.5.18	(公社)岩手県農産物改良種 苗センター	金ヶ崎町 (採種ほ場)
川村 浩美 輪達 公重 阿部 弘 小澤 傑	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部 会りんどう検討会	29.7.28	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市、花巻市
渡辺 芳幸 川村 浩美	いわてフラワーコンテスト2017審査会	29.9.8	全農岩手県本部、農産園芸 課	北上市 (農研センター)
輪達 公重 小田島 雅	二戸地域りんどう新品種視察研修会	29.9.21	二戸地方農林水産振興協議 会	北上市、花巻市
輪達 公重 阿部 弘 小田島 雅	奥州地域りんどう県育成新品種現地見学会	29.9.25	奥州農業改良普及センター	奥州市



担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>(花きチーム)</b>				
川村 浩美 輪達 公重 小田島 雅 小澤 傑	岩手県園芸育種研究会りんどう部会	29.10.13	農産園芸課	北上市 (農研センター)
川村 浩美	農業大学校 講師(作物増殖・花き)	29.11.13	農業大学校	金ヶ崎町
川村 浩美	いわて花き生産者の集い 「岩手県オリジナル新品種の特性」	29.12.1	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
小田島 雅	花北地域りんどう若手生産者研修会 「りんどう新品種育成等について」	30.2.16	中央農業改良普及センター 地域普及グループ	北上市 (農研センター)
阿部 弘	総合的な学習の時間(5年生) 「二子いも」のルーツを考えてみよう	29.6.22	二子小学校	北上市
阿部 弘	いもっこフェスティバル	29.11.1	二子小学校	北上市
<b>南部園芸研究室</b>				
太田 祐樹	岩泉町イチゴ施設栽培に関する打合せ	29.6.7	宮古農業改良普及センター	岩泉町
有馬 宏 太田 祐樹	東北農業青年クラブ現地研修会	29.11.2	中央農業改良普及センター (県域)	陸前高田市
太田 祐樹	平成29年度農電現地研修会	29.11.16	東北電力	大船渡市
有馬 宏 千葉 彩香 太田 祐樹 鈴木 朋代	平成29年度農電施設見学会	29.11.17	東北電力	陸前高田市
有馬 宏	先端プロ成果発表会	30.1.17	東北農政局	仙台市
太田 祐樹 鈴木 朋代	夏イチゴ「2017年の作柄」検討会	30.1.17	なつあかり研究会	盛岡市
千葉 彩香	岩手県林業技術センター成果報告会	30.2.2	林業技術センター	盛岡市
<b>環境部</b>				
佐々木 裕二	環境保全型農業シンポジウム	29.12.14	農業普及技術課	北上市 (さくらホール)
<b>生産環境研究室</b>				
島 輝夫	北上4Hクラブ研修会	29.6.14	北上4Hクラブ	北上市 (農研センター)
島 輝夫	いわてアグリフロンティアスクール	29.6.21	岩手大学	盛岡市 (岩手大学)
島 輝夫	平成29年度土づくり施肥改善研修会(基礎)	29.11.14 29.11.17	農業普及技術課	奥州市江刺総合支 所 滝沢市(畜産研究)
島 輝夫	平成29年度土づくり施肥改善研修会(専門)	29.11.21	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
島 輝夫	平成29年度土壌診断処方箋作成研修会	29.11.30	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
菊地 淑子	第21回りんどう研究会	29.10.20	AFR りんどう研究会	盛岡市 (岩手大学)
桐山 直盛	第39回野菜肥料研究会・平成29年度土づくり研 究会(九州地区)	29.11.21-22	九州地区作物別肥料技術研 究会 全国農業協同組合連合会九 州営農資材事業所	熊本県熊本市 (ホテルメルパルク KUMAMOTO)
桐山 直盛	適正施肥および有機質資材の利用による生産コ スト削減に向けて(中間成果発表会)	29.11.24	農研機構 中央農業研究セン ター	東京都中央区 (AP東京)
桐山 直盛	ミニシンポジウム「肥料コスト低減のための現場対 応型迅速土壌診断手法確立とその普及」	29.11.30	鹿児島県農業開発総合セン ター	鹿児島県南さつま 市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>生産環境研究室</b>				
桐山 直盛	平成29年度飛騨トマト全体栽培研修会	29.12.5	飛騨野菜出荷組合	岐阜県高山市 (JAひだ)
小田島芽里	雲南省農業シンポジウム			中国雲南省
<b>病理昆虫研究室</b>				
大友 令史 岩館 康哉	平成29年度ホップ栽培講習会	29.4.10	大雄ホップ農協	秋田県横手市 大雄農業団地センター
岩館 康哉	キュウリホモプシス根腐病対策に係る緩衝能曲線作成研修	29.4.14	中央農業改良普及センター	農研センター病理実験室
大友 令史	平成29年度病害虫防除員等指導者研修会	29.6.2	病害虫防除所	農研センター会議室
加藤 真城	平成29年度第1回りんご病害虫防除研修会	29.6.13	全農岩手県本部	農研センター会議室
大友 令史	4Hクラブ研修会	29.6.14	北上4Hクラブ	農研センター会議室
大友 令史	平成29年度いわてアグリフロンティアスクール	29.6.27	岩手大学農学部地域連携推進室	盛岡市 岩手大学
加藤 真城	いわてまちブルーベリー観光農園における園主研集会	29.6.30	岩手町農業改良推進協議会	岩手町
佐々木 裕二 大友 令史 松橋 伊織	生き物調査隊	29.7.1	(有)ピース	江刺区現地圃場
岩館 康哉	土づくり推進フォーラム	29.7.24	一般財団法人日本土壌協会	東京都 日比谷図書文化会館
加藤 真城	陸前高田市認定農業者の会視察研修	20.10.26	陸前高田市認定農業者の会	農研センター会議室
岩館 康哉	山形ホップ組合夏の研修会	29.7.25	山形ホップ組合	山形県東根市 徳良湖温泉
大友 令史	ホップ技術検討会	29.11.16	全国ホップ連合会	宮城県仙台市 メルパルク仙台
松橋 伊織 中村 太紀	平成29年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	29.11.16	岩手県植物防疫協会	花巻市 ホテル志戸平
加藤 真城	純情りんごコンテスト審査(2期)	29.11.21～ 22	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
中村 太紀	北上地域小菊若手生産者研修会	29.12.11	中央農業改良普及センター	農研センター会議室
岩館 康哉	平成29年度JA江刺野菜部会青年部プロジェクト実績検討会	29.12.22	JA江刺野菜部会	奥州市江刺区 ホテルニュー江刺
岩館 康哉	生態と防除研究会 第5回研究集会	29.12.18～ 19	生態と防除研究会	香川県高松市 サンポートホール高松
岩館 康哉	平成29年度JA江刺野菜部会青年部プロジェクト実績検討会	29.12.22	JA江刺野菜部会	奥州市江刺区 ホテルニュー江刺
岩館 康哉	なす小陥没症状対策実績検討会	29.12.27	中央農業改良普及センター	農研センター会議室

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>病理昆虫研究室</b>				
岩館 康哉	キュウリ栽培並びにキュウリホモブシス根腐病防除 対策研修会	30.1.10	奥州農業改良普及センター	紫波町 JAいわて中央
加藤 真城 中村 太紀	平成30年度一関地方りんご病害虫防除暦編集会 議	30.1.17	一関地方農林振興協議会	一関市 千厩分庁舎
松橋 伊織 中村 太紀	平成29年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養成 研修	30.1.18	農業普及技術課	農研センター会議 室
松橋 伊織 中村 太紀	平成29年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養成 研修	30.1.23	農業普及技術課	滝沢市 アピオ
岩館 康哉	ホップ栽培歴検討会	30.1.23～24	岩手県農業共済組合	盛岡市 繫温泉
中野 央子	農薬適正販売使用研修会	30.1.26	岩手県農薬卸商業協同組合	盛岡市 八幡宮参集殿
中野 央子 岩館 康哉	岩手農蚕100周年 農薬研修会	30.2.24	岩手農蚕株式会社	矢巾町 盛岡地区勤労者共 同福祉センター
岩館 康哉	秋田県ホップ栽培歴検討会	30.3.13	秋田県ホップ組合連絡協議 会	秋田県秋田市 ふきみ会館
<b>病害虫防除部</b>				
<b>病害虫防除課</b>				
佐藤 美和子	農薬管理使用アドバイザー更新研修	29.10.30	農業普及技術課	滝沢市
名久井 一樹	第1回りんご病害虫防除研修会	29.6.13	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
名久井 一樹	第2回りんご病害虫防除研修会	29.7.14	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
名久井 一樹	植物防疫関係者技術研修会	29.11.16	県植物防疫協会	花巻市
名久井 一樹	農薬管理使用アドバイザー更新研修	29.11.14	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
名久井 一樹	盛岡地方りんご病害虫防除対策検討会	29.12.21	盛岡地方農業農村振興協議 会	盛岡市
名久井 一樹	農薬管理使用アドバイザー養成研修	30.1.22	農業普及技術課	滝沢市 (アピオ)
名久井 一樹	江刺りんご農薬選定会議	30.1.31	JA江刺	江刺区
<b>畜産研究所</b>				
<b>家畜育種研究室</b>				
昆野 勝	家畜受精卵移植講習会	29.9.21,22, 27～29,10.2, 3,6,10	畜産課	滝沢村 (畜産研究所)
細川 泰子	家畜受精卵移植講習会	29.9.26～29, 10.2,3,6,10	畜産課	滝沢村 (畜産研究所)
熊谷 祐宏	家畜人工授精講習会	29.11.16	畜産課	農業大学校
昆野 勝	家畜人工授精講習会	29.11.10,13	畜産課	農業大学校
安田 潤平	家畜商講習会	28.12.19	流通課	盛岡市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>家畜育種研究室</b>				
安田 潤平	家畜飼養管理Ⅰ(産肉能力検定における肉用牛の飼養管理)	30.1.31	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
熊谷 祐宏	子牛市場ワンポイント講習会	29.12.7	全農岩手県本部	奥州市 (県南家畜市場)
安田 潤平	子牛市場ワンポイント講習会	29.13,14,15	全農岩手県本部	雫石町 (中央家畜市場)
安田 潤平	SGS給与試験現地検討会	30.3.12	新岩手農業協同組合 雫石牛肥育部会	雫石町
吉田 登	食品ビジネス学演習Ⅱ	29.6.27	日本大学生物資源科学部食 品ビジネス科	神奈川県藤沢市
<b>家畜飼養・飼料研究室</b>				
越川 志津	家畜人工授精講習会	29.11.6	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
伊藤 孝浩	農業大学校講義(家畜飼養管理Ⅰ(酪農):カウコンフォートのための飼養管理技術)	30.1.24	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
越川 志津	農業大学校講義(家畜飼養管理Ⅰ(酪農):牛群検定成績見方)	29.11.13	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
伊藤 孝浩	家畜人工授精講習会	29.11.7	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
伊藤 孝浩	家畜商協講習会	29.12.18	流通課	盛岡市
及川 修	飼料増産研修会	30.1.26	いわてコントラクター等利用推 進協議会	滝沢市
佐藤 真 越川 志津	酪農研修会	30.2.14	岩手県フリーストール・フリー バーン研究会	金ヶ崎町
<b>外山畜産研究室</b>				
大宮 元	家畜人工授精講習会	29.11.21	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
飯村 太一	農業大学校講義(本県の肉用牛放牧管理について)	29.12.21	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
<b>種山畜産研究室</b>				
澤田 建	平成29年度第1回いわて中央牛愛女子会講習会	29.6.5	いわて中央牛愛女子会	紫波町
熊谷 光洋	平成29年度岩手県獣医師会県南4支会合同研修	29.10.24	獣医師会県南4支会	金ヶ崎町
澤田 建	平成29年度いわて肉用牛若手・後継者技術研修会	29.11.30	いわて肉用牛躍進運動推進 協議会	盛岡市
澤田 建	平成29年度いわてくじ和牛改良組合研修会	29.12.15	いわてくじ和牛改良組合	久慈市
澤田 建	和牛改良組合衣川支部全体研修会	29.12.27	岩手ふるさと農業協同組合 和牛改良組合衣川支部	奥州市
澤田 建	平成29年度家畜繁殖技術講習会	30.1.24	岩手県家畜人工授精師協会	金ヶ崎町
羽田 雅紀	平成29年度和牛女性研修会	30.2.1	いわて和牛中央育種組合 県南和牛育種組合	花巻市
澤田 建	平成29年度岩手ふるさと農協和牛改良組合前沢支部総会記念講演会	30.2.16	JA岩手ふるさと和牛改良組合	奥州市
澤田 建	一関繁殖巡回検討会	30.3.26	一関農業改良普及センター	一関市
高畑 博志	家畜人工授精講習会	29.11.8, 22,30	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
澤田 建 羽田 雅紀	家畜人工授精講習会	29.11.28	畜産課	住田町(種山)
羽田 雅紀	家畜人工授精講習会	29.11.20, 30	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>種山畜産研究室</b>				
高畑 博志	農業大学校講義	29.8.31	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
高畑 博志	家畜人工授精担当者会議	30.3.8	岩手県畜産協会	盛岡市
澤田 建 小澤 さち	子牛市場ワンポイント講習会	29.3.7,8	全農岩手県本部	奥州市 (県南家畜市場)
高畑 博志 澤田 建 羽田 雅紀	子牛市場ワンポイント講習会	30.3.14~16	全農岩手県本部	雫石町 (中央家畜市場)
<b>県北農業研究所</b>				
<b>作物研究室</b>				
高草木 雅人	八幡平市雑穀栽培講習会	29.5.9	八幡平市寺田地区特産品生産組合	八幡平市寺田コミュニティーセンター
高草木雅人	プロ農夢花巻雑穀機械移植指導	29.5.30	プロ農夢花巻	花巻市
高草木雅人	一戸町雑穀栽培圃場巡回研修会	29.8.8	一戸町五穀の会	一戸町
高草木雅人	プロ農夢花巻雑穀機械移植指導	29.8.15	プロ農夢花巻	花巻市
高橋好範	雲南省農業シンポジウム	29.10.26	中国雲南省	中国雲南省
高草木雅人	八重畑地区雑穀振興協議会視察対応	29.11.2	八重畑地区雑穀振興協議会	県北研
高草木雅人	平成29年度二戸地方雑穀推進大会	30.1.18	二戸農林水産協議会	二戸市
下河原智	一戸町雑穀セミナー	30.1.20	一戸町五穀の会	一戸町
小野直毅	平成29年度薬用作物生産技術研修会	30.3.9	岩手町	岩手町
<b>園芸研究室</b>				
横田 啓	平成29年度スペシャリスト養成研修(野菜・春植えたまねぎⅠ期)	29.4.26	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	農業研究センター、 花巻市(現地圃場)
横田 啓	春まきたまねぎ栽培指導会	29.5.25	二戸青果生産組合	二戸市 (二戸青果市場)
横田 啓	平成29年度スペシャリスト養成研修(野菜・春植えたまねぎⅡ期)	29.7.19	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	県北農業研究所
横田 啓	岩手県植物防疫関係者技術研修会 (内容 春まきタマネギにおけるネギアザミウマ被)	29.11.16	岩手県植物防疫協会	花巻市
横田 啓	平成29年度春まきたまねぎ実績検討会	29.11.29	二戸農業改良普及センター	二戸市 (二戸青果市場)
横田 啓	平成29年度園芸産地改革ネットワーク第2回加工業務野菜【春植えタマネギ栽培研修会】	29.12.19	JA全農いわて	花巻市 (JAいわて花巻)
横田 啓	春まきたまねぎ栽培指導会	29.12.22	JAいわて中央	矢巾町 (JAいわて中央)
横田 啓	平成30年度春まきたまねぎ指導会	30.1.18	二戸農業改良普及センター	二戸市 (二戸青果市場)
長嶺 達也 熊谷 初美	平成29年度園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・全農産地改革ネットワーク合同「ほうれんそう計画検討会・現地研修会」	29.5.19	岩手県園芸産地改革戦略会議技術対策部会葉菜リーダー	JA新いわて八幡平 営農経済センター
長嶺 達也 横田 啓 熊谷 初美	平成29年度園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・全農産地改革ネットワーク合同「ほうれんそう実績検討会」	29.12.12	岩手県園芸産地改革戦略会議技術対策部会葉菜リーダー	全農いわて県北園芸センター

### 3 視察者、見学者の受け入れ状況

区 分	来所者数	参観デー来場者数	合計	備 考
本 部	1,368 人	1,500 人	2,868 人	・平成29年4月～平成30年3月
南部園芸研究室	491 人	人	491 人	
畜産研究所	265 人	800 人	1,065 人	
種山畜産研究室	275 人	人	275 人	
県北農業研究所	300 人	人	300 人	
計	2,699 人	2,300 人	4,999 人	

### 4 春季一般公開及び参観デー

名 称	開催期日	開催場 所	参集人員
春季一般公開	29.4.18～23	農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	126 名
参観デー(本部)	29.9.9	農業研究センター本部 農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	1,500 名
参観デー(畜産研究所)	29.8.24～26	岩手産業文化センター(アピオ)	800 名

### 5 技術セミナー等の開催

開催期日	開催場所	主な内容	参集人員	担当室・課
29.5.24	陸前高田市	イチゴ栽培セミナー	45名	南部園芸
29.7.7	畜産研究所	日本短角種の生産・流通の現状と生産振興に向けた試験研究の取組み(第40回岩手Farm to Table フォーラム研究会)	35名	家畜育種
29.8.30	陸前高田市	先端プロ現地セミナー	31名	南部園芸
29.9.11	陸前高田市	先端プロ野菜栽培セミナー(ブランド化果実等(野菜))	47名	野菜花き
29.9.26	陸前高田市	リンゴ・醸造ブドウ早期成園化セミナー((ブランド化果実等(果樹))	48名	果樹
29.11.14	陸前高田市	トマト栽培セミナー	31名	南部園芸
30.1.12	盛岡市	「先端技術で収益力アップ!!セミナー」先端プロ(岩手県農業)成果発表会	150名	研究企画
30.1.18	二戸市	平成29年度二戸地方雑穀推進大会	90名	作物(県北)
30.1.20	一戸町	一戸町雑穀セミナー	18名	作物(県北)
30.3.9	岩手町	平成29年度薬用作物生産技術研修会	55名	作物(県北)
30.3.13	岩手町	果樹栽培セミナー(ブランド化果実等(果樹))	22名	果樹

### 6 一日子供農業研究員

名 称	開催期日	内 容	参集人員
一日子供農業研究員 ～夏休み農業 研究体験～	29.8.4	小学5年生を対象とした研究体験 身近な自然にはどんな昆虫がいるかな? 昆虫標本を作ってみよう! ・昆虫採集 ・標本づくり 講師:環境部病理昆虫研究室 職員 病害虫防除部 職員	20名

## 7 農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者

項 目	主 な 内 容	開催年月日	参集人数	
農業科学博物館	入館者数	入館者総数(企画展、イベント、その他を含む来館者数)	7,476名	
		農業研究センター春季一般公開	29.4.18～23 (126名)	
		農業研究センター参観デー	29.9.9 (570名)	
	企画展	収蔵品を「企画テーマ」に合わせて年4回展示紹介		—
		第72回「昭和中期の畜力農機具」	29.4.9～6.30	
		第73回「『稲わら』ってすごい」	29.7.6～9.30	
		第74回「岩手の風土・食事情」	29.10.7～12.26	
	イベント	第75回「農家の暮らしと火」	30.1.11～3.28	
		「松飾り作り体験」	29.12.17	12名(6組)
	その他	「そばを作って食べてみよう！」	4回	8名(3組)
学校教育支援活動 34校(社会科実習、校外学習等の受入)		-	1,264名(34校)	
農業ふれあい公園 ゲートボール場	在宅高齢者支援活動(北上市在宅高齢者ふれあいデイサービス事業)	-	221名(8団体)	
		ゲートボール、グラウンドゴルフ	利用期間 4月～11月 7,678名 (305件)	
農業ふれあい公園 加工工房	加工試作	そば打ち体験	29.11.5 8名	

## 8 研修生の受け入れ

### (1) 海外研修

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(パキスタン国シンド州持続的畜産開発プロジェクト) 5名	パキスタン国シンド州	岩手県の農業試験研究に関する技術・知識の習得	家畜飼養・飼料研究室	29.9.13

### (2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修)

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(なし)				

### (3) 短期研修生

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
三浦 靖夫	岩手県農業共済組合	水稻の栽培管理及び調査方法を修得する	作物研究室	29.7.11～13 29.9.26～28 29.11.7～9

### (4) 体験学習の受け入れ

ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
北上市立飯豊中学校 2年生	職場体験学習	2	研究企画室	29.10.2～3
盛岡市立米内小学校 4年生	山菜の採取、加工及び販売の体験学習(うち採取)	20	外山畜産研究室	29.5.25
滝沢市立滝沢第二中学校2年	職場体験学習	4	家畜飼養・飼料研究室	29.7.5
滝沢市立柳沢中学校2年	職場体験学習	1	家畜飼養・飼料研究室	29.9.6
軽米中学校2年	試験研究農作業・調査体験	2	県北農業研究所	29.9.15～22
軽米町立晴山保育園	サツマイモ作り体験(苗定植)	40	県北農業研究所	29.6.7

イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
岩手大学農学部農業生命科学課程 3年	農業研究センターの研究概要(耐冷性検定圃場など)	29	作物研究室 果樹研究室 野菜花き研究室	29.7.6
岩谷堂高等学校 1年生	職場見学	40	研究企画室 プロジェクト推進室 農業科学博物館	29.8.29



所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
花巻農業高等学校 1年生	職場体験研修	1	研究企画室 作物研究室	29.9.26～28
一関工業高等専門学校 5年生	職場体験研修	1	作物研究室	29.9.26～28
岩手県立農業大学校生	農業研究センター内の野菜に関する試験実施内容(先端プロ、環境制御技術)について	35	南部園芸研究室	29.10.20
大船渡東高校農芸科学科 1年	畜産業と種山畜産研究室の仕事	21	種山畜産研究室	29.10.16
遠野緑峰高校生産技術科生産科学コース2年作物・畜産研究班	和牛の採精、基幹種雄牛になるまでの検定等について	8	種山畜産研究室	29.12.14
水沢農業高等学校農業科学科2年畜産コース	黒毛和種種雄牛造成について	5	種山畜産研究室	30.3.19
岩手県農林水産部新採用職員	職場見学	71	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	29.6.1
岩手大学農学部動物科学科生物産業科学コース 3年	畜産研究所における研究概要	36	家畜飼養・飼料研究室	29.6.29
県立農業大学校畜産学科 1年事例視察研修	畜産研究所の牛に係る研究概要	12	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	29.7.6
岩手大学農学部・東京農工大学農学部共同獣医学科 1年	畜産研究所における研究概要と乳牛・肉牛管理の見学	74	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	29.9.20
日本大学生物資源科学部	畜産研究所における研究概要	11	外山畜産研究室 家畜育種研究室	29.10.3
岩手大学農学部動物科学科 2年	畜産研究所における研究概要と乳牛・肉牛管理の見学	31	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	29.10.5
岩手大学農学部共同獣医学科 5年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産について	29	種山畜産研究室	29.5.24
岩手大学農学部動物科学課程 4年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産について	3	種山畜産研究室	29.7.11
岩手県立農業大学校畜産学科 1年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産について	12	種山畜産研究室	29.8.21

ウ インターンシップ等に対応したもの

氏名	所属	研修内容	受入研究室等	期日
(新規就農者23名)	農業大学校	新規就農者研修	果樹研究室 作物研究室 野菜花き研究室 他	29.6.22
(新採用職員42名)	岩手県農林水産部	農林水産部新採用職員研修	作物研究室 病理昆虫研究室 他	29.6.1
(岩手県職員採用内定者)	岩手県	採用内定者職場実習	作物研究室 病虫害防除部 他	29.11.17
三宅 孝平	一関工業高等専門学校	・農業研究センターの業務概要 ・水稻や花き、果樹の育種について ・土壌の分析方法について 他	野菜花き研究室 果樹研究室 病理昆虫研究室 生産環境研究室 作物研究室	29.9.20～9.22 29.9.26～9.29

氏名	所属	研修内容	受入研究室等	期日
瀧田 耀平	岩手大学農学部農学生命課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果樹、野菜、水稲の害虫について</li> <li>・発生予察について</li> <li>・土壌環境と作物生育について</li> </ul>	病理昆虫研究室 生産環境研究室	29.8.21～24
若山 風美香	北里大学生物環境科学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果樹、野菜、水稲の害虫について</li> <li>・発生予察について</li> <li>・土壌環境と作物生育について</li> </ul>	病理昆虫研究室 生産環境研究室	29.8.21～24
小山 裕子	岩手県立大学総合政策学部3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産研究所の業務概要</li> <li>・肉牛関連試験研究について</li> <li>・放牧関係試験研究について</li> <li>・乳牛関係試験研究について</li> </ul>	家畜育種研究室 外山畜産研究室 家畜飼養飼料研究室	29.9.11 29.9.12 29.9.13
大久保 咲	軽米高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県北農業研究所の業務概要</li> <li>・試験研究農作業・調査体験</li> </ul>	県北農業研究所	29.7.26～28
畑中 有香子	九戸村山根小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県北農業研究所の業務概要</li> <li>・試験研究農作業・調査体験</li> </ul>	県北農業研究所	29.8.8

## 9 協議会、委員会等委員

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
岩手県研究開発推進連絡会議	委員	所長	政策地域部科学ILC推進室
岩手県農業技術開発会議	構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員	所長 副所長 企画管理部長 技術部長 環境部長 病虫害防除部長 畜産研究所長 県北農業研究所長	農業普及技術課
岩手県バイオテクノロジー研究調整会議	委員	所長	農林水産企画室
岩手県農業農村指導士選考委員会	選考委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業気象協議会	委員 委員 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	技術部長 病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 果樹研究室長 作物研究室長(技術部) 野菜花き研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 作物研究室長(県北研) 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	農業普及技術課
岩手県農薬管理使用アドバイザー認定委員会	副会長 委員	病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 環境部長	農業普及技術課
放射性物質の農作物等への影響に係る 生産管理指導対策会議	構成員	環境部長 畜産研究所次長	農業普及技術課
特別栽培農産物に係る慣行レベル検討会議	構成員	プロジェクト推進室長 果樹研究室長 作物研究室長(技術部) 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 病理昆虫研究室長 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長) 次長兼園芸研究室長(県 北研) 作物研究室長(県北研)	農業普及技術課
岩手県農業共済保険審査委員会	委員	技術部長	団体指導課
いわて純情米需要拡大推進協議会	幹事	技術部長	県産米戦略室
いわての大豆普及推進協議会	委員	技術部長	流通課
土地改良事業営農推進対策委員会	副委員長 委員 委員 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事	企画管理部長 技術部長 県北農業研究所長 農業経営研究室長 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長(県 北研)	農村計画課

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
岩手県農業農村整備事業地区 担い手育成協議会	委員	農業経営研究室経営 チーム長	農村建設課
農作物奨励品種検討会議	構成員	所長	農産園芸課
岩手県特産農産物生産振興共進会	審査委員長 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 農業経営研究室長 次長兼園芸研究室長(県 北研)	農産園芸課
岩手県農業機械士認定委員会	委員	技術部長	農産園芸課
岩手県農業機械士技能検定	技能検定員 技能検定員	プロジェクト推進室長 主任技能員、技能員 (プロジェクト推進室、 技術部、環境部)	農産園芸課
岩手県麦・大豆等産地体制確立推進協議会 同 事務局員	委員 事務局員	技術部長 作物研究室長(技術部)	農産園芸課
岩手県特産農作物生産振興共進会審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 病理昆虫研究室 農業経営研究室長 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
稲作生産コスト低減推進会議	委員 幹事	企画管理部長 農業経営研究室長	農産園芸課
麦・大豆収益性向上対策チーム	構成員 構成員	プロジェクト推進室長 作物研究室長(技術部)	農産園芸課
岩手県園芸産地改革戦略推進会議	委員 委員	農業経営研究室長 野菜花き研究室長	農産園芸課
いわてリーディング経営体育成支援事業等経営発 展計画選定委員会	審査委員	農業経営研究室長	農業振興課
生産技術体系・当農類型策定ワーキングチーム	副チーム長 チーム員	農業経営研究室長 農業経営研究室経営 チーム長	農業振興課
農業担い手対策等課題解決チーム	チーム員	農業経営研究室経営 チーム長	農業振興課
岩手県農業経営力向上支援連絡会議	構成員	農業経営研究室長	農業振興課
(公財)岩手生物工学研究センター評議会	評議員	所長	(公財)岩手生物工学研究センター
花北地方農業農村振興連絡協議会 (花巻地域希望農業技術サポート会議を兼ねる)	構成員	企画管理部長	県南広域振興局農政部 花巻農林振興センター
大船渡地方農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター
中央環境審議会土壌農薬部会農薬小委員会	専門委員	病害虫防除部長	環境省 水・大気環境局
東北土地利用型作物安定生産推進協議会	構成員	作物研究室長(技術部)	東北農政局
北上市みどりのまちづくり審議会	委員	企画管理部長	北上市
大船渡地方農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	大船渡農業改良普及センター
大船渡地方農林水産振興連絡協議会	構成員	南部園芸研究室長	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター
陸前高田市総合農政推進協議会	委員	南部園芸研究室長	陸前高田市
住田町農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	住田町
気仙地域木質バイオマスエネルギー利用促進会 議	構成員	南部園芸研究室長	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター
陸前高田市大規模園芸施設運営協議会	委員 委員	農業経営研究室長 南部園芸研究室長	陸前高田市
東北農業試験研究協議会	理事	所長	(独)農研機構・東北農業研究センター
東北農業経済学会	評議員	農業経営研究室長	東北大学農学部
園芸学会東北支部	評議員	野菜花き研究室長	岩手大学農学部
東北畜産学会	評議員	畜産研究所長、次長	東北大学農学部

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手農林研究協議会 (AFR)	副会長(委員) 幹事	所長 技術部長	岩手大学農学部
日本農業賞岩手県代表選考審査委員	委員長	所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県施肥合理化協議会	参与 参与 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	環境部長 畜産研究所長 プロジェクト推進室長 果樹研究室長 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長(県北研)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわて純情りんごコンテスト	審査委員長 審査員 審査員 審査員	技術部長 果樹研究室長 研究室員 (果樹研究室) 病理昆虫研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわてフラワーコンテスト	審査委員長 審査委員	技術部長 野菜花き研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県麦民間流通地方協議会	構成員	作物研究室長(技術部)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県農業共済組合損害評価会	損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (畑作物・大豆・ ホップ) 損害評価審議委員 (大豆・ホップ・そ ば) 損害評価審議委員 (園芸施設) 審議委員(家畜) 家畜診療所運営委 員	主任主査 (病虫害防除課) 上席専門研究員 (技術部作物研究室) 病理昆虫研究室長 果樹研究室長 主任主査 (病虫害防除課) 主査専門研究員 (技術部作物研究室) 主任主査 (病虫害防除課) 主査専門研究員 (技術部作物研究室) 主任主査 (病虫害防除課) 主任主査 (病虫害防除課) 野菜花き研究室長 畜産研究所次長 (研究担当) 畜産研究所次長 (研究担当)	岩手県農業共済組合
岩手県産業用無人ヘリコプター推進協議会	幹事	病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	岩手県農業共済組合
(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部	委員	作物研究室長(技術部)	(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
(社)岩手県植物防疫協会	幹事 幹事 幹事 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員	技術部長 環境部長 病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 作物研究室長(技術部) 果樹研究室長 野菜花き研究室長 病理昆虫研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	(社)岩手県植物防疫協会
岩手県病害虫防除連絡協議会	役員 幹事	病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	岩手県農業共済組合
種子価格設定委員会	委員	作物研究室長(技術部)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
種子事故防止委員会兼種子事故調査委員会	委員 委員	作物研究室長(技術部) 病理昆虫研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課
いわて短角和牛改良推進協議会	委員	家畜育種研究室長 外山畜産研究室長	日本短角種集団育種推進協議会 畜産課
全国和牛能力共進会出品対策委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課 全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県飼料増産推進協議会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	畜産課
岩手県畜産技術連盟	世話人	畜産研究所長	畜産研究所
盛岡市牧野運協協議会委員	委員	外山畜産研究室長	盛岡市
岩手県乳質改善協議会	委員	畜産研究所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
ミルクシステム診断事業推進委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
岩手県乳用牛群検定推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
全国和牛登録協会登録委員産肉能力検定委員会	参与 参与 委員	畜産研究所長 畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会
和牛改良専門委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	全国和牛登録協会岩手県支部
県南和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
中央和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
日本短角種検定委員会	委員	家畜育種研究室長	日本短角種登録協会
日本短角種研究会	評議員	家畜育種研究室長	日本短角種研究会
日本短角種枝肉情報分析委員会	委員	家畜育種研究室長	肉用牛改良情報活用協議会
国産牛肉新需要創出緊急対策事業地方特定品種牛肉検討部会	委員	家畜育種研究室長	(社)全国肉用牛振興基金協会
日本ホルスタイン登録協会岩手県支部	評議員	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
土壤医の会全国協議会	幹事	作物研究室長(県北)	(一財)日本土壤協会
農業機械等緊急開発事業推進プロジェクトチーム	委員	上席専門研究員 (県北研園芸研究室)	農研機構 農業技術革新工学研究センター
八戸平原地域営農推進協議会	委員	県北農業研究所長	東北農政局 北奥羽調査管理事務所

## VI 職員研修





## VI 職員研修

### 1 大学院派遣

職・氏名	所属部所・研究室	研究内容	派遣先	派遣期間
技師 小澤 傑	技術部 野菜花き研究室	ダイズのJuvenile-Adult相転換を制御する因子の解析	岩手大学大学院連合農学研究科 (岩手大学)	29.4.1～ 30.3.31
上席専門研究員 増田 隆晴	畜産研究所 外山畜産研究室	高標高・寒冷地域における粗飼料調製技術に関する研究	岩手大学大学院連合農学研究科 (岩手大学)	23.4～

### 2 海外派遣・研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容等	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	雲南省との連携に係る農業分野の可能性調査	中華人民共和国雲南省昆明市	29.6.10～18
主任専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	雲南省との連携(イチゴ、木質バイオマス関係)	中華人民共和国雲南省昆明市	29.10.24～30
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	雲南省との連携に係る農業分野の可能性調査	中華人民共和国雲南省昆明市	29.10.24～30
主任主査 猫塚 修一	病虫害防除部 病虫害防除課	第3回雲南省－岩手県農業シンポジウム	中華人民共和国雲南省昆明市	29.10.24～30
技師 柳本 麻衣	技術部 果樹研究室	第3回雲南省－岩手県農業シンポジウム	中華人民共和国雲南省昆明市	29.10.24～30
果樹研究室長 佐々木 真人	技術部 果樹研究室	雲南省との連携に係る果樹分野における共同研究の可能性調査	中華人民共和国雲南省昆明市	30.2.4～10

### 3 国内研修への派遣

#### (1) 依頼研究員

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

#### (2) 北東北3県研究職員交流(職員派遣)

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

#### (3) 農林水産関係研究リーダー研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
部長 竹澤 利和	企画管理部	平成29年度農林水産関係研究リーダー研修	東京都(中央合同庁舎)	29.6.7～8

#### (4) 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 小原 あつ子	プロジェクト推進室	平成29年度農林水産関係若手研究者研修	筑波産業連携支援センター	29.6.28～30
専門研究員 太田 裕貴	技術部 作物研究室	平成29年度農林水産関係若手研究者研修	筑波産業連携支援センター	29.6.28～30

## (5) 農林水産関係研究者研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 太田 裕貴	技術部作物研究室	平成29年度農林水産関係若手研究者研修	つくば市(農林水産技術会議事務局 筑波山岳連携支援センター)	29.6.28～30
主査 佐藤 美和子	病虫害防除部 病虫害防除課	平成29年度北海道・東北地区病虫害防除所職員技術研修	塩釜市(横浜植物防疫所塩釜支所)	30.2.27～28

## (6) その他

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
企画管理部長 竹澤 利和 農業経営研究室長 及川 浩一 上席専門研究員 前山 薫 主査専門研究員 吉田 徳子 専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	平成29年度「農業経済研究ネットワークいわた」研究会	滝沢市	29.12.3
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	農業共済制度、収入保険制度及び農業災害補償法改正研修会	盛岡市	29.6.23
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	日本農業市場学会2017年度岩手大会	盛岡市	29.7.1～2
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	第60回東北農業試験研究発表会	秋田県秋田市	29.8.9
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	平成29年度日本農業経営学会研究大会(福岡大会)	福岡県福岡市	29.9.14～16
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	東北農研市民講座(稲作生産コストの国際事情 - 日本、イタリア、アメリカを比較して -)	盛岡市	29.11.11
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	東北農研IoT研究セミナー	福島県福島市	29.11.17
上席専門研究員 前山 薫 主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	集落営農組織法人化研修会	花巻市	29.12.17～18
上席専門研究員 前山 薫 主査専門研究員 吉田 徳子 専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	第53回東北農業経済学会山形大会	山形県鶴岡市	29.8.25～26
主査専門研究員 吉田 徳子 専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	アグリビジネス創出フェア	東京都	29.10.4～6
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	富士大学「地方創生論」	花巻市	29.6.22
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	いわて復興未来塾	盛岡市	29.6.24
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	いわて農林水産物機能性活用研究会シンポジウム	盛岡市(エスポワールいわて)	29.6.20
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	ITサポート研修会	花巻市(花巻地区合同庁舎)	29.7.10
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	グループウェア更新説明会	盛岡市	29.11.10
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	平成29年度広報研修会	盛岡市	30.1.17
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	いわて農林水産物機能性活用研究会第1回機能性活用セミナー	盛岡市(岩手大学)	30.1.30

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技術部長 渡辺 芳幸 果樹研究室長 佐々木 真人	技術部 果樹研究室	イワテヤマナシ研究会特別講演会	盛岡市(岩手大学)	29.6.24
果樹研究室長 佐々木 真人 主査専門研究員 大野 浩 主査専門研究員 浅川 知則	技術部 果樹研究室	平成29年度園芸学会秋季大会	北海道江別市(酪農学園大学)	29.9.1~3
果樹研究室長 佐々木 真人 主査専門研究員 大野 浩 主査専門研究員 浅川 知則 技師 柳本 麻衣	技術部 果樹研究室	アグリビジネス創出フェア2017	東京都	29.10.3~6
主査専門研究員 大野 浩	技術部 果樹研究室	第59回東北農業試験研究発表会	秋田市	29.8.9
主査専門研究員 浅川 知則	技術部 果樹研究室	革新工学センター研究報告会	さいたま市	30.3.8~9
技師 柳本 麻衣	技術部 果樹研究室	地球温暖化適応策(果樹)都道府県担当者向けセミナー	東京都	29.12.22
作物研究室長 小田中 温美 上席専門研究員 尾形 茂 主査専門研究員 永富 巨人 主査専門研究員 齋藤 智子 技師 関村 真梨歩	技術部 作物研究室	平成29年度東北六県原種・原々種生産情報交換会	北上市(岩手県農業研究センター) 紫波町(水稻委託原種圃場 他)	29.7.27~28
主査専門研究員 齋藤 智子	技術部 作物研究室	平成29年度東北農業試験研究推進会議畑作物試験推進部会 夏期研修会	岩手農研、北上市、紫波町	29.8.22~23
主査専門研究員 齋藤 智子	技術部 作物研究室	平成29年度東北そばフォーラム	青森県青森市(国際ホテル他)	29.9.4
主査専門研究員 齋藤 智子	技術部 作物研究室	大豆晩播狭畦密植栽培試験報告会	紫波町(ゆいっこの里犬草)	29.12.21
主査専門研究員 齋藤 智子	技術部 作物研究室	東北大豆セミナーinせんだい	仙台市(仙台合同庁舎)	30.2.8
主査専門研究員 齋藤 智子	技術部 作物研究室	東北そば研究会	仙台市(仙台合同庁舎)	30.2.8
主査専門研究員 齋藤 智子	技術部 作物研究室	第11回農業気象研究会	東京都千代田区(気象庁)	29.12.19
上席専門研究員 尾形 茂	技術部 作物研究室	第19回東北雑草研究会	弘前市	29.6.22
主任専門研究員 小舘 琢磨	技術部 作物研究室	日本作物学会東北支部第60回講演会	福島県郡山市(福島県農業総合センター)	29.8.23~24
上席専門研究員 仲條 真介 専門研究員 太田 裕貴 専門研究員 藤岡 智明	技術部 作物研究室	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業【実用技術開発ステージ】「ゲノム育種により有用形質を集積した水稻品種の低コスト生産技術の確立と適地拡大 二期作適性および潮風外抵抗性試験現地検討会	沖縄県石垣市(沖縄県農業研究センター石垣支所 他)	29.10.15~17
上席専門研究員 仲條 真介 専門研究員 藤岡 智明	技術部 作物研究室	次世代作物開発研究センター主催シンポジウム「競争力の高い水稻品種開発に向けたDNAマーカー技術の活用と連携」	東京都文京区(東京大学)	29.6.27~28
専門研究員 太田 裕貴	技術部 作物研究室	次世代作物開発研究センター主催シンポジウム「業務・加工用米 開発の現状と今後の展開」	東京都(本所地域プラザBIG SHIP)	29.8.7

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 小館 琢磨 専門研究員 太田 裕貴	技術部 作物研究室	日本作物学会第244回講演会	岐阜市(岐阜大学)	29.9.13～15
専門研究員 太田 裕貴	技術部 作物研究室	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 [シース創出ステージ]「ひとめぼれ」大規模交配集団を用いた有用遺伝子単離と遺伝子相互作用解明(27007A)平成29年度第1回研究推進会議	北上市(生工研)	29.10.11
上席専門研究員 仲條 真介 専門研究員 太田 裕貴 専門研究員 藤岡 智明	技術部 作物研究室	林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 「ゲノム育種により有用形質を集積した水稻品種の低コスト生産技術の確立と適地拡大」二期作適性および潮風害抵抗性試験現地検討会	沖縄県石垣市(沖縄県農業研究センター石垣支所)	29.10.15～17
主任専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 「豚排泄物由来肥料を最大限活用した飼料用米の多収栽培技術の開発」推進会議	盛岡市(東北農業研究センター)	29.11.1
上席専門研究員 仲條 真介 主任専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 「耐冷性やいもち病抵抗性を強化した東北オリジナル業務・加工用多収品種の開発研究」・「東北オリジナル品種開発コンソーシアム」推進会議	仙台市(パレス宮城野)	30.1.22
主任専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	農林水産省委託プロジェクト研究「農林水産分野における気候変動対応のための研究開発」平成29年度研究成果発表会	東京都(一橋大学一橋講堂)	30.2.14
専門研究員 太田 裕貴 専門研究員 藤岡 智明	技術部 作物研究室	第3回オートアナライザー・メンテナンスセミナー	仙台市(TKP仙台西口ビジネスセンター)	30.2.16
上席専門研究員 仲條 真介 専門研究員 太田 裕貴 専門研究員 藤岡 智明	技術部 作物研究室	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 「ゲノム育種により有用形質を集積した水稻品種の低コスト生産技術の確立と適地拡大(26038BC)」研究成果発表会	盛岡市(アイーナ)	30.2.22
主任専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	東北ハイテク研究会産学連携セミナー「「知の集積と活用」の場」の研究開発プラットフォームと研究コンソーシアムの設立・運営をどうするか」	盛岡市(東北農業研究センター)	30.3.12
主任専門研究員 小館 琢磨 専門研究員 太田 裕貴 専門研究員 藤岡 智明	技術部 作物研究室	日本作物学会第245回講演会	宇都宮市	30.3.29～30
主査専門研究員 藤尾 拓也	技術部 野菜花き研究室	次世代施設園芸人材育成研修2017	大阪府堺市	29.9.14～15
主査専門研究員 藤尾 拓也	技術部 野菜花き研究室	生物環境工学会2017年松山大会	愛媛県松山市	29.8.30～9.1
主査専門研究員 阿部 弘 主査専門研究員 松浦 拓也 主査専門研究員 藤尾 拓也 主任専門研究員 吉田 泰	技術部 野菜花き研究室	園芸学会平成29年度秋季大会	北海道江別市	29.9.2～4

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
室長 川村 浩美 主査専門研究員 松浦 拓也 主査専門研究員 藤尾 拓也 主任専門研究員 田代 勇樹 主任専門研究員 吉田 泰	技術部 野菜花き研究室	アグリビジネス創出フェア2017	東京都	29.10.4～6
主査専門研究員 藤尾 拓也	技術部 野菜花き研究室	第82回日本養液栽培研究会・高知大会	高知県南国市	29.11.9～10
主任専門研究員 田代 勇樹	技術部 野菜花き研究室	先端プロ成果展示	東京都	29.11.9～11
室長 川村 浩美 主査専門研究員 松浦 拓也	技術部 野菜花き研究室	先端プロ成果発表会	宮城県仙台市	29.11.30
主査専門研究員 阿部 弘	技術部 野菜花き研究室	東北植物学会第7回大会	盛岡市(岩手大学)	29.12.9～10
主査専門研究員 藤尾 拓也	技術部 野菜花き研究室	東北ハイテク研究会 平成29年度産学官連携セミナー	宮城県仙台市	30.1.25
主査専門研究員 阿部 弘 主査専門研究員 藤尾 拓也 主任専門研究員 吉田 泰 主任専門研究員 田代 勇樹 技師 小澤 傑	技術部 野菜花き研究室	園芸学会平成30年度春季大会	奈良県奈良市	30.3.24～25
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 太田 祐樹 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	農業施設学会出前セミナー「測定制御を極める」	東京都	29.5.10
専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	いわて女性研究者支援ネットワーク研究力向上セミナー	盛岡市	29.6.22
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	第2回ゼミ「野菜栽培ハウスにおける環境モニタリング手法とデータの活用方法の検討」	北上市	29.6.28
専門研究員 太田 祐樹	技術部 南部園芸研究室	いわてアグリフロンティアスクール公開講座	盛岡市	29.7.5
主任専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	環境制御機器作成研修	北上市	29.8.4
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	第59回東北農業試験研究発表会	秋田県秋田市	29.8.8～9
主任専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	Wild Cup 2017プレゼンテーション	盛岡市	29.8.10
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 太田 祐樹	技術部 南部園芸研究室	園芸学会東北支部平成28年度大会	山形県鶴岡市	29.8.17～18
主任専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	農業施設学会出前セミナー「スマートリレーを用いたPLC入門」	東京都	29.8.22

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 太田 祐樹 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	施設園芸新技術セミナー・機器資材展in大分	大分県日田市、九重町	29.8.23～25
南部園芸研究室長 有馬 宏	技術部 南部園芸研究室	第1回いわてスマート農業祭	滝沢市	29.8.25～26
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 太田 祐樹 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	園芸学会平成29年度秋季大会	北海道江別市、苫小牧市	29.9.1～4
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 太田 祐樹 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	農業施設学会出前セミナー「熱流体を嗜む」、 2017年度農業施設学会大会	神奈川県藤沢市	29.9.11～13
南部園芸研究室長 有馬 宏 主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 太田 祐樹 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	アグリビジネス創出フェア	東京都	29.10.4～6
専門研究員 太田 祐樹	技術部 南部園芸研究室	農業ワールドEXPO	東京都	29.10.11～12
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 太田 祐樹	技術部 南部園芸研究室	次世代施設園芸フォーラム	北海道苫小牧市	29.10.31～ 11.1
南部園芸研究室長 有馬 宏 主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 太田 祐樹 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	先端プロ成果発表会	宮城県仙台市	29.11.29～30
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 太田 祐樹 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	第2回農研機構植物工場研修会	茨城県つくば市	29.12.7
専門研究員 太田 祐樹	技術部 南部園芸研究室	宮城県先端プロ成果発表会	宮城県仙台市	29.12.8
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 太田 祐樹 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	宮城県次世代施設園芸推進大会	宮城県仙台市、石巻市	29.12.20～21
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	園芸施設・産地現地研修会	兵庫県加西市、神戸市	30.1.23
専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	第8回トマト・キュウリサミット	東京都	30.1.30～31
主任専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	いわて木質バイオマスエネルギーフォーラム	盛岡市	30.1.31

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 太田 祐樹 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	農研機構野菜花き研究部門国際シンポジウム 「日本のイチゴ生産は何処を目指すのか」	愛知県名古屋	30.2.13～14
主任専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	施設園芸セミナー・機器資材展	東京都	30.2.15～16
南部園芸研究室長 有馬 宏	技術部 南部園芸研究室	「農村地域における未利用エネルギー利活用実証研究」成果発表会	宮城県亘理町、岩沼市	30.2.26
南部園芸研究室長 有馬 宏 主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 太田 祐樹	技術部 南部園芸研究室	先端プロ運営委員会	東京都	30.3.6
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	園芸学会平成30年度春季大会	奈良県奈良市	30.3.24～25
環境部長 佐々木 裕二 生産環境研究室長 島 輝夫 上席専門研究員 菊地 淑子 主査専門研究員 桐山 直盛 主任専門研究員 葉上 恒寿 技師 小田島 芽里 技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	東北土壤肥料研究会(夏季)	盛岡市・花巻市	29.7.12～13
環境部長 佐々木 裕二 生産環境研究室長 島 輝夫 上席専門研究員 菊地 淑子 主査専門研究員 桐山 直盛 主任専門研究員 葉上 恒寿 技師 小田島 芽里 技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	東北土壤肥料研究会・生産環境推進部会	盛岡市	30.1.25～26
生産環境研究室長 島 輝夫 主任専門研究員 葉上 恒寿 技師 小田島 芽里 技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	土壤肥料学会東北支部会	盛岡市	29.7.11～12
生産環境研究室長 島 輝夫 技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	土壤炭素調査法検討会	山梨県甲府市	29.10.26～27
生産環境研究室長 島 輝夫 主任専門研究員 葉上 恒寿 技師 小田島 芽里 技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	収益力アップセミナー	盛岡市	30.1.12

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
生産環境研究室長 島 輝夫 技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	農用地土壌炭素貯留等基礎調査事業全国会議	東京都	30.2.1～2
生産環境研究室長 島 輝夫 主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	先端プロ「中小区画土地利用」セミナー	陸前高田市	30.2.20
生産環境研究室長 島 輝夫 技師 小田島 芽里	環境部 生産環境研究室	農林水産業イノベーションシンポジウム	東京都	30.3.20
生産環境研究室長 島 輝夫 上席専門研究員 菊地 淑子 技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	花巻市スマート農業シンポジウム	花巻市	30.2.13
生産環境研究室長 島 輝夫 主査専門研究員 桐山 直盛 主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	水田への野菜導入研修会	北上市(農研センター)	30.1.23
上席専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	園芸学会 H29年度秋季大会	北海道江別市	29.9.1～3
上席専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	東北農業試験研究推進会議 花き研究会	北上市、石鳥谷、東和	29.9.20
上席専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	土づくり研究会(JA全農主催)	東京都	29.10.31
上席専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	園芸学会 H30春季大会	奈良県奈良市(近畿大学)	30.3.23～26
主査専門研究員 桐山 直盛 主任専門研究員 葉上 恒寿 技師 小田島 芽里 技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	日本土壌肥料学会2017年仙台大会	宮城県仙台市(東北大学)	29.9.5～7
主査専門研究員 桐山 直盛 技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	施設園芸資材セミナー	東京都	30.2.15～16
主査専門研究員 桐山 直盛 技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	土水研究会	茨城県つくば市	30.3.12～14
主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	第208回農林交流センターワークショップ コメ中無機ヒ素の簡易分析	茨城県つくば市	29.11.30～12.1
主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	第23回ヒ素シンポジウム	茨城県つくば市	29.12.7-8
主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	水稻硫黄欠乏にかかる意見交換会	宮城県仙台市	30.2.15-16
主任専門研究員 葉上 恒寿 技師 小田島 芽里 技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	岩手県施肥合協議会研修会(鶏ふんボイラー発電施設見学)	軽米町晴山	29.7.24



職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 葉上 恒寿 技師 小田島 芽里	環境部 生産環境研究室	東北直播研究会・稲栽培研究会	盛岡市	30.1.30
主任専門研究員 葉上 恒寿 技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	肥料委託試験成績検討会(JA全農)	神奈川県平塚市	30.3.8～9
技師 小田島 芽里	環境部 生産環境研究室	農食事業セミナー 混合堆肥複合肥料の活用	福島県郡山市	30.2.14
技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	食品分析ゲルマニウム半導体検出器セミナー	東京都	29.5.24
技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	東北農業試験研究発表会	秋田市	29.8.9
技師 白木 正俊	環境部 生産環境研究室	寒冷地果樹研究会	盛岡市	29.2.6～7
環境部長 佐々木 裕二	環境部	第22回農林害虫防除研究会	盛岡市	29.9.21～22
環境部長 佐々木 裕二	環境部	いわて環境保全型農業セミナー コーディネーター	北上市	29.12.14
環境部長 佐々木 裕二	環境部	第71回北日本病害虫研究発表会	八戸市	30.2.15～16
病理昆虫研究室長 大友 令史	環境部 病理昆虫研究室	第22回農林害虫防除研究会	盛岡市	29.9.21～22
病理昆虫研究室長 大友 令史	環境部 病理昆虫研究室	第71回北日本病害虫研究発表会	八戸市	30.2.15～16
上席専門研究員 中野 央子	環境部 病理昆虫研究室	日本植物防疫協会シンポジウム「薬剤施用法を考える」	東京都	29.9.14
上席専門研究員 中野 央子	環境部 病理昆虫研究室	第22回農林害虫防除研究会	盛岡市	29.9.21～22
上席専門研究員 中野 央子	環境部 病理昆虫研究室	平成29年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	花巻市	29.11.16
上席専門研究員 中野 央子	環境部 病理昆虫研究室	第71回北日本病害虫研究発表会	八戸市	30.2.15～16
上席専門研究員 中野 央子	環境部 病理昆虫研究室	第62回日本応用動物昆虫学会大会	鹿児島市	30.3.25～27
上席専門研究員 加藤 真城	環境部 病理昆虫研究室	第22回農林害虫防除研究会	盛岡市	29.9.21～22
上席専門研究員 加藤 真城	環境部 病理昆虫研究室	第27回天敵利用研究会 発表	仙台市	29.10.26～27
上席専門研究員 加藤 真城	環境部 病理昆虫研究室	平成29年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	花巻市	29.11.16
上席専門研究員 加藤 真城	環境部 病理昆虫研究室	平成29年度 寒冷地果樹研究会 発表	盛岡市	30.2.6～7
上席専門研究員 加藤 真城	環境部 病理昆虫研究室	第71回北日本病害虫研究発表会	八戸市	30.2.15～16
上席専門研究員 加藤 真城	環境部 病理昆虫研究室	第62回日本応用動物昆虫学会大会	鹿児島市	30.3.25～27
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	平成29年度日本植物病学会大会	盛岡市	29.4.26～28
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	第60回東北農業試験研究発表会 発表	秋田市	29.8.9
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	日本植物防疫協会シンポジウム「薬剤施用法を考える」	東京都	29.9.14
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	EBC研究会ワークショップ2017 発表	東京都	29.9.15

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	第22回農林害虫防除研究会	盛岡市	29.9.21～22
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	平成29年度日本植物病理学会東北支部会 発表	弘前市	29.9.28～29
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	第11回植物病害診断研究会	帯広市	29.11.15～16
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	第5回度生態と防除研究会(植物病害カンファレンス) 発表	高松市	29.12.18～19
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	第71回北日本病害虫研究発表会	八戸市	30.2.15～16
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	平成30年度日本植物病理学会大会 発表	神戸市	30.3.25～27
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	光と色を活用した病害虫防除研究セミナー2017～光環境制御による自然共生型農業への挑戦	洞爺湖町	29.6.28～29
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	第5回北東北連携昆虫学セミナー	平川市	29.8.7～8
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	第27回天敵利用研究会 発表	仙台市	29.10.26～27
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	第22回農林害虫防除研究会	盛岡市	29.9.21～22
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	平成29年度岩手県植物防疫関係者技術研修会 発表	花巻市	29.11.16
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	平成29年度全国農業システム化研究会	玉名市	29.12.11
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	第71回北日本病害虫研究発表会	八戸市	30.2.15～16
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	薬剤抵抗性害虫遺伝子診断ワークショップ	つくば市	30.2.22～23
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	第62回日本応用動物昆虫学会大会	鹿児島市	30.3.25～27
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	平成29年度日本植物病学会大会	盛岡市	29.4.26～28
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	第17回植物病原菌類談話会	盛岡市	29.4.28
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	第27回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム	盛岡市	29.4.29
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	第203回農林交流センターワークショップ 栽培試験における気温の観測技法と利用	つくば市	29.6.7～9
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	地域特産作物等農薬適用拡大試験のための技術研修会	東京都	29.7.11～12
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	EBC研究会ワークショップ2017	東京都	29.9.15
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	第22回農林害虫防除研究会	盛岡市	29.9.21～22
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	平成29年度日本植物病理学会東北支部会	弘前市	29.9.28～29
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	平成29年度岩手県植物防疫関係者技術研修会 発表	花巻市	29.11.16
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	第5回度生態と防除研究会(植物病害カンファレンス)	高松市	29.12.18～19
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	平成29年度 落葉果樹研究会	盛岡市	30.1.30～31
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	平成29年度 寒冷地果樹研究会	盛岡市	30.2.6～7

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	第71回北日本病害虫研究発表会	八戸市	30.2.15～16
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	菌類基礎講座 不完全菌類の同定	東京都	30.2.20～21
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	平成30年度日本植物病理学会大会	神戸市	30.3.25～27
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	第18回植物病原菌類談話会	神戸市	30.3.27
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	第28回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム	神戸市	30.3.28
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	平成29年度日本植物病学会大会	盛岡市	29.4.26～28
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	地域特産作物等農薬適用拡大試験のための技術研修会	東京都	29.7.11～12
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	第13回植物病害診断教育プログラム	佐賀市	29.9.11～15
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	第22回農林害虫防除研究会	盛岡市	29.9.21～22
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	平成29年度日本植物病理学会東北支部会	弘前市	29.9.28～29
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	第11回植物病害診断研究会	帯広市	29.11.15～16
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	第5回度生態と防除研究会(植物病害カンファレンス)	高松市	29.12.18～19
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	第71回北日本病害虫研究発表会	八戸市	30.2.15～16
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	平成30年度日本植物病理学会大会	神戸市	30.3.25～27
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	第18回植物病原菌類談話会	神戸市	30.3.27
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	第15回バイオコントロール研究会	神戸市	30.2.28
主任技能員 佐藤 広昭	環境部	第71回北日本病害虫研究発表会	八戸市	30.2.15～16
主任専門研究員 熊谷 祐宏	畜産研究所 家畜育種研究室	中央畜産技術研修会・畜産統計	福島県西郷村	29.7.18～28
主任専門研究員 熊谷 祐宏	畜産研究所 家畜育種研究室	SNP解析技術者研修	福島県西郷村	29.8.7～10
上席専門研究員 昆野 勝	畜産研究所 家畜育種研究室	ウシ繁殖超音波画像診断研修会	青森県七戸町	29.8.4
主任専門研究員 熊谷 祐宏	畜産研究所 家畜育種研究室	SNP解析技術者研修	福島県西郷村	29.10.29～ 11.13
専門研究員 佐々木 康仁	畜産研究所 家畜育種研究室	食肉の官能評価ワークショップ	茨城県つくば市	29.10.11～13
家畜育種研究室長 細川 泰子 上席専門研究員 昆野 勝 主査専門研究員 安田 潤平 技師 土谷 のぞみ	畜産研究所 家畜育種研究室	いわて肉用牛振興研修会	盛岡市	30.3.9

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 高村 聡美	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	農研機構シンポジウム 放射性セシウム吸収抑制対策の今後を考える	福島県	29.12.4
専門研究員 高村 聡美	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	第10回放射性物質検査に関する全国研修会	東京都	29.8.25
専門研究員 高村 聡美	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	平成29年度雑草生態及び除草剤試験に関する 研修会	茨城県	29.8.28～29
主査専門研究員 佐藤 真	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	自給飼料利用研究会	東京都	29.12.4
主査専門研究員 佐藤 真	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	第64回日本草地学会熊本大会 ポスター発表	熊本県	30.3.24～27
室長 熊谷 光洋 他8名	畜産研究所 種山畜産研究室	県南広域振興局管内交通安全研修	奥州市	29.8.30
主任 千葉 龍志	畜産研究所 種山畜産研究室	平成29年度会計事務基本研修(第1期)	奥州市	29.6.15,16
主任 千葉 龍志	畜産研究所 種山畜産研究室	平成29年度県南広域振興局内会計事務職員 及び若手職員等研修	奥州市	29.10.19
主任 千葉 龍志	畜産研究所 種山畜産研究室	平成29年度会計事務基本研修(第2期)	盛岡市	29.11.20
主任 千葉 龍志	畜産研究所 種山畜産研究室	平成29年度県南広域振興局内会計事研修	奥州市	30.2.6
主任 千葉 龍志	畜産研究所 種山畜産研究室	ITサポーター研修会	奥州市	29.7.19
主査専門研究員 高畑 博志	畜産研究所 種山畜産研究室	安全運転管理者講習	大船渡市	29.10.16
室長 熊谷 光洋	畜産研究所 種山畜産研究室	メンタルヘルス研修	奥州市	29.5.18
主査専門研究員 高畑 博志 技師 小澤 さち	畜産研究所 種山畜産研究室	ICT活用繁殖管理実証事業セミナー	滝沢市	30.2.8
総務課長 柴田 博之	県北農業研究所 総務課	出納員研修	盛岡市	29.5.26
総務課長 柴田 博之	県北農業研究所 総務課	公務災害研修	盛岡市	29.7.7
主任行政専門員 向駒木 幸悦	県北農業研究所 総務課	ITサポーター研修会	盛岡市	29.7.18

#### 4 所内研修等

##### (1) 岩手県総務部人事課主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
農業経営研究室長 及川 浩一	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	29.7.1～ 12.31
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング 企業会計講座〔基礎編〕	人事課主催	29.7.1～ 12.31
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング 企業会計講座〔基礎編〕	人事課主催	29.7.1～ 12.31
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング 企業会計講座〔実務編〕	人事課主催	29.7.1～ 12.31
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング 企業会計講座〔実務編〕	人事課主催	29.7.1～ 12.31
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	29.7.1～ 12.31
主査専門研究員 浅川 知則	技術部 果樹研究室	新任主査研修	人事課主催	29.7.19～21
技師 柳本 麻衣	技術部 果樹研究室	平成29年度 採用3年目職員研修	人事課主催	29.6.19～21
主任専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	能力開発研修 「ファシリテーションスキル養成講座」(第2期)	人事課主催	29.7.24
主任専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	29.9.1～ 12.31
専門研究員 藤岡 智明	技術部 作物研究室	平成29年度 採用3年目職員研修	人事課主催	29.7.19～ 7.21
専門研究員 藤岡 智明	技術部 作物研究室	eラーニング 企業会計講座〔基礎編〕 企業会計講座〔応用編〕	人事課主催	29.9.1～ 12.31
技師 小澤 傑	技術部 野菜花き研究室	新採用職員研修	人事課主催	29.4.10～14 29.6.12～15 29.10.17～20
主査専門研究員 小田島 雅	技術部 野菜花き研究室	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	29.8.8～ 12.31
主査専門研究員 小田島 雅	技術部 野菜花き研究室	新任主査研修	人事課主催	29.7.26～ 7.28
南部園芸研究室長 有馬 宏	技術部 南部園芸研究室	管理監督者メンタルヘルスセミナー	人事課主催	29.8.4
専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	平成29年度 採用3年目職員研修	人事課主催	29.7.12～14
専門研究員 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	29.9.1～ 12.31
主査専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	能力開発研修 「ファシリテーションスキル要請講座」	人事課主催	29.7.10
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	平成29年度 採用3年目職員研修	人事課主催	29.7.19～21
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	新採用職員研修	人事課主催	29.4.10～14 29.6.12～15 29.10.10～13
次長 藤原 哲雄	畜産研究所	新任総括課長等研修	人事課主催	29.4.10～11
飼養飼料研究室長 及川 修	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	新任担当課長等研修	人事課主催	29.4.12～14

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 土谷 のぞみ 技能員 妻神 大己	家畜育種研究室	新採用職員研修	人事課主催	29.4.10～14 29.6.12～15 29.10.3,10
主査専門研究員 安田 潤平	家畜育種研究室	新採用職員指導担当者研修	人事課主催	29.4.28
技師 小澤 さち	畜産研究所 種山畜産研究室	新採用職員研修	人事課主催	29.4.10～14 29.6.12～15 29.10.17～20
技師 下川原 智	県北農業研究所 作物研究室	新採用職員研修	人事課主催	29.4.10～14 29.6.12～15 29.10.17～20
技師 熊谷 初美	県北農業研究所 園芸研究室	新採用職員研修	人事課主催	29.4.10～14 29.6.12～15 29.10.10～13
技能員 日山 将太	県北農業研究所 総務課	新採用職員研修	人事課主催	29.4.10～14 29.6.12～15 29.10.3～6
総務課長 柴田 博之	県北農業研究所 総務課	新任担当課長研修	人事課主催	29.4.12～14
主任技能員 清水 賢一	県北農業研究所 総務課	新採用職員指導者研修	人事課主催	29.4.28
専門研究員 齊藤 智宏	県北農業研究所 作物研究室	新採用職員指導者研修	人事課主催	29.4.28

## (2) 岩手県農林水産部主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 小澤 傑	技術部 野菜花き研究室	平成29年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	29.5.31～6.1
技師 小澤 傑	技術部 野菜花き研究室	平成29年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	29.9.22～29
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	平成29年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	29.5.31～6.1
技師 佐々木 陽菜	環境部 病理昆虫研究室	平成29年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	29.7.25～31
技師 土谷 のぞみ 技能員 妻神 大己	家畜育種研究室	平成29年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	29.5.31～6.1
技師 土谷 のぞみ	家畜育種研究室	平成29年度農林水産部新採用職員農林漁家体験	農林水産部農林水産企画室主催	29.9.25～10.5
技師 小澤 さち	畜産研究所 種山畜産研究室	平成29年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	29.5.31～6.1
技師 小澤 さち	畜産研究所 種山畜産研究室	平成29年度農林水産部新採用職員農林漁家体験	農林水産部農林水産企画室主催	29.10.6～12
技師 下川原 智	県北農業研究所 作物研究室	平成29年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	29.5.31～6.1
技師 熊谷 初美	県北農業研究所 園芸研究室	平成29年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	29.5.31～6.1
技能員 日山 将太	県北農業研究所 総務課	平成29年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	29.5.31～6.1
技師 下川原 智	県北農業研究所 作物研究室	平成29年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	29.9.21～9.31
技師 熊谷 初美	県北農業研究所 園芸研究室	平成29年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	29.9.21～9.29

## (3) 所内研修

研修会名称	所属部所・研究室	研修内容	主催	開催日
情報セキュリティ研修会	本部	情報の安全・安心10のポイント・情報セキュリティ対策 講師:研究企画室員	研究企画室	29.4.7
健康推進研修	本部	快眠で充実した生活を 講師:予防医学協会保健師	総務課	29.11.9
交通安全研修	本部	交通安全講話・DVD視聴 講師:北上警察署 企画係長	総務課	①29.6.20 ②29.11.29
AED操作研修会	本部	心肺蘇生法及びAEDの操作方法について 講師:北上消防署員	総務課	①29.8.31 ②29.12.25
会計事務等研修会	本部	会計の基本原則、適正な会計事務処理の方法、経理事務処理方法等 講師:総務課員	総務課	29.10.19
第1回会計事務処理研修会	畜産研究所	所属長向:会計事務自己点検の意義及び実施の際の留意点について 職員向:物品購入事務等に係る事務処理の際の留意点について	総務課	29.4.20
第2回会計事務研修会	畜産研究所	外部資金(試験研究予算)執行に係る留意事項について	総務課	29.6.23
健康衛生研修会	畜産研究所	生活習慣病とその予防(メタボ対策を含む)について	総務課	29.6.28
健康管理研修会	畜産研究所	ストレスの対処法とこころの健康づくりについて	総務課	29.7.20
交通安全研修①(サブ研修)	畜産研究所	歩行者事故を起こさない運転について(人事課借用DVD視聴研修)	総務課	29.7.24~8.4
農作業安全研修会	畜産研究所	プロから学ぶ「農業機械メンテナンス研修会」	総務課	29.8.23
交通安全研修②(メイン研修)	畜産研究所	交通安全の啓発ビデオ上映、交通安全知識 講師:盛岡西警察署交通課	総務課	29.9.12
AED操作研修会	畜産研究所	心肺蘇生法等・AED講習会	総務課	29.11.6
第3回会計事務研修会	畜産研究所	年度末に迎えるにあたり適正な会計事務処理について	総務課	29.12.13
交通安全研修会	県北農業研究所	交通安全の啓発、講話、交通安全教育教材を使用した疑似体験教室等 講師:二戸警察署員	総務課	29.9.19

## 5 所内セミナー等

名 称	開催期日	内 容	参集人員
<b>【本部】</b> <b>[プロジェクト推進室]</b> (なし)			
<b>[企画管理部]</b> 農業研究センター全体研修	30.3.19	ベテラン職員からの話題提供 鈴木 茂(所長) 千葉 和弘(主幹兼総務課長) 阿部 和夫(総務課 主任主査)	96 名
<b>[技術部]</b> 技術部ゼミ	29.6.26	圃場視察会 仲條 真介(作物研究室 上席専門研究員) 川村 浩美(野菜花き研究室長) 関村 真梨歩(作物研究室 技師) 大野 浩(果樹研究室 主査専門研究員) 田代 勇樹(野菜花き研究室 主任専門研究員)	18 名
	29.7.13	二子いものルーツを考えよう+α 阿部 弘(野菜花き研究室 主査専門研究員)	16 名
	29.12.26	農家体験研修を振り返って 小澤 傑(野菜花き研究室 技師) ダイズのjuvenile-adult相転換 小澤 傑(野菜花き研究室 技師)	16 名
	30.3.20	Officeを使ったイラスト作成方法 阿部 弘(野菜花き研究室 主査専門研究員) 雲南省との果樹交流報告 佐々木 真人(果樹研究室長)	15 名
<b>[環境部]</b> 環境部ゼミ  環境部・防除部合同ゼミ	29.8.31	土壌肥料学会報告練習 桐山 直盛(生産環境研究室 主査専門研究員)	11 名
	29.10.20	雲南省シンポジウム報告内容研修 小田島 芽里、岩館 康哉、猫塚 修一	22 名
	30.2.8	北日本病害虫研究発表会(2017.2.15~2.16開催・八戸市)の講演予行演習	12 名
<b>[病害虫防除部]</b> (なし)			



名 称	開催期日	内 容	参集人員
<b>[畜産研究所]</b> 第1回セミナー	29.6.27	(1) 第40回岩手Farm to Tableフォーラム研究会予演会 ア 日本短角種種雄牛造成の取組 イ 日本短角種肥育牛における良好な歩留を確保するための適正な発育指標と飼料給与方法 講師:家畜育種研究室 安田潤平 主査専門研究員 ウ 雌肥育牛を有効に活用した日本短角種の一産取り肥育技術の確立 講師:家畜育種研究室 土谷のぞみ 技師 (2) いわて牛改良増殖対策事業推進協議会での研究取組報告予演会 ゲノム育種価の利用について 講師:家畜育種研究室 熊谷祐宏 主任専門研究員	13 名
第2回セミナー	29.8.4	(1) 東北畜産学会予演会 ア 生体センサーを活用した疾病のモニタリング 講師:家畜飼養研究室 越川志津 主査専門研究員 イ 肥育前期に高粗蛋白質濃厚飼料を給与する黒毛和種の肥育期間短縮技術 ウ SNP情報を利用した牛ゲノム選抜手法の確立 講師:家畜育種研究室 熊谷祐宏 主任専門研究員 (2) 東北農業研究発表会予演会 日本短角種肥育牛における良好な歩留を確保するための適正な発育指標と飼料給与法 講師:家畜育種研究室 安田潤平 主査専門研究員	13 名
第3回セミナー	29.10.6	(1) 飼料生産技術見地研修会予演会 トウモロコシの不耕起栽培について ～省力効果と難防除雑草(アレチウリ)防除効果 家畜飼養飼料研究室 佐藤真 主査専門研究員 (2) 統計処理研修 ア. 統計処理の一步手前 家畜飼養飼料研究室 小梨茂 主任専門研究員 イ 畜産統計学(伝達研修:全3回のうち第1回目) 家畜育種研究室 熊谷祐宏 主任専門研究員	12 名
第4回セミナー	29.12.21	(1) 最新のNRC飼養標準(肉用牛)をめぐる話題 家畜飼養飼料研究室 小梨茂 主任専門研究員 (2) 畜産統計研修伝達2 家畜育種研究室 熊谷祐宏 主任専門研究員 (3) 統計ソフト「R」を活用した畜産研究における統計処理 家畜飼養飼料研究室 佐藤真 主査専門研究員	12 名
第5回セミナー	30.3.13	(1) 日本草地学会発表予演会 家畜飼養飼料研究室 佐藤真 主査専門研究員 (2) 日本養豚学会発表予演会 家畜育種研究室 佐々木康仁 専門研究員	11 名
全体研修会	30.3.16	後輩職員へのメッセージ 次長 平野 晃 主幹兼課長 千葉 良	55 名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
<b>[県北農業研究所]</b> 第1回所内ゼミ	29.4.19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊谷初美 技師 「ハイブッシュブルーベリーにおける夏秋季の開花、結実特性に関する研究」(岩手大学での研究紹介)</li> <li>・横田 啓 主査専門研究員 「岩手県における春まきタマネギの安定生産技術の開発に向けて」</li> </ul>	12 名
第2回所内ゼミ	29.5.11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高橋 好範 首席専門研究員兼作物研究室長 「養分収支にもとづく施肥技術の開発と普及」</li> </ul>	12 名
第3回所内ゼミ	29.6.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・斉藤智宏 専門研究員 「厚播短期育苗による水稻育苗の低コスト化の取り組みと課題」</li> <li>・荻内謙吾 次長兼園芸研究室長 「岩手県における秋播性コムギの冬期播種栽培技術の開発」</li> </ul>	12 名
所内ゼミ(特別編)	29.6.19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小野直毅 技師 「引抜抵抗値を指標とした条間株間除草機の適用条件の検討」</li> <li>・横田 啓 主査専門研究員 「水田を活用した春まきタマネギの栽培に向けて」</li> </ul>	12 名
第4回所内ゼミ	29.7.11	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 長嶺 達也 上席専門研究員 「加工・業務用途向けの寒玉キャベツ栽培法の確立」</li> <li>2) 熊谷 初美 技師 「新肥料の実用化(タマネギ)」</li> <li>3) 齊藤 智宏 専門研究員 「ゲノム育種により有用形質を集積した水稻品種の低コスト生産技術の確立と適地拡大」</li> <li>4) 下川原 智 技師 「飼料用米「岩手122号」施肥法の確立」</li> <li>5) 星 伸枝 上席専門研究員 「リンドウの品種育成」</li> <li>6) 高草木 雅人 主任専門研究員 「収量性の高いアワ品種の育成」</li> <li>7) 横田 啓 主査専門研究員 「アザミウマを主体とする病害虫防除体系の確立」</li> <li>8) 小野 直毅 技師 専門研究員 「ミヤマトウキ苗安定生産技術の確立」</li> </ol>	14 名
第5回所内ゼミ	29.9.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長嶺達也 上席専門研究員 「地下かんがい(フォアス)について」</li> </ul>	12 名
第6回所内ゼミ	30.1.11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・星 伸枝 上席専門研究員 「りんどうの培養について」</li> <li>・高草木雅人 主任専門研究員 「アワのプール育苗の検討」</li> </ul>	12 名
第7回所内ゼミ	30.3.13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下川原 智 技師 「岩手県における2017年8月の低温が水稻品種「いわてっこ」の不稔の発生に与えた影響」</li> <li>・小野寺 郁夫 所長 「演題:計画立案入門「Phased Planning手法」 (政策研究大学院大学 岡本教授の論をベースとした小野寺流のマネジメントプロセス)」</li> </ul>	12 名

## VII 試験研究以外の業務概要



## VII 試験研究以外の業務概要

### 1 作物の原々種の採種

#### (1) 主要農作物種子法に基づく原々種種子の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	採種量 (kg)	備考 (採種場所等)
水稻(うるち)	どんびしゃり	6	17	農業研究センター
	銀河のしずく	6	108	〃
水稻(酒米)	ぎんおとめ	1	19	〃
水稻(飼料用米)	岩手122号	5	31	〃
小麦	ナンプコムギ	8	107	〃
	ネバリゴシ	2	40	〃
大豆	ユキホマレ	8	調製中	〃

#### (2) その他原々種種子の生産

種 類	品 種	面 積(a)	採種量(単位)	備考(採種場所等)
りんどう	ENg	—	1(ml)	農業研究センター
	Ngl	—	1(ml)	〃
	Ha	—	8(ml)	〃

## 2 作物の原種の採種

### (1) 主要農作物種子法に基づく原種種子の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	採 種 量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稻(うるち)	金色の風	28	368	農業研究センター
	銀河のしずく	110	3,960	〃
	いわてっこ	100	3,080	〃
	どんびしやり	29	1,160	〃
	ひとめぼれ	351	12,030	〃
水稻(酒米)	ぎんおとめ	4	113	農業研究センター
水稻(飼料用米)	岩手122号	20	889	農業研究センター
水稻(もち)	ヒメノモチ	50	1,500	紫波町
小麦	ナンプコムギ	240	3,250	農業研究センター
	ゆきちから	150	3,420	〃
	ネバリゴシ	40	810	〃
大豆	リュウホウ	50	715	農業研究センター
	ユキホマレ	7	35	〃

### (2) その他原種種子の生産

種 類	品 種	面 積(単位)	採種量(kg)	備考(採種場所等)
小豆	-	-	-	農業研究センター
そば	-	-	-	-
ヒエ	達磨	-	0.9	県北農業研究所
キビ	釜石16	-	2.75	県北農業研究所
アワ	-	-	-	-

### 3 種苗等の配布

#### (1) 主要農作物種子法に基づく種苗の配布

種 類	品 種	数 量(kg)	配 布 先
水稲うるち原種 (平成30年採種圃播種用)	ひとめぼれ	11,180	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	あきたこまち	2,320	〃
	いわてっこ	1,320	〃
	どんびしゃり	440	〃
	かけはし	160	〃
	銀河のしずく	680	〃
	金色の風	300	〃
酒造好適米原種 (平成30年採種圃播種用)	ぎんおとめ	25	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	吟ぎんが	70	〃
	結の香	10	〃
水稲非主食用米原種 (平成30年採種圃播種用)	つぶゆたか	560	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	岩手122号	440	〃
水稲もち原種 (平成30年採種圃播種用)	ヒメノモチ	1,140	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	もち美人	100	〃
小麦原種 (29年採種圃播種用)	ナンブコムギ	3,640	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆきちから	4,890	〃
	銀河のちから	900	〃
大豆原種 (29年採種圃播種用)	ナンブシロメ	255	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	リュウホウ	1,550	〃
	シュウリュウ	120	〃
	ユキホマレ	30	〃
	すずほのか	3	〃

注) 旧年産の種子も供給していること。

## (2) その他種苗の配布

種 類	品種・系統	数量(単位)	配 布 先
水稻(新形質米等) (平成30年一般播種用)	きらほ	20(kg)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
小豆原種	岩手大納言	3(kg)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
	ベニダイナゴン	1(kg)	〃
ヒエ原種	-	-	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
キビ原種	ひめこがね	1.0(kg)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
アワ原種	大槌10	0.4(kg)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
	ゆいこがね	0.05(kg)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
	虎の尾	0.05(kg)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
そば原種	-	-	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
りんどう	採種用母株(実生苗)		
	ETC(14-5)	100株	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
	Fst(13-408)	150株	〃
	胚18(13-406)	50株	〃
	OzKHb(13-404)	150株	〃
	Ng(16-39)	200株	〃
	Ng(16-42)	300株	〃
	Ha(16-75)	200株	〃
	Ha(16-112)	100株	〃
	YRy II(14-17)	100株	〃
	YRy II(14-18)	100株	〃
	Ha II(14-21)	250株	〃
	Ha II(14-22)	200株	〃
	Ha II(14-24)	250株	〃
	Ba(13-527)	200株	〃
	EP(14-61)	50株	〃
	EP(14-69)	50株	〃
	PntHb(13-418)	100株	〃
	IHO(15-167)	150株	〃
	AZH20(14-7)	50株	〃
EZ(14-9)	200株	〃	
AZA(14-8)	50株	〃	
リンゴ	苗木生産用穂木		
	雪いわて(岩手4号)	2.0(kg)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター



#### 4 県有種雄牛の精液の供給

(畜産研究所種山畜産研究室:平成30年3月12日現在)

##### (1) 黒毛和種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
菊福秀	236	212	241	326	279	242	283	291	310	350	175		2,945
花金幸	70	110	110	180	175	178	140	188	85	130	150		1,516
緑乃大地	150	145	132	135	205	30		30	5	30	20		882
花安勝	43	67	30	55	55	110	78	57	60	71	47		673
山根雲	70	100	58	110	112	6	10	8	15		3		492
月山桜	20	35	35	65	43	74	10	15	10	80	20		407
八重実福	100	10	2	30	20	20		9		10	30		231
百合茂勝	5	43	13	20		10	14		10	50			165
雪乃花		5	30			35				15	50		135
雪福秀	10	15	25		25		5			5	5		90
平栄福							20				70		90
久忠福			40		10	5		25			10		90
菊安舞鶴	20		20			10	1		10		15		76
辰美継	15	10	5		20		5			10			65
金菊徳					30				30				60
飛良美継	5	10	5		20	10		10					60
春北平	5	10		10		30				5			60
北昭国											50		50
その他	50	40	10	21	22	80	11	10	35	15	20		314
計	799	812	756	952	1,016	840	577	643	570	771	665		8,401

##### (2) 日本短角種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
吉誉	20	25						20					65
民姫			5		10			10					25
川春								20					20
計	20	25	5	0	10	0	0	50	0	0	0		110

## 5 種豚、種鶏等の配布

(畜産研究所家畜育種研究室:平成30年3月31日現在)

### (1) 豚の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(頭)	雄(頭)	去勢(頭)	
L	-	-		県内養豚農場
B	5	1	35	県内養豚農場
LW	-	-		県内養豚農場
その他	-	-	11	県内養豚農場
計	5	1	46	

### (2) 種鶏等の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(羽)	雄(羽)	計(羽)	
南部かしわ雛	1,140	1,828	2,968	岩手しずくいし南部かしわ生産組合他

## 6 寄託放牧

(畜産研究所外山畜産研究室:平成29年5～10月)

### (1) 牛

品 種	種 類			計(頭)
	成牛雌(頭)	成牛雄(頭)	子牛(頭)	
日本短角種	47	1	33	81

### (2) 馬

品 種	種 類			計(頭)
	成馬雌(頭)	成馬雄(頭)	子馬(頭)	
ブル系等	6	1	3	10

## VIII 人事、予算、財産



## Ⅷ 人事、予算、財産

### 1 岩手県農業研究センター予算 (H29年度・2月現計)

(単位:千円)

区 分	(内 訳)	予 算 額
<b>【農業費】</b>		
人件費(本部)		759,867
人件費(県北)		104,827
庁舎管理費(本部)		104,987
庁舎管理費(県北)		23,483
ほ場管理費(本部)		47,338
ほ場管理費(県北)		2,715
ふれあい公園管理運営費		14,064
試験研究費(国庫、委託試験等)		253,086
(1)植物防疫研究費	9,868	
(2)土壌対策研究費	3,703	
(3)外部資金等農業試験研究費	239,515	
高生産性農業新技術開発促進研究費(県単研究費)		15,399
主要農作物採種管理費		19,792
令達事業(本部)		94,921
令達事業(県北)		1,839
合 計		1,442,318
<b>【畜産業費】</b>		
人件費(畜産)		392,770
庁舎管理費		67,729
飼育管理費		150,990
管理運営費(種山畜産研究室分)		134,694
試験研究費(国庫、委託試験等)		22,887
農業関係試験研究委託事業	22,887	
高生産性畜産新技術開発促進研究費(県単研究費)		15,057
令達事業		
合 計		784,127
全 体 計		2,226,445

## 2 建物・用地の面積及び飼養家畜数 (H30.3.31現在)

### (1) 建物・用地の面積

	用 地 (ha)							建物(m <sup>2</sup> )		
	耕 地					林野等	施設用地	総面積	棟数	延面積
	水田	畑	樹園地	採草放牧地	小計					
本 部	30	31	17		78	16	41	135	80	30,325
北 上	26	22	17		65		36	101	33	19,846
<b>【主な施設面積(内数)】</b>										
管理棟										2,911
実験研究棟										5,057
作物調査研究棟										716
育苗ガラス温室										992
穀物乾燥原種調整調査棟										860
園芸作物調査棟										716
生産環境調査棟										608
ふれあい公園						16	2	18	8	2,181
南部園芸研究室							1	1	9	1,862
旧銘柄米開発研究室	4	1			5		2	7	25	4,684
その他(胆沢、金ヶ崎、滝沢)		8			8		0	8	5	1,752
畜産研究所		99		1,596	1,695	297	35	2,028	150	37,671
滝沢(本所)		93			93	57	30	180	92	24,048
外山畜産研究室		6		1,484	1,490	132	5	1,627	43	7,171
種山畜産研究室				112	112	108	0.4	221	15	6,452
県北農業研究所	1	11	0		12		8	20	17	8,083
合 計	31	141	16	1,596	1,786	313	85	2,183	247	76,079

### (2) 飼養家畜頭数 (H30.2.1現在)

(単位:頭・羽)

種別性別		雄	雌	計	品種別頭羽数
乳用牛	経産牛		41	41	ホルスタイン種 70
	育成牛(子牛含む)		29	29	
肉用牛	(滝沢)	99 (雄31, 去勢68)	53	152	黒毛和種 88、日本短角種 29、交雑種 4 (子牛除く) 黒毛和種 71、日本短角種 58 (育成牛を含む) 黒毛和種 117 (雌は子牛含む)
	(外山)	0	129	129	
	(種山)	79 (雄44, 去勢35)	38	117	
	牛 計	178	290	468	
豚	種豚	17	30	47	<b>【種豚の内訳】</b> パークシャー種 68、ランドレース種(イワテハヤチネL2) 45、大ヨークシャー種 1、デュロック種 2、雑種 62
	その他	-	-	194	
	計	17	30	241	
鶏	種鶏	-	-	1,833	岩手地鶏249、岩手大型ロード148、新ロード524、基礎鶏337、ホワイトロックロード518、ホワイトロック57

### 3 種苗登録、特許等

#### (1) 種苗登録

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんどう	いわて	第 311号	S52. 9. 7	育成者権消滅
りんどう	いわて乙女	第 544号	S59. 3.19	〃
りんどう	ジョバンニ	第 1,101号	S61. 8. 8	〃
りんどう	イーハトーヴォ	第 1,100号	S61. 8. 8	〃
大豆	緑良	第 2,517号	H 2.12. 5	〃
大豆	緑翠	第 2,516号	H 2.12. 5	〃
りんどう	アルビレオ	第 2,553号	H 2.12. 5	〃
りんどう	マシリイ	第 3,073号	H 4. 2.29	〃
りんどう	ホモイ	第 3,074号	H 4. 2.29	〃
ぶどう	エーデルアアーリー	第 3,404号	H 5. 3.10	〃
りんご	きおう	第 3,947号	H 6. 3.14	〃
りんどう	アルタ	第 4,085号	H 6. 8.22	〃
稲	かけはし	第 4,410号	H 7. 3.23	〃
稲	ゆめさんさ	第 4,411号	H 7. 3.23	〃
りんどう	ポラーノ ホワイト	第 4,999号	H 8. 3.18	〃
りんどう	あおこりん	第 7,713号	H12. 2.22	〃
りんどう	ももこりん	第 7,714号	H12. 2.22	〃
りんどう	ポラーノ ブルー	第 7,715号	H12. 2.22	〃
大豆	星めぐり	第 7,756号	H12. 2.22	〃
稲	吟ぎんが	第10,471号	H14. 9. 4	〃
スターチス	アイスター モーブ	第10,673号	H14. 9.30	育成者権消滅
スターチス	アイスター ラベンダー	第10,674号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラックブルー	第10,675号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ロージーピンク	第10,676号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラック	第10,677号	H14. 9.30	〃
稲	ぎんおとめ	第10,963号	H15. 2.20	〃
大豆	ちゃげ丸	第11,099号	H15.3.17	育成者権消滅
大豆	ぷっくらこ	第11,100号	H15.3.17	〃
稲	いわてっこ	第12,177号	H16. 8.18	〃
きく	アイمامアアーリーイエロー	第13,034号	H17. 3.23	〃
きく	アイمامホワイト	第13,035号	H17. 3.23	〃
きく	アイمامピンク	第13,036号	H17. 3.23	〃
きく	アイمامイエロー	第13,037号	H17. 3.23	〃
きく	アイمامホワイトピーチ	第13,038号	H17. 3.23	〃
稲	もち美人	第13,295号	H17. 9.13	〃

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんご	黄香	第13,771号	H18. 2.27	育成者権消滅
きく	アイمامレモンイエロー	第13,800号	H18. 2.27	〃
きく	アイمامオータムホワイト	第13,801号	H18. 2.27	〃
きく	アイمامパープルレッド	第13,802号	H18. 2.27	〃
きく	アイمامアーリーホワイト	第13,803号	H18. 2.27	〃
きく	アイمامオレンジ	第15,952号	H19.12.18	育成者権消滅
きく	アイمامレッド	第15,953号	H19.12.18	
稲	どんびしゃり	第16,604号	H20. 3.17	
りんどう	マジエル	第16,725号	H20. 3.17	
りんどう	キュースト	第16,726号	H20. 3.17	
スターチス	アイスター ソフトピンク	出願番号第18,507号	出願(H17. 7. 8)	登録申請取り下げ
きく	アイمامオータムイエロー	第17,727号	H21. 3. 6	育成者権消滅
きく	アイمامオータムレッド	第17,728号	H21. 3. 6	〃
きく	アイمامピュアホワイト	第17,968号	H21. 3.19	〃
りんご	岩手7号(商標:紅いわて)	第18,415号	H21. 9.10	
りんどう	いわて夢あおい	第18,762号	H22. 1.14	育成者権消滅
りんどう	ももずきんちゃん	第20,210号	H23. 1.25	
りんどう	いわてDPB1号	第20,345号	H23. 2.15	
稲	かぐやの舞	第20,350号	H23. 2.15	
稲	つづみ星	第20,351号	H23. 2.15	
稲	つづみのり	第20,535号	H23. 3. 9	育成者権消滅
稲	あけのむらさき	第20,710号	H23. 3.18	
稲	吟さやか	第20,711号	H23. 3.18	
稲	ゆきおとめ	第20,712号	H23. 3.18	
稲	つづゆたか	第20,716号	H23. 3.18	
ひえ	ねばりっこ1号	第21,577号	H24. 3. 9	
ひえ	ねばりっこ2号	第21,578号	H24. 3. 9	
ひえ	ねばりっこ3号	第21,579号	H24. 3. 9	
りんご	大夢	第22,369号	H25. 3. 6	
ぶどう	エーデルロツソ	第22,547号	H25. 3.25	
りんどう	いわて夢みのり	第22,946号	H26. 1.23	
稲	結の香	第23,454号	H26. 6.30	
りんどう	いわて夢みつき	第24,342号	H27. 6. 9	
稲	きらほ	第24,582号	H27.11.19	
あわ	ゆいこがね	第25,234号	H28. 6.10	
きび	ひめこがね	出願番号第29,612号	出願(H26.10. 3)	
りんどう	いわてLB-3号	第25,770号	H29. 3. 1	
りんどう	いわてLB-4号	第25,771号	H29. 3. 1	
稲	岩手117号	第26,436号	H30. 1.24	
稲	銀河のしずく	第26,561号	H30. 3.29	



種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんどう	いわてVEB-7号	第26,414号	H30. 1.24	
りんどう	いわてEB-1号	第26,415号	H30. 1.24	
りんご	雪いわて	出願番号第31,153号	出願(H28. 5.24)	
稲	金色の風	出願番号第31,551号	出願(H28.11. 1)	
りんどう	いわてEB-2号	出願番号第31,653号	出願(H28.12.12)	
りんどう	いわてMB-2号	出願番号第31,654号	出願(H28.12.12)	
稲	たわわっこ(岩手122号)	出願番号第32,947号	出願(H30. 3.16)	

## (2) 特許、実用新案

名 称	出願・公開番号(年月日)	登録番号(年月日)
米を原料とした飲料の製造方法	特開平03-272671 (H 3.12. 4)	1990534(H 7.11. 8) ※H22. 3.19存続期間満了
牧草種子の播種方法及び牧草種子の散布用の複合肥料ペレット	特開平10-276514 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
マクロシードペレットの散布装置	特開平10-276516 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
遺伝子導入りんご及びその作出法	特開2000-270700 (H12.10. 3)	(公開・拒絶査定)
果樹の育成状態評価方法	特開2004-147539 (H16. 5.27)	4026684(H19.10.19)
土壌用有機成分の推定装置	特開2005-017115 (H17. 1.20)	3902160(H19. 1.12)
ハトムギ食品の製造方法	特開2005-040104 (H17. 2.17)	3842253(H18. 8.18)
家畜用胚移植器	特開2006-181078 (H18. 7.13)	4111523(H20. 4.18)
降霜予測装置	特開2006-189403 (H18. 7.20)	4053544(H19.12.14)
有機肥料の製造方法及び有機肥料	特開2006-265027 (H18.10. 5)	4240492(H21. 1. 9)
物質の成分推定方法及び物質の成分推定装置	特開2007-187486 (H19. 7.26)	4258780(H21. 2.20)
水田作業機の排水溝形成装置	特開2010-124775(H22. 6.10)	4854045(H23.11. 4)
りんごの鮮度保持用包装袋及びりんごの保存方法	特開2010-163197(H22. 7.29)	(公開・拒絶査定)
高設栽培装置及びこれを用いた高設栽培方法	特開2010-227008(H22.10.14)	4900735(H24. 1.13)
樹皮繊維培土の製造方法及び樹皮繊維培土	特開2012-024006(H24. 2. 9)	5013558(H24. 6.15)
切断器具	特開2014-204881(H26.10.30)	6120275(H29. 4. 7)
植物の栽培方法及び植物の栽培装置	特開2015-173612(H27.10. 5)	(出願・審査請求中)

### (3) 一般に公開しているプログラム等

名 称	公 開 (年月日)	バージョン	担当研究室(開発者)
「生産技術体系」及び「営農計画作成支援シート」	平成18年 2月22日	ver.1.2	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
集落営農組織化効果試算シート	平成18年 6月 9日	ver.0.1	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
作業可能日数率算出支援シート	平成19年 3月30日	ver.1.0	生産工学研究室 (主任専門研究員 大里 達朗)
水稻施肥設計支援シート	平成21年 7月 6日	ver.3.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)
園芸畑作施肥設計支援シート	平成24年 2月 7日	ver.1.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)

※開発者の所属・職名は、公開当時のもの。



表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日
(前ページ続き) 平成29年度第2回 農業研究センター 所長表彰 (通算31回)	技術部	南部園芸研究室	専門研究員	太田 祐樹	いちごの四季成り性品種‘なつあかり’の2年作型開発	30.2.23
	環境部	生産環境研究室	主査専門研究員	桐山 直盛	雨よけトマトのカリ減肥基準の検証及び可給態窒素の肥効評価で施肥指導に貢献	
	環境部	病理昆虫研究室	上席専門研究員 技師	○中野 央子 佐々木 陽菜	鉄コーティング湛水直播栽培における葉いもち・初期害虫の防除体系確立	
	環境部	病理昆虫研究室	技師	松橋 伊織	施設トマトの主要害虫に対する赤色防虫ネットの侵入抑制効果の解明	
	病虫害防除部	病虫害防除課	技師 主任主査 主任主査	○田村 恵里佳 猫塚 修一 高田 真	病虫害防除員活動の積極支援による水稲初期害虫隔年防除技術の普及定着	
	病虫害防除部	病虫害防除課	主任主査 主任主査 技師	○猫塚 修一 名久井 一樹 廣田 志紀子	リンゴ褐斑病の一次感染成立条件の解明と多発要因解析による発生予察法の改善	
(内部表彰) 平成29年度第1回 農業研究センター 畜産研究所長表彰 (通算15回)	畜産研究所	総務課	主任主査 期限付臨時職員	○小野 演彦 藤原 愛恵	管理財産の見える化による業務の効率化	29.9.7
(内部表彰) 平成29年度第2回 農業研究センター 畜産研究所長表彰 (通算16回)	畜産研究所	総務課	主幹兼総務課長	千葉 良	所内各連絡調整業務等実施の功績	30.3.16
		家畜育種研究室	主任専門研究員	熊谷 裕宏	本県黒毛和種種雄牛の改良効率化等への貢献	
		家畜飼養・飼料研究室	主査専門研究員	佐藤 真	良質多収な粗飼料確保対策への貢献	
		種山畜産研究室	主査専門研究員	高畑 博志	繁殖雌牛分娩事故軽減への貢献	
		家畜飼養・飼料研究室	主任技能員	小林 雄二	適切な飼養管理業務等への貢献	
		外山畜産研究室	主任技能員	竹田 政則	適切な飼養管理業務等への貢献	
	総務課	期限付臨時職員 期限付臨時職員	布台 真紀子 藤原 愛恵	所内各業務支援等実施の功績		
	家畜育種研究室 ※肉牛グループ	主任技能員 技能員 技能員 非常勤職員 期限付臨時職員 期限付臨時職員 期限付臨時職員 日々雇用職員 日々雇用職員	工藤 明彦 葉木澤 一也 西野 聖 米沢 健治 角掛 辛一 荻間澤 藤夫 廣田 裕誠 館 春美 菊池 勝敏 高久 しげり	FRP製使用済みサイロを利用した飼料被害防止等への貢献		
	家畜飼養・飼料研究室 ※家畜飼養グループ	主査専門研究員 主査専門研究員 主任技能員 主任技能員 技能員 技能員 非常勤職員 期限付臨時職員 期限付臨時職員 日々雇用職員	伊藤 孝浩 越川 志津 小林 雄二 水澤 博征 鳴海 茂輝 畠山 博文 荒屋 康之 齋藤 健 松澤 研二 鈴木 猛 山本 健一郎 北田 江美子	飼養管理の改善等による試験牛確保、出荷乳量増への貢献		
	家畜飼養・飼料研究室 ※飼料生産グループ	専門研究員 主任技能員 〃 技能員 〃 非常勤職員 日々雇用職員 〃 〃	高村 聡美 上野 由克 谷地 館 透 中軽米 徳典 武田 溪介 畠山 健成 佐々木 ミネ子 佐藤 順恵 大畑 綾子	試験研究課題の円滑実施への貢献		
(次ページに続く)						

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)			表彰の対象となった事績内容	表彰年月日	
(前ページ続き) 平成29年度第2回 農業研究センター 畜産研究所長表彰 (通算16回)		外山畜産研究室	首席専門兼室長 主任技能員 主任技能員 技能員	大宮 元 荒木田 俊一 竹田 正則 上澤 賢輝	現場職員の総務事務システム 利用体制構築による業務の効 率化	30.3.16
		種山畜産研究室	主任技能員 技能員 技能員	松本 徹 後藤 克明 千葉 弘和	全国和牛能力共進会での功績	
(内部表彰) 平成29年度第1回 農業研究センター 県北農業研究所長 表彰 (通算14回)	(該当なし)					
(内部表彰) 平成29年度第2回 農業研究センター 県北農業研究所長 表彰 (通算15回)	県北農業研究所	園芸研究室	上席専門研究員 上席専門研究員 主査専門研究員 技師	長嶺 達也 星 伸枝 横田 啓 熊谷 初美	土地利用型野菜(キャベツ、 春まきタマネギ)の栽培技術 確立と普及拡大に貢献	30.3.1
		作物研究室	主任専門研究員	高草木 雅人	キビ品種「ひめこがね」の収 穫適期判別技術の確立	
		作物研究室	技師	下川原 智	平成29年8月の低温・寡照に よる「いわてっこ」の不稔発 生要因の解明	
		総務課	主任技能員	清水 賢一	圃場管理及び農機具等の保守 管理業務等の全般にわたるき め細かい進捗管理や効率的な 作業による試験研究への貢献	

5 職員名簿

(平成30年3月31日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
<b>所長</b>	<b>鈴木 茂</b>	[作物栽培・種子チーム]	
<b>副所長</b>	( 欠 員 )	上席専門研究員(総括)	尾 形 茂
<b>所付</b>	<b>高 橋 渉</b>	主査専門研究員	永 富 巨 人
<b>プロジェクト推進室長</b> 〔水田農業チーム〕	<b>高 橋 昭 喜</b>	主査専門研究員	齊 藤 智 子
上席専門研究員(総括)	吉 田 宏	技師	関 村 真 梨 歩
主査専門研究員	寺 田 道 一	<b>首席専門研究員兼野菜花き研究室長</b>	<b>川 村 浩 美</b>
主任専門研究員	及 川 光 史	〔野菜チーム〕	
専門研究員	小 原 あ つ 子	主査専門研究員(総括)	松 浦 拓 也
主任技能員	菅 野 輝 彦	主査専門研究員	藤 尾 拓 也
<b>企画管理部長</b>	<b>竹 澤 利 和</b>	主任専門研究員	吉 田 泰
<b>研究企画室長</b> 〔企画チーム〕	<b>鈴木 茂 寿</b>	主任専門研究員	田 代 勇 樹
上席専門研究員(総括)	佐 藤 美 佳 子	〔花きチーム〕	
主査専門研究員	長 澤 睦	上席専門研究員(総括)	輪 達 公 重
主任専門研究員	伊 勢 智 宏	主査専門研究員	阿 部 弘
主任専門研究員	佐 々 木 忍	技師	小 田 島 雅
主任専門研究員	土 屋 淑 子	<b>南部園芸研究室長</b>	小 澤 傑
<b>農業経営研究室長</b> 〔経営チーム〕	<b>及 川 浩 一</b>	主任専門研究員	<b>有 馬 宏</b>
上席専門研究員(総括)	前 山 薫	専門研究員	千 葉 彩 香
主査専門研究員	吉 田 徳 子	専門研究員(任期付)	鈴 木 朋 代
専門研究員	田 中 英 輝		太 田 祐 樹
<b>主幹兼総務課長</b> 〔総務チーム〕	<b>千 葉 和 弘</b>	<b>環境部長</b>	<b>佐 々 木 裕 二</b>
主任主査(総括)	阿 部 和 夫	<b>生産環境研究室長</b>	<b>島 輝 夫</b>
主任	織 田 恭 定	〔環境チーム〕	
主事	坂 田 真 樹 子	上席専門研究員(総括)	菊 地 淑 子
〔管理チーム〕		主査専門研究員	桐 山 直 盛
主任主査(総括)	小 原 正 輝	主任専門研究員	葉 上 恒 寿
主査	金 野 重 夫	技師	小 田 島 芽 里
<b>技術部長</b>	<b>渡 辺 芳 幸</b>	技師	白 木 正 俊
<b>果樹研究室長</b> 〔果樹チーム〕	<b>佐 々 木 真 人</b>	主任技能員	佐 藤 広 昭
主査専門研究員(総括)	大 野 浩	主任技能員	猪 澤 哲 哉
主査専門研究員	淺 川 知 則	<b>病理昆虫研究室長</b>	<b>大 友 令 史</b>
専門研究員	西 田 絵 梨 香	〔病理チーム〕	
技師	柳 本 麻 衣	主査専門研究員(総括)	岩 舘 康 哉
主任技能員	佐 藤 洋 貴	技師	中 村 大 紀
主任技能員	菊 地 徳 章	技師	佐 々 木 陽 菜
主任技能員	西 野 哲 仁	〔昆虫チーム〕	
主任技能員	小 黒 澤 清 人	上席専門研究員(総括)	加 藤 真 城
<b>作物研究室長</b> 〔水稲育種チーム〕	<b>小 田 中 温 美</b>	上席専門研究員	中 野 央 子
上席専門研究員(総括)	仲 條 眞 介	技師	松 橋 伊 織
主任専門研究員	小 舘 琢 磨	<b>病害虫防除部長</b>	<b>一 守 貴 志</b>
専門研究員	太 田 裕 貴	<b>技術主幹兼病害虫防除課長</b>	<b>本 田 純 悦</b>
専門研究員	藤 岡 智 明	〔予察・防除チーム〕	
		主任主査(総括)	猫 塚 修 一
		主任主査	名 久 井 一 樹
		技師	田 村 恵 里 佳
		〔農薬適正使用チーム〕	
		主任主査(総括)	高 田 眞
		主査	佐 藤 美 和 子
		主査	佐 藤 千 穂 子
		技師	廣 田 志 紀 子

職名	氏名	職名	氏名
<b>畜産研究所長</b>	<b>鈴木 茂</b>	<b>首席専門研究員兼外山畜産研究室長</b>	<b>大 宮 元</b>
次長	平 野 晃	上席専門研究員	増 田 隆 晴
次長	吉 田 力	主任専門研究員	高 橋 学
次長	熊 谷 光 洋	専門研究員	飯 村 太 一
所付	高 橋 涉	主任技能員	荒 木 田 俊 一
<b>主幹兼総務課長</b>	千 葉 良	主任技能員	竹 田 政 則
主任主査	小 野 演 彦	技能員	上 澤 賢 輝
主任	菅 原 弘 史		
主任技能員	小 林 雄 二	<b>種山畜産研究室長(次長兼務)</b>	<b>熊 谷 光 洋</b>
主任技能員	右 京 隆 二	主任主査	村 上 昭 樹
主任技能員	工 藤 明 彦	主査専門研究員	高 畑 博 志
主任技能員	上 野 由 克	専門研究員	澤 田 建
主任技能員	中 村 健	技師	羽 田 雅 紀
主任技能員	菅 原 薫	主任技能員	松 本 徹
主任技能員	永 洞 俊 司	技能員	後 藤 克 明
主任技能員	細 野 貴 樹	技能員	千 葉 弘 和
主任技能員	鳴 海 茂 揮		
主任技能員	鷺 見 義 信		
主任技能員	水 澤 博 征		
主任技能員	畠 山 博 文		
主任技能員	谷 地 舘 透	<b>東北農業研究所長</b>	<b>小 野 寺 郁 夫</b>
技能員	葉 木 澤 一 也	次長	荻 内 謙 吾
技能員	中 軽 米 徳 典	<b>総務課長</b>	<b>近 藤 光 宏</b>
技能員	荒 屋 康 之	主任行政専門員	向 駒 木 幸 悦
技能員	西 野 聖	主任技能員	清 水 賢 一
技能員	武 田 溪 介	運転技士兼技能員	日 山 千 代 司
技能員	米 沢 健 治	技能員	藤 根 寛 道
技能員	妻 神 大 己		
<b>家畜育種研究室長</b>	<b>細 川 泰 子</b>	<b>園芸研究室長(次長兼務)</b>	<b>荻 内 謙 吾</b>
上席専門研究員	昆 野 勝	上席専門研究員	長 嶺 達 也
上席専門研究員	吉 田 登	主査専門研究員	星 伸 枝
主査専門研究員	安 田 潤 平	主査専門研究員	横 田 啓
専門研究員	佐々木 康 仁	専門研究員	福 田 拓 斗
専門研究員	神 山 洋		
専門研究員	熊 谷 祐 宏	<b>首席専門研究員兼作物研究室長</b>	<b>高 橋 好 範</b>
<b>首席専門研究員兼家畜飼養・飼料研究室長</b>	<b>藤 原 哲 雄</b>	主任専門研究員	高 草 木 雅 人
上席専門研究員	佐々木 睦 美	専門研究員	齊 藤 智 宏
主査専門研究員	佐 藤 真	技師	小 野 直 毅
主査専門研究員	越 川 志 津		
主査専門研究員	伊 藤 孝 浩		
専門研究員	山 形 広 輔		





## IX 東日本大震災津波への対応



## Ⅹ 東日本大震災への対応

### 1 農業研究センター復興加速プロジェクトチームの活動

#### (1) チーム会議の開催

会議の名称	開催回数	延べ対応者数
復興加速プロジェクトチーム会議	2	26

#### (2) 研修会、セミナーの開催

研修会・セミナー・成果展示等	開催日	延べ参加者数
<b>【研修会・セミナー】</b>		
イチゴ栽培セミナー(中山間施設園芸)	29.5.24	45
ユズ既存樹の樹形改善指導会(ブランド化果実等(果樹))	29.6.7	5
リンゴ摘果指導会(ブランド化果実等(果樹))	29.6.8	10
果樹フォーラム(ブランド化果実等(果樹))	29.6.21	50
園芸相談会(ブランド化果実等(野菜))	29.6.21	20
果樹フォーラム(ブランド化果実等(果樹))	29.6.23	30
ユズ園地巡視会(ブランド化果実等(果樹))	29.6.26	7
新形質キュウリ等ブランディングおよび加工研修会(ブランド化果実等(野菜))	29.7.6	20
リンゴ早期成園化実証圃の栽培管理研修(ブランド化果実等(果樹))	29.7.21	10
先端プロ現地セミナー(中山間施設園芸)	29.8.30	31
先端プロ野菜栽培セミナー(ブランド化果実等(野菜))	29.9.11	47
リンゴ・醸造ブドウ早期成園化セミナー((ブランド化果実等(果樹))	29.9.26	48
トマト栽培セミナー(中山間施設園芸)	29.11.14	31
施設野菜生産高度化研修会(中山間施設園芸)	29.12.12	30
話題の環境制御技術を学ぼう!!ICT施設野菜生産高度化研修会(農産園芸課主催・中山間施設園芸)	29.12.20	100
「先端技術で収益力アップ!!セミナー」先端プロ(岩手県農業)成果発表会	30.1.12	150
三陸地域における水田作経営の未来を拓くためのセミナー(東北農研主催)	30.2.20~21	69
果樹栽培セミナー(ブランド化果実等(果樹))	30.3.13	22
<b>【成果展示等】</b>		
ワイン生産アカデミー(ブランド化果実等(果樹))	29.7.13	40
いわてまるごと科学館(サイエンスシンポジウム)	29.7.17	500
いわてスマート農業祭(中山間施設園芸)	29.8.25~26	10,000
農業研究センター参観デー(共通)	29.9.9	1,500
いわてまるごと科学館in釜石(共通)	29.10.1	300
アグリビジネス創出フェア(共通)	29.10.4~6	3,000
リエゾン-Iマッチングフェア(中山間施設園芸)	29.11.15	200
落葉果樹研究会(ブランド化果実等(果樹))	30.1.30	250
農業用ハウスの設置コスト低減に向けた技術提案会(中山間施設園芸)	30.2.20	100

(3)復興支援業務の実施

業務内容	実施日数	延べ対応者数
復旧水田での地力改善による水稲安定生産実証	20	60

2 農畜産物の放射性物質に測定に係る活動

業務内容	実施日数	延べ対応者数
本部		
県産農林水産物の放射性物質濃度の検査計画に基づく検査等	200	600
農地土壌の放射性物質モニタリング調査	10	20

## X 沿革



## X 沿革

- 明治31年 種馬厩を盛岡市に設置。
- 明治34年 農事試験場(3部制:庶務・種芸・分析)を本宮村向中野(現盛岡市)に設置。  
種馬厩を種畜場と改称。
- 明治35年 種畜場を盛岡市から滝沢村に移転。
- 明治36年 農事試験場に園芸部(4部制)を新設。
- 大正 2年 原蚕種製造所を胆沢郡水沢町(現奥州市水沢区)に設置。
- 大正 8年 農事試験場胆江分場を江刺郡愛宕村(現奥州市江刺区)に設置。
- 大正11年 原蚕種製造所を蚕業試験場(4係制:庶務・蚕種・試験・桑園)と改称。
- 大正12年 農事試験場に病虫部(5部制)を新設。  
外山御料牧場を種畜場に移管し、種畜場本場を玉山村(現盛岡市玉山区)に移転(滝沢は支場となる)。
- 昭和 2年 種鶏場を岩手郡巻掘村(現盛岡市玉山区)に設置。
- 昭和 5年 農事試験場軽米農場を九戸郡軽米町に設置。  
蚕業試験場一戸桑園を二戸郡一戸町に設置。
- 昭和10年 農事試験場遠野試験地上閉伊郡松崎村(現遠野市)に設置。
- 昭和12年 種畜場本場を滝沢村に移転、玉山は外山支場となる。  
蚕業試験場六原桑樹試験地を金ヶ崎町に設置。
- 昭和13年 蚕業試験場一戸桑園を一戸支場と改称。
- 昭和15年 農事試験場軽米農場を九戸分場と改称。
- 昭和21年 農事試験場高冷地試験地を二戸郡小鳥谷村(現一戸町)に設置。
- 昭和22年 農事試験場遠野試験地が国営に移管。
- 昭和23年 種鶏場を紫波郡日詰町(現紫波町)に移転。
- 昭和25年 農事試験場を農業試験場(4部制:総務・営農・農産・畜産)と改称。  
農業試験場畜産部を種畜場と併設。  
農業試験場葡萄試験地を稗貫郡大迫町(現花巻市大迫町)に設置。  
農業試験場沿岸作物試験地を九戸郡長内村(現久慈市)、下閉伊郡豊間根村(現山田町)及び気仙郡小友村(現陸前高田市)に委託設置。
- 昭和26年 農業試験場南部試験地を気仙郡米崎村(現陸前高田市)に設置。  
農業試験場に遠野試験地が国から移管。  
農業試験場に農業経営研究部門設置。  
工芸作物原種農場を雫石町に設置。
- 昭和28年 蚕業試験場を水沢市(現奥州市水沢区)龍ヶ馬場に移転。
- 昭和30年 農業試験場本場機構改革(8部制:庶務・種芸・化学・園芸・病虫・経営・農機具・畜産)。  
蚕業試験場機構改革(4部制:庶務・栽桑・養蚕・病理化学)。
- 昭和32年 蚕業試験場一戸支場を一戸分場と改称。
- 昭和36年 蚕業試験場一戸分場を二戸郡一戸町上野に新築移転。
- 昭和37年 農業試験場の園芸部、南部試験地及びびどう試験地を分離して園芸試験場(3部制:庶務・果樹・蔬菜花卉)を北上市に設置。南部試験地及びびどう試験地をそれぞれ、南部分場、大迫圃場と改称。  
農業試験場胆江分場及び九戸分場をそれぞれ、県南分場、県北分場と改称。  
種畜場に種鶏場及び農業試験場畜産部を併合して畜産試験場を滝沢村に設置。  
農業試験場遠野試験地及び沿岸作物試験地を廃止。  
工芸作物原種農場を農業試験場に統合し、原種部を設置。
- 昭和38年 農業試験場本場を盛岡市から滝沢村へ移転。
- 昭和39年 畜産試験場外山支場を外山試験地と改称。
- 昭和41年 農業試験場本場機構改革(4部制:庶務2係・技術・環境・経営)。
- 昭和44年 園芸試験場蔬菜花卉部を野菜花き部に改称。
- 昭和46年 農業試験場本場機構改革(科制導入。技術部:水田作科・畑作科・作業技術科、環境部:施肥改善科・土壌改良科・病害虫科、経営部:経営科・流通経済科)。  
農業試験場県南分場及び県北分場に分場次長を設置。  
農業試験場高冷地試験地を園芸試験場へ移管し、高冷地分場となる。  
園芸試験場に環境部を設置。  
園芸試験場大迫圃場を大迫試験地と改称。  
畜産試験場外山試験地を外山分場と改称。
- 昭和47年 園芸試験場南部分場を陸前高田市米崎町から同市高田町へ移転。
- 昭和48年 蚕業試験場六原桑樹試験地を六原試験地と改称。
- 昭和51年 農業試験場作業技術科を農業機械科に改称。
- 昭和53年 蚕業試験場六原試験地を廃止。  
蚕業試験場養蚕部、病理化学部をそれぞれ養蚕経営部、環境部に改称。
- 昭和56年 園芸試験場高冷地分場を高冷地開発センターに改称。
- 昭和57年 蚕業試験場整備計画実施(～昭和58年)。

平成 3年	農業試験場に水稻育種科を設置。
平成 8年	畜産試験場種山肉用牛改良センターを住田町に設置。
平成 9年	農業試験場、蚕業試験場、園芸試験場及び畜産試験場を農業研究センターに再編整備。 農業試験場本場、園芸試験場本場、同大迫試験地及び蚕業試験場本場を統合し、北上市にセンター本部を設置。 農業試験場県南分場及び園芸試験場南部分場をそれぞれ銘柄米開発研究室、南部園芸研究室と改称。 農業試験場県北分場、園芸試験場高冷地開発センター及び蚕業試験場一戸分場を統合し、軽米町に県北農業研究所を設置。 畜産試験場を畜産研究所に改組。 畜産試験場外山分場及び種山肉用牛改良センターをそれぞれ外山畜産研究室、種山畜産研究室に改称。 県北農業研究所に専門技術員を配置。
平成10年	園芸畑作物蚕桑技術研究室繭品質評価分室を盛岡市に設置(繭検定所を廃止)。 センター本部に専門技術員を配置。
平成11年	企画経営情報部マーケティング研究室を農業経営研究室に統合。
平成13年	病害虫部を新設し、病害虫防除課及び病理昆虫研究室を設置。 銘柄米開発研究室、蚕桑技術研究室及び同研究室繭品質評価分室を廃止。 南部園芸研究室を陸前高田市高田町から同市米崎町へ移転。
平成16年	総務部管理課を同部総務課に統合。 県北農業研究所にいわて雑穀遺伝資源センターを設置。 企画経営情報部内にいわて農林水産知的財産相談センターを設置。
平成17年	病害虫防除課県北農業研究所駐在を廃止、病害虫防除所(本部)へ統合。 専門技術員(県北農業研究所勤務)を専門技術員室(本部)へ勤務振り替え。
平成18年	専門技術員室を廃止(中央農業改良普及センターへ勤務振り替え)。 いわて農林水産知的財産相談センターを閉鎖(業務は岩手県知的所有権センターで実施)。
平成20年	センター本部が2プロジェクト推進室4部体制、畜産研究所が1課4研究室、県北農業研究所が1課2研究室に再編整備。
平成23年	プロジェクト推進室を1プロジェクト体制、技術部園芸研究室を果樹研究室と野菜花き研究室に再編整備。 技術部南部園芸研究室(陸前高田市)が東日本大震災で被災し、研究員は本部勤務で研究を継続。
平成25年	技術部南部園芸研究室(陸前高田市)を再建し、研究員は平成26年1月から陸前高田市で勤務。

## <所 在>

岩手県農業研究センター		
<b>本 部</b>	〒024-0003	岩手県北上市成田20-1 Tel. 0197-68-2331 FAX. 0197-68-2361 ホームページ <a href="http://www2.pref.iwate.jp/~hp2088/">http://www2.pref.iwate.jp/~hp2088/</a> E-mail : CE0008@pref.iwate.jp (本部) E-mail : CE0001@pref.iwate.jp (病害虫防除所)
(南部園芸研究室)	〒029-2206	岩手県陸前高田市米崎町字川崎238-4 TEL. 0192-55-3733 FAX. 0192-55-2093
<b>畜産研究所</b>	〒020-0605	岩手県滝沢市砂込737-1 Tel. 019-688-4326 FAX. 019-688-4327 E-mail : CE0010@pref.iwate.jp
(外山畜産研究室)	〒028-2711	岩手県盛岡市藪川字大の平40 Tel. 019-681-5011 FAX. 019-681-5012
(種山畜産研究室)	〒029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字飼沢30 Tel. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177 E-mail : CE0034@pref.iwate.jp
<b>県北農業研究所</b>	〒028-6222	岩手県九戸郡軽米町大字山内23-9-1 Tel. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011 E-mail : CE0009@pref.iwate.jp



**平成 29 年度 岩手県農業研究センター年報**

平成 30 年 9 月発行

**岩手県農業研究センター**

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1

TEL (0197) 68-2331 FAX (0197) 68-2361

IWATE-AGRICULTURAL RESEARCH CENTER

20-1Narita,Kitakami Iwate 024-0003,Japan